

第8回東串良町複合施設建設検討委員会

日時：令和6年9月3日（火）13：30～

場所：東串良町役場防災庁舎2階対策本部室

会 次 第

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議・報告事項

議題

（１）前回委員会のふりかえり

- ・第7回委員会について 資料1-1
- ・第7回庁内検討委員会について 資料1-2

（２）住民ワークショップについて

- ・第2回ワークショップについて 資料2-2（参考：資料2-1）

（３）新たな複合施設に求める施設機能等について

- ・集約化（複合化）の対象となる施設について 資料3-1
- ・複合施設のコンセプト及び機能、諸室案について 資料3-2 資料3-3

（４）東串良町複合施設建設基本構想案及び基本計画の校正案について 資料4

（５）その他

4 閉会

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 【資料1-1】 | 東串良町複合施設建設検討委員会 会議録（第7回分） |
| 【資料1-2】 | 東串良町複合施設建設庁内検討委員会 会議録（第7回分） |
| 【資料2-1】 | ワークショップニュース Vol.1 ※第6回配布資料の修正版 |
| 【資料2-2】 | ワークショップニュース Vol.2 |
| 【資料3-1】 | 集約化（複合化）の対象施設について |
| 【資料3-2】 | 複合施設のコンセプト及び機能について |
| 【資料3-3】 | 複合施設の諸室リスト案 |
| 【資料 4】 | 東串良町複合施設建設基本構想案及び基本計画の校正案 |
| 【参 考 資 料】 | ①諸室案参考シート |
| | ②諸室のゾーニング案 |
| | ③カフェ併設の図書機能の事例 |
| | ④住民アンケート結果（施設機能等に関する部分抜粋） |
| | ⑤議会からの提言書（施設機能等に関する部分抜粋） |

第8回

東串良町複合施設建設検討委員会

職	氏 名	団 体 名 等	備 考
委員長	柴田 晃宏	鹿児島大学 学術研究院理工学域工学専攻 建築学プログラム	
副委員長	末村 玲子	男女共同参画推進懇話会	
委員	村山 博隆	東串良町商工会	
委員	柳井谷 浩文	東串良漁業協同組合	
委員	清瀧 逸子	東串良町老人クラブ連合会	
委員	新福 峰子	東串良町民生委員協議会	
委員	甫村 美保子	東串良町生活研究グループ連絡協議会	
委員	野口 美保	東串良町ツーリズム協議会	
委員	若松 優子	東串良町文化協会	
委員	重 俊一	社会福祉法人東串良町社会福祉協議会	
委員	中久保 奈穂子	P T A 連絡協議会	
委員	宮野 育子	町内児童福祉施設	
委員	吉田 勝海	教育委員会	
委員	立迫 尚輝	東串良町青年団	
委員	丸山 誠志郎	自立支援センターおおすみ	
委員	尾方 広之	町民代表	
委員	上園 智子	町民代表	

【委員】 男性 8 名 女性 9 名 計17名

事務局	中島 孝一	企画課	課長
事務局	畠中 輝久	企画課	課長補佐
事務局	高野 竜一	企画課	係長

東串良町複合施設建設検討委員会 会議録

【会議名】

第7回東串良町複合施設建設検討委員会

※第6回東串良町複合施設建設庁内検討委員会と合同開催

【日 時】

2024年7月10日（水）14時30分～

【会 場】

東串良町保健センター2階

【出席者】

・複合施設建設検討委員（16名）

柴田委員長、末村委員、村山委員、柳井谷委員、清瀧委員、新福委員、甫村委員、野口委員、若松委員、重委員、中久保委員、宮野委員、吉田委員、丸山委員、尾方委員、上園委員

・複合施設建設庁内検討委員（10名）

大園委員長、委員（13名中9名出席）

・町職員（3名）

事務局（企画課）

【会次第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 協議・報告
- 4 閉会

【協議・報告】

- （1）前回委員会のふりかえり
- （2）ワークショップについて
- （3）立地場所について
- （4）その他

【会議結果要旨】

- ・庁内検討委員会において国道周辺（ダイナム近く）が立地場所として最も適していると思意思統一が図られているなか、今回の合同協議を踏まえて、検討委員会においても国道周辺（ダイナム近く）に同意する挙手が出席委員16名中13名であったため、当該地を最優先候補地として決定した。このことについては、検討委員会の決定として、口外することは問題ない。
- ・今後、不動産鑑定を入れて妥当な金額を算出し、その後地権者との交渉を経て、立地場所が確定していくことになる。

- ・集約化する施設の規模・面積等を踏まえて、実際に入れる事務所や機能・設備などを協議し、基本構想・基本計画をまとめていくことになる。

【会議経過】

(1) 前回委員会のふりかえり

- 委員 今回の検討委員会が、複合施設の立地場所を最終決定するという最重要な会議になる事は理解しているが、この会議は基本構想の段階で予定されていたものなのか、それとも委員会の状況によって緊急的に持たれたものなのか。
- 事務局 予定としては基本構想・基本計画は12月末までの策定を予定していたが、状況によって年明け3月までとなる可能性が高くなってきている。場所の問題は当然基本構想・基本計画の中には盛り込む必要があるが、検討委員会で協議した上で最終的な場所を盛り込んでいく。今日はそのための会議である。
- 委員 これまでの検討委員会での振り返り、あるいは事務局から提出された庁内検討委員会の資料など、改めて確認しておかなければならない事項は多々あったが、なかなか思うようにいかなかったこともある。
- 立地場所については現時点では、庁内検討委員会とこの検討委員会で異なっている状況である。それぞれの決定に至った経緯を確認したい。まずこちらの検討委員会では4/26の第5回検討委員会で、第一候補を総合体育館周辺と決定した。その際、午前中にあった庁内検討委員会の報告として、国道周辺が多かったという内容だったかと思う。その後6/5の第6回検討委員会の中で液状化の問題が情報提供された。次に庁内検討委員会について。4/26の会議では先ほど言ったように国道周辺という意見が多かった。6/14に先ほど説明のあったダイナム周辺が9名、セブンイレブン周辺が3名となりダイナム周辺ということで意思統一がなされた。ここまでの流れに間違いはないか。
- 事務局 今までの経緯については、各会が始まった冒頭で会議録を添えてご報告しているところである。今各委員の手元にある資料に記載されているものがすべてで間違いはない。
- 先ほど担当が行ったのは前回の振り返りということで、具体的な立地の件については、庁内検討委員会で出た意見を(3)のところで詳しく説明し、意見交換をしていく中で中身を詰めていきたい。
- 委員 はじめ私は体育館周辺を希望していた。判断基準として、体育館周辺はほとんどが町有地で土地代が少なく済むこと、住民アンケートで体育館周辺が多かったことがある。広い土地があるのでよいと考えたのだと思う。その後、突然液状化の情報提供があったが、体育館周辺には川も無く、大丈夫だと思っていた。その前に浅い谷の話出てきた。それを聞くと、あまり良くないとなった。液状化というのが建物に対してどれくらい悪影響を与えるのか、話している中で想像がで

きない。液状化をカバーするためにどのようにすればよいのか。ダイナムのところは液状化になるようなことはないのか。

事務局　せっかくのご意見ではあるが、協議の内容に沿って進めさせてもらいたい。場所を選定するために大事な意見であるので、協議事項(3)のところで議論したい。

(2) ワークショップについて

委員　こちらの資料は町民に配る予定か。

事務局　皆さんにフィードバックするための資料として作っている。そのままだとつつきにくいので、ニュースという形で工夫して作っている。どのような形で発信していくかはこの後協議し、修正したうえで公開したい。ワークショップに参加した方はもちろん、他の方にも伝える手段があれば使える材料になる。

事務局　町の HP で公開することを考えている。まだ完成形ではないので、内容は詰めていきたい。

委員　いい内容だと思う。HP だと若い方しか見ないので、高齢者の方だと紙面のほうが見てもらえると思う。

事務局　この後 7/21 の内容についても共有するが、それも含めて広く周知する方法を考えたい。

(3) 立地場所について

委員　事務局の説明やこれまでの資料から見たときに、これまでそれぞれの検討委員会での優先順位を決めるために色々な考え方があり、各委員の将来を見据えた考えを詰め込んだものだったと思った。総合センター周辺が第一と考えていたが、6/5 の検討委員会の中で液状化の問題が出てきた。これによって、自分たちの体育館周辺への期待と希望が割れたという気分である。なぜ体育館周辺かというところ、コロナ禍前までは体育館、町民運動場周辺は町の大きな記念行事、イベント、運動会などが開催され、町民のすべてが楽しく集って、みんなが元気を貰える場所、笑顔が弾ける場所、一番にぎわう場所だと思っていたからである。これからもそうあって欲しいと願っている。そういうところに複合施設の話が出てきて、ここに一体的に整備がされれば、賑わいも生まれ、町の中心地に公共施設が集約されればこの壮大な建物を朝晩眺められて、住民は落ち着いて、見守ってくれているような安心感もあって、勇気づけられる施設になるのではないかと思った。住民や町の出身者等にとって柏原海岸を自慢するのと同様に、この体育館周辺が新たな心の拠りどころになれる、そういった町の整備ができてほしいと常々思っていた。私が体育館周辺にこだわったのはこのような理由である。

委員　ワークショップに参加し、中学生や柴田先生の研究室の学生がうまくリードしていて、楽しい会だった。その中で中学生から出た意見として、スポーツができ

るとよい、大きな公園ものびのびできるという意見も多かった。また、世代間の垣根をなくして交流できる、コミュニケーションの場となつてほしいという意見も出た。そのために、ゆったりした広さ、国見山脈などが見え、周りは田んぼの広々とした環境がいいと思っていた。避難場所というのもアンケートで一番多かったのもので、そうなったときにどうかというのがあった。最初は体育館周辺が一番良いと思っていたが、回を重ねるにしたがつて色々な要素が必要になってきて、その中で総合的に考えると、どのようなものがよいのか、またリスクについて、地震や桜島の噴火などの経験もなく、どれくらいの被害が出るのかわからなかった。それであればダイナミックなかなと迷いながら今日の委員会に参加している。

副町長 庁舎内の検討委員会も色々な視点から考えている。私は当然町の関係者であるので、財政のことも考えなければならない。3か所の用地について、体育館は町有地である。あの中で作るのであれば土地の取得費は掛からないが、例えばあそこの多目的広場、グラウンドゴルフ場を潰して新たに作らないといけなくなると、新たにグラウンドゴルフ場の土地を求めて整備をする必要がある。それでは新たにその土地の取得費や整備費も掛かることになる。そうなれば、別の所に土地を求めるよりもお金がかかる可能性もある。また、多額のお金を使うことになるので、後々に失敗したとにならないよう方向性を考えていく必要がある。土地の液状化の問題をこちらでも把握したところで、液状化については委員会に先生方が来られて説明していただいて、実際に起こったところの写真なども見て、委員も状況を理解されたところかと思う。国道のほうは液状化が起これないのかという話があるが、可能性が低いという話である。可能性は低い方が安心を担保できる。それらの色々な物事を考えて意見を聞いた。これまでアンケート等も取って、交流できる場所、にぎわいの持てる場所、愛される場所というキーワードが出てきた。それと合わせて、飲食ブースも欲しいというのもあった。その場合、例えば体育館のあったところに飲食ブースを持ってきたときに生業として成り立つのかという懸念もある。国道周辺であれば流れや色々な部分で、飲食ブースもある程度生業として機能すると思う。

この町のネックとしては公共交通の問題がある。代行もかなり減っている。タクシーも9時くらいで終わってしまう状況である。池之原の方はスーパーなど店が多く良いかと思うが、岩広、新川西、川西などは、車を持っていればよいが、買い物弱者の高齢者は困る。町としても地域公共交通の部分で色々と協議を進めているが、どのような方向になっていくかはわからない。例えばタクシーが出来ない場合、町で巡回バスを回して流れを作らないといけない。岩広は何曜日、池之原は何曜日、新川西は、など決めて、国道の近くに複合施設が出来たらそこを発着点にするということにすれば、希望者はそのバスに乗ることができる。近く

に店はあるので、例えば私は A コープで買い物をして、複合施設の方ならちょっと休んでから、しまむらなど色々回ってなど、ハブ的な拠点施設になるのかという意見もあった。いろいろなことを考えて、国道近くの方が将来的に考えて、住宅街でもあるので利用者も多いことが想定されるので、庁内検討委員会として意見がまとまったところである。

委員 私も庁内検討委員会の意見に賛同するが、例えばセブンイレブンの近くになった場合に、皆さんの言うように子どもたちや車を運転する方は国道を横断しないといけない。もしここに出来た場合に、押しボタン式の横断歩道ができる、横断歩道ができるなどの可能性はあるか。

総務課長 信号機や横断歩道については、地元の公安委員会と協議した上で必要性が認められれば設置できるものと思う。施設ができる前に協議し判断する。こちらから設置を求める予定ではあるが、公安の判断次第である。

委員 私としては、前回の希望の時に体育館周辺が良いと判断した。理由は大きく三つある。一つ目は、町の中心にあって体育館やグラウンドがあり、様々なスポーツ大会やアウトドアのイベントがあり町外からもある程度認知されている場所であることである。その近くであればできることが増えるのでいいと思う。二つ目は、自然に囲まれている場所であり、気分良く色々なことができるだろうということである。三つめは、最初は検討する中で、場所によっての地盤のことが話題になったことである。この時点では国道沿いより体育館周辺が良いという内容だった。その後、突然液状化の話が出てきて、体育館周辺はそこまで悪い場所ではないが境の所にあって、さらに浅い谷があるということで、液状化については国道周辺が標高も高く安全性が高いという専門家の話があった。それを聞いて、検討委員の皆さんの考え方も変わったかと思う。私は以前の検討委員会の際に言ったが、浅い谷というのは現在のグラウンドゴルフ場のところかなと思うので、その奥の今空き地になっている場所であれば谷から外れ、可能性としてあるのかと思っている。

国道沿いの場合は庁内検討委員会ではダイナム周辺で固まったと資料にはある。個人的な意見として、ダイナム側になるとすぐ近くにタウンがあり、私もその一角に住んでいる。過去にダイナム側からも鹿屋側に帰る車がタウンの中を通ることがあった。2度ほどその車に当てられたことがあるため、そのようなリスクがあるのではと考えている。セブンイレブン側は、先ほどあったように道路の横断が難しいという問題もある。

柴田委員長 地盤と液状化について整理したい。液状化の問題は地盤が弱いと発生するが、特に今回の場合は標高が問題になる。体育館と国道沿いで高さが違い、低い方が液状化しやすい。それとは別に、体育館の浅い谷になっているところは地盤が弱いかもしれないとのことなので、建築をする場合は地盤改良をしなければ

ならない。液状化と浅い谷の件については、地盤の話と高さの話両方あるということである。

事務局 資料 3-2 を見てほしい。下から 2 番目に地盤の状況という項目がある。口頭では説明したが、地域全体が近隣データで、全ての地域がこのようになるのではないかという勘違いをする方もいると思うので、このデータの出典①、出典②を追加した。給食センター周辺については、管理市営住宅、防災庁舎の建設のときの地盤の数値を参照している。隣の総合体育館については、総合体育館を建築した時の地盤調査の結果である。ダイナムの所については、出典①のとおりである。地盤に影響があり、隣の地盤調査の数値、及び認定こども園あおば保育園の新築工事のときに地盤調査をした時の数値、これらをもとに記載をしている。セブンイレブンの所についても同様に、出典①、出典②の数値を利用して記載している。予定地の所を調査した数値ではなく、参考の数値である。

資料 3-6 について。委員の皆様からあったとおり、途中から液状化の話が出てきた。本町の防災マップなどを活用し、リスクが低い前提のもと国道沿いに場所を絞ってきた。今年の 3 月に町の新たな防災計画を作っており、それは具体的な中身まで記載した防災計画ではないが、4 月下旬にその担当者と話をした時に、鹿児島県の方では液状化の情報を公開しているという話を我々も初めて聞いた。その内容について県の HP を確認したところ、次ページの鹿児島県全土の地図があった。南海トラフ地震が西側で発生した時に、赤いところは極めて液状化リスクが高い。志布志湾の南側の突起のところは敷地なので、そこから左の方に行くと赤い地域が多い。国道周辺は完全に白の状態であり、体育館の所は微妙である。以前オブザーバーの先生方が話しており、先ほど柴田委員長からもあったように、標高が低く地下水が近いということから、液状化リスクが高いとなっている。さらに次のページの南海トラフの東側のケースでは、震源が遠くなるため城が多くなる。最後に陸側で発生した場合については、黄色の部分が結構内陸の部分まで入ってきている。こういった新たな情報が入ったことで、委員の皆様にも全くお伝えしないというわけにもいかなかった。また、将来的に住民の方から液状化について問われた時に、委員会で議論をし尽くしたと言えるように、委員の皆様と庁内検討委員会に情報共有したという経緯である。

委員 液状化についての説明は資料等ももらっており、液状化のリスクが低いところがよいことは理解している。しかし、先日県政かわら版が配布され、その中に県体育館の液状化の記事があった。予定地を含む鹿児島市の平地のほとんどで地震による液状化の危険性が高いと書かれていた。今回の計画には液状化により建物に影響が出ないよう整備をするという文言が書かれているが、どのような対策があるのか。また、莫大な費用が掛かるかと思うが、例えば自分たちがそれぞれ検討している立地で検討・実施が可能なのか。対応できるのか。今ま

での説明の中では非常に難しいと思っている。それらを全部含めて、この後どこがよいのかという話があるかと思うがはっきりさせたい。

委員 私は最初、体育館周辺を第一候補として考えていたが、途中で液状化の話があって 180 度変わってしまった。今 4 つの候補が出ている状態だが、国道沿い・体育館の 2 択で絞り込むのか、1 つに決定するのか、今日はどちらになるか。

事務局 両委員会での話を踏まえると、役場周辺は意見が少ないということで、国道周辺の 2 か所と体育館周辺の計 3 か所から 1 つに絞り込みたい。説明が不足していたが、今日見てもらった 3 か所がそうである。ただし国道沿いになった場合、どちらも民有地であるので、検討することの承諾は得ているが、用地交渉の段階でやっぱり厳しいとなり、まとまった土地が確保できなくなる可能性はある。その場合は次の場所になる。例えば国道周辺の片方の場所に決まったとき、国道周辺に建てることを想定したうえでの機能、構造の話し合いを、用地交渉と並行して進めていくことになる。もし交渉が失敗した場合、国道周辺前提で検討を進めているので、国道沿いのもう片方への用地交渉に移ることになる。本日は 1 つに絞り込むということで話をさせていただきたい。

事務局 補足すると、場所については本日決めなければ、本題のどのような施設にするという話ができずに時間が過ぎてしまうということになる。先ほど液状化の問題があったが、これは大事な問題である。町民の皆さんの大切な財産なので、そのことを踏まえた時に、国道沿いがいいと全会一致になるのであれば先ほど係長が言った話になる。そうは言っても体育館周辺はリスク以上のメリットがある、との意見があって意見が割れるようであれば、まずは選択になる。国道沿いになった場合は同様に、体育館になった場合は庁内検討委員会とうまく折り合いをつけるのが理想である。住民説明会の中でも、庁内検討委員会と検討委員会で意見が割れているがどうするのかという話もあった。その時は液状化の話はまだ無かったので、色々な新たな情報もあり、情報共有をしたうえで検討を重ね、場所を決定したいと回答している。

委員 もう一点、経済的な面が関わってくるかと思う。例えば今話をしている国道沿いの場合にどれくらいの値段になるのか。私たちはなんとか債権というのをいくらか国からする、ということしか聞いていないが、どうなのか。

事務局 国道沿いの場合は民有地なので土地を購入する必要がある。価格については所有者の言い値というわけにもいかないなので、専門の不動産鑑定を入れて、予算化はされている。もし国道沿いに決まった場合、不動産鑑定に価格の相場を示してもらい、所有者の方と交渉することになる。財源についてもだが、何故この時期なのかという話もある。町としては、40 年を経過し 50 年に迫り修理代も嵩んできていること、液状化や浸水想定地域の問題もあり、高い修理代をつぎ込むより安全な場所に建設した方がよいということで計画を作っている。急がなければ

ならないのは、過疎債という有利な借金があり、元利償還の7割を国が肩代わりして町の負担は3割で済むという借金である。これは令和3年に法改正があり、その時点で本来であれば、東串良町は近隣に比べて人口が減っていないということで対象から外れているが、この法律は令和13年3月までの10年間の時限立法であるから、特例措置で対象にしてもらっている。特例の条文が削除されれば対象にならなくなるので、借金はすべて町で払わなければならなくなる。令和13年までに完成すれば7割は国が補填してくれるので、今の時期に協議をして進めていきたい。

柴田委員長 過疎債は建物の建設費の場合はそのまま受け取れて、土地を購入する場合も借りることが出来るということでよいか。土地を購入しない場合だと、購入しない状態の事業費が事業計画として提出され、借りる金額が変わるので、土地を取得して総額が高くなる方が補填の金額も増えるという認識でよいか。

事務局 基本的に建物は過疎債の対象となり、土地も対象にはなるが、金額が嵩むので、土地を購入するときは土地開発基金を活用することも考えている。

委員 国道沿いとなった場合のために意見を話したい。先ほど他委員が話されたように、買い物をする方が周辺を通る。私も買い物する時に通るが、何度かヒヤリしたことがある。住宅地だと子どもが庭先で遊んでいたり自転車で往来したりしていることがある。もし物産館の裏が候補地になった場合、イベントなどがあるときに、町民の方はにぎやかタウンを通ってくるので交通量が増える。そうなったときのリスクも考慮してもらえたらと思う。私は体育館の前の通りに住んでいるが、体育館やグラウンドでイベントがある際は車の往来がとても多くなる。子どもたちにも、イベントがあるときには気をつけて通るよう言っている。もう1つ気になる点がある。ダイナムのすぐそばということである。先ほどもあったが、高齢者だけでなく、子どもから大人までいろんな方が施設を使うので、パチンコ店のあるそばに福祉・教育施設を作るのは大丈夫なのかと思っている。もう1点、ワークショップの結果で、伸び伸びと過ごしたいというのが子どもたちの意見であった。私の子どもが友達の家で敷地で遊んでいたところ、子どもたちが遊んでいる声がうるさいという苦情が小学校にいったことがある。にぎやかタウンの裏に複合施設ができると、建物内だけで過ごすわけではないと思うので、住民の方からしてもゆっくりできないのではないかと思います。

委員 これまで意見を頂いた委員と考え方には接点があり、都度心の中で解決できたことはあった。私も体育館周辺がいいと思っていた。その理由は自然の中でのスポーツ、文化、伸び伸び、といった思いである。今、液状化現象、防災、コストなど色々な視点から考えを寄せてもらって、どれが一番というのは言えないのかもしれないと思う。私が委員として選ばれて、住民の代表として票を入れるという立場であったから、ワークショップには非常に興味・関心があった。わが子

も参加して色々話を聞かせてもらって、とても有意義だったというのが資料からもわかる。7つグループがあって、その中で複合施設のあるまちの未来をどんなまちにしたいか語り合ったときに、7グループのうち5つのグループが自然という言葉が一番に挙げていることが印象に残った。私の感覚はここに参加した子どもたちと近いものがあったのかと思った。また、他委員も言ったように、伸び伸びして、安心して子どもが遊べて、というのを私もわが子に願っている。こういったところを、限られた立地から選ぶというのは究極の選択だと感じている。参加してくれた方の声を私はどこに持っていけばいいのか、というのを悩んでいる。私個人のいうよりも、このワークショップで皆さんが思いを寄せてくれたことをどこに票にするのかというところで、「自然を感じながら伸び伸びゆったりしたところで過ごせる施設があるまちの未来」というのを皆さんが想像してくれたのが、私の中での今日のポイントである。もう1つコストというところで、同じ30億円をかけるのならば、この候補地にそれぞれ30億かけたときに出来上がる形というのは変わってくると思う。そのあたりがまだ想像しきれていないので、町民の皆さんが望む形が一番具現化されるのはどれなのか、答えが出ないまま考えている。いただいた資料の中で印象に残ったところの話をさせていただいた。

委員 ワークショップの結果を見て、自然が一番先に出ているところが多い。自然といえば、東串良を代表するのは国見山脈を望めるような立地である。そう考えた時には、さっきの3つの場所の中ではダイナム周辺か体育館周辺になる。私も最初の意見は体育館だったが、今は他委員と同じで悩んでいる。もし場所が決まった場合、建物とその敷地が自然を眺められて、自然を共に感じられるような建物を想像して作っていければ、奇抜なデザインではなく自然と一体化できるような素敵な建物を考えていけばいいと思う。

総務課長 総務課には財産管理の仕事があるので、その観点で事務局に確認したいことがある。新しい施設ができると総合センター、高齢者福祉センターは撤去しないといけないと皆さんも理解しているかと思う。その期間について、新しい施設ができてからどれくらいで撤去する必要があるのか。

事務局 期間については建物の大きさなどもあり、概ね5年程度を考えている。補助金に関係もあるため撤去は必ずしなければならない。期間的には5年を念頭に考えている。

総務課長 福祉センターについては社会福祉協議会の事務所が入っている。高齢者福祉センターを撤去した後社会福祉協議会はどのような形でどうなっていくのかということは今まで議論されたのか。また、商工会を例えば総合センターと一緒に撤去となった場合商工会としてどのような考えがあるのか、それを事務局として把握しているのか。

事務局 大きな施設としては高齢者福祉センター、総合センターを考えている。それだけではなく、建物に入れる色々なものについては、場所が決まってから具体的に協議を進めていく。中身については今後詰めていくことになる。

柴田委員長 他委員から自然の眺めの話があったが、学生たちと 4 つの敷地を周ったときに学生から出た意見では、ダイナムの場所がちょうど国道から歩いてきたときに山なみが見え、その手前に建物や田畑があるので、緑の中に建物があってその向こうに山なみが見えてすごくきれいになるのではないかとのことだった。そんな施設が出来たらいいなと学生たちは言っていた。

委員 社会福祉協議会の代表として来ている。場所は今日決まると思うが、課長から話があったように、総合センターや高齢者福祉センターの建設に対する意見というのは、自分があとで関われるかわからないので今伝えておく。高齢者宅配弁当を 100 人分作っているというのが社協である。社協の建物というよりも弁当を作る場所を社協と併設して作ってほしいと思っている。社協の建物はどうなるかわからないが、そのような弁当を作れる場所を考えてほしいという注文である。

また、自然の景観について何人かの委員からあったが、ダイナムの方から出てきて国見山系が見えるので、自然という形のなかでは運動場だけでなくダイナム周辺でも十分確保できる状況ではないかと思っている。今までは私も体育館周辺という考えだったが、建物を 30 億かけて作る以上は、将来的にも液状化などのリスクが少ないところに施設を作っていただきたい。

また、商業的な観点で、経済の面も役場の中でも言われるが、役場複合施設の建設にあたって経済も大事なので、自然も守れて経済の発展も見込まれる場所ということで、ダイナム周辺に賛成していきたい。今日ここに来るまでは運動場と考えていたが、皆さんの意見を聞いて考えが変わった。

委員 各委員が意思表示をしているので私も、液状化のリスクの問題に対してこれはこうしてほしいとは言えないので、体育館周辺というのは考えを改めないといけないと思っている。ダイナム周辺で OK と考えているが、ここで 1 つ、多目的広場に件についてお願いをしていきたい。これまで多目的広場についてはグラウンドゴルフ協会やサッカースポーツ少年団の練習試合などで年間を通して利用しており、大変有り難く感謝している。しかし、現状の施設についてもう少し整備改修をしてほしいという要望がかなり以前からある。私もスポーツ協会の会長やグラウンドゴルフの会長をしている中で、そのような意見を多く耳にしている。体育館周辺については以前から、公共施設の集約についてふさわしい場所だと世間話的にもあった。いずれはそのような方向になって、現在の多目的広場も含めた改修整備に繋がっていくという期待をしながら、意見や要望に対して「もう少し機を見よう」とたびたび言ってきた。今回体育館周辺以外に複合

施設が整備されるとなった場合でも、現在の多目的広場の改修整備、芝生の問題や排水、土壌改良等も合わせて、今後是非、多目的広場の整備計画についても、複合施設の話ではないが進めていただけるとありがたい。

委員 最終的には今日場所が決まるかと思うが、決まってしまうとそれに異論はない。ただし、場所それぞれでそれぞれのリスクがあると思うので、そこを考慮していただきたい。

委員 住民説明会に来られる方も少ないということで、漁協の関係者にアンケートを取った。その結果、高齢者は当初、体育館周辺が良いと言っていた。しかし、高齢者の方も、将来が私達だけの意見ではあれだから、国道周辺がよいのではないかというのが大半の意見だった。

委員 駐車場について。イベントをした場合、総合センター周辺の保育園の前の大きな空地、体育館周辺のすべての駐車場を使ってもいっぱいになってしまう。もしダイナムになった場合、先ほどの説明では可能であれば向こうまでできるということだったが、規模的に言って、グラウンドや総合センターの駐車場に対して、今の 100 何台という予定であったが、規模はどうなるか。それと同等か、それより少ないのか。

事務局 青葉保育園前の駐車場で言えば 120 台ほどである。空地を含めても 200 台を超えない状況である。今回の候補地、特にダイナム周辺では、広げれば優に 300 台を超える駐車場が確保できる。

委員 体育館周辺を全て合わせた規模ではどうか。

事務局 体育館周辺であれば 500 台を超える。駐車場の充実度で言えば体育館周辺のほうがよい。

委員 なので、もしダイナム周辺になるのであれば、可能あれば、最初に十分用地を取っておけば後々いいと思う。国道近くなので、イベントのときに渋滞や事故のリスクがある。それらを考えた時に、余裕を持った計画をしていかないと、将来宅地が増えて人口が増えていく可能性もあり、想定より一回り大きい規模の駐車場を考えた方がいい。

柴田委員長 セブンイレブンのほうとダイナムのほうと、現在の取得できる予定の敷地だと、セブンイレブンのほうが少し大きかった。確定していないが交渉の可能性のある土地も含めた場合、どちらが大きいのか。

事務局 セブンのほうは今確保しているところは 160 台ほど。一部交渉ができておらず、そこが 2 反程度あるのでそこを合わせれば 220 台ほどがセブンの裏になる。ダイナムについては現状の想定は 130 台となっているが、住宅の所まで確保できた場合約 7 反 5 畝あるので、+250 台で 380 台程度は確保できる。

委員 今メリットの話をしているが、デメリットやリスクの話を聞きたい。セブンイレブンの裏の土地について発言される方があまりいないが、この土地のリスクや

デメリットが思いつく方はいるか。

委員 なぜ最初に説明を省いたかといえば、国道から近すぎるためである。イベントを行った際に絶対に渋滞して、事故のリスクがダイナムよりさらに大きくなる。ダイナム周辺は引き込みがあってしばらく行ってからの場所になる。また、先ほど言った自然の景観についても、セブンが目の前にあるよりは何もないところの方がよいと思う。

事務局 事務局からお詫びと訂正がある。資料 3-2 について、先ほど国道沿いの地質について、国道周辺の方が良かったのではないかという話があったが、その印象をこちらで与えてしまったことをお詫びする。資料の 2 頁目の地盤の状況について今回出典を追加したが、候補 3 の所でいえば、近隣データでは N 値 30 を超える層がないという 1 列目、こちらは造成地の地質調査、認定青葉保育園の新築工事のときのデータということで、上の文言についてはこの 2 か所のことについて触れている。しかし、その下の「GL-15m 付近まで N 値 10 を超える層がなく特に軟弱なエリアの可能性が高い」というところで、候補地 4 にも同じような文言があるが、これは出典には載っていないが総合センターのデータから読み取れる内容を入れ込んでしまっている。元々エリアごとの地質に関する説明がこの 1 個前の資料であり、今回は付けていないが、国道エリアという全体であれば総合センターが引かかる部分はある。その名残で GL-15m への文言が残ってしまっている。実際には今候補地となっている候補 3,4 については一列目だけでよかったということで訂正させていただく。

柴田委員長 ホームセンターのデータ自体は段丘上ではなく下のデータということか。

事務局 先ほど他委員からセブンイレブンのメリットデメリットという話があった。事務局では、コンビニがすぐ近くにあり、夕方の時間になるとミネサキに曲がる車で渋滞になる。ダイレックス前も渋滞を引き起こしているが、物産館前は 3 車線で右折レーンがあるため若干混雑は抑えられるかと思う。志布志方向からミネサキに曲がる方向へは 2 車線なので、ローソン側からセブンイレブン側に曲がる方向には渋滞は発生しにくいとは思うが、実際セブンイレブンから鹿屋方面に右折するのも、時間帯によって、信号機の具合によっては曲がれない状況となる。イベント等をすると、交通渋滞の発生や、子どもたちの通常の道路横断なども含めて、先ほど信号機の要望もあったが、コンビニのメリット点、交通関係のデメリット点を事務局でも心配しているところである。

委員 この会に臨むために私なりに寝れないくらい考えながらであったが、もう一つ最後にお訊ねしたい。前回の検討委員会のときに複合施設基本構想・基本計画に係る議会からの提言書が配布された。この資料や他の資料も確認しながら本日の検討委員会に臨んでほしいという説明であった。この提言書について庁内検討委員会の会議資料では事務局の説明があったとされているが、町の検討委員

会にされたよりも詳細な説明をされたのかというのが一つと、提言書についてこれまでの検討委員会の現状を議会側から求められたり、それらの説明・報告をしたりしたことがあるのかという２点をお聞きしたい。

事務局 基本構想・基本計画に係る議会からの提言書について、それまでは色々と説明のために議会と質疑を重ねていたが、提言書を頂く少し前からは、議会の方からの質疑の要請があまりなかった。ある程度の説明はこちらもし尽くしたと思っている。議会は議会なりに研修、意見聴取を行ってこの提言書をまとめたという流れである。

１点目の質問について再度確認したい。

委員 庁内検討委員会の会議資料の中に事務局から説明があったという記載があったが、より詳細な説明をされたのか。

事務局 議会からの提言の内容を庁内委員会で読み上げた。足したり引いたりすることはできないので、ありのままの状態を読み上げて、提言の内容を伝えた。

柴田委員長 そろそろ時間も押してきたが、もしまだ意見があれば。

（挙手なし）

柴田委員長 では決議をしたいと思う。国道周辺のセブンイレブンかダイナム周辺かというのは似たような状況で、国道を超えるかどうかが気になる。対してそこか体育館かは液状化の問題がありどちらかになるということで、まず体育館周辺か国道周辺かを決める。体育館周辺であればそれで決定となり、国道周辺となればダイナム周辺かセブンイレブン周辺かで決定する、という方法を考えていた。

しかし、ここまでの意見ではダイナム周辺が多かったので、ダイナム周辺でよいかで決定できれば１回で済む。異論があれば当初の方法でやりたいと思うがどうか。

（異論なし）

柴田委員長 ダイナム周辺で良いかどうかを挙手で確認したい。

（16人中13名が挙手）

柴田委員長 検討委員会の過半数の挙手を確認した。庁内委員会もダイナム周辺であったので、ダイナム周辺の敷地を第１候補としたい。

（４）その他

議会事務局 ランドブレインに確認だが、今基本構想・基本計画を計画するにあたって、住民アンケート、職員アンケートをとっている。その中で出ていた自由意見、記述内容について全て書き込んだものを公表されているが、その後御社で情報の分析など、例えば今回ワークショップがあったことによって、ワークショップ参加者の意見はまとめとして出てきたが、アンケートの回答についてまとめた資料を提供する予定はあるか。

また、それによって、今後この複合施設に求められているホールの大きさ、部屋の数、会議室云々に非常に重要になってくると思うが、そういったことは次回の会議等に提出されるか。

事務局 自由記述の取扱いについては、もちろん基本構想・基本計画の内容に反映する、というよりそれらを踏まえたものを作るべきという認識。資料として特別に何か分析をして提示をする予定はなかった。皆様一人一人が資料を見て意見をまとめ、その視点から意見を頂く形になると認識していた。資料という形での提供は考えていなかったが、基本構想・基本計画に関わる部分をどうまとめるかはあるが、提示資料が出来れば改めて提示したい。

議会事務局 今後の施設の規模にも影響があると思う。どういう機能性があった方がいいというときに、他の自治体がまとめている基本計画や基本構想を見ると、例えばホールはこういう設備があったほうがいい、会議室は何人規模のものが欲しいなど、実際の規模としての大きさを盛り込んでいっている。最終的に形として設計まで出てくると思うので、具体的な内容に入っていく時に、検討委員会の中でアンケートを拾い上げて一人一人意見を出し合おうとすると、時間も追い込んできているので難しいと思う。その部分の情報を整理したものを提供してもらえれば、今後の会議がスムーズになると思ったので、確認させてもらった。

事務局 今回の部分についてはイメージまでは行くが設計までは行わず、ある程度の積算額の算出までということになる。また、7/21に計画している第2回のワークショップで実際のモノ・コトということで、施設に入れるものについて参加される町民の方の希望を聞きたい。本日優先順位として、ダイナム近くが候補地として選定されたので、この場所に適合する施設の内容を、今から本格的に委員の皆様へ情報提供しながら、また集約化する施設の規模・面積等も踏まえ、先ほど高齢者福祉センターの話もあったが、実際に入れる事務所、機能性も踏まえたうえで、関係課の庁舎内検討委員会にも、中身の協議をしたうえで基本構想・基本計画となる。またご意見等頂ければと思う。

委員 資料に第2回のワークショップのお知らせがあるが、日程が7月のはずが6月になっているので訂正をお願いしたい。

もう1点確認したい。今日ダイナム周辺に決定したが、決まったことはどの時点で住民に周知されるのか。住宅地があるので、そこに住んでいる方が声を上げたりする心配はないのか。住民説明会など今後の予定があれば教えてほしい。

委員 関連して、今日ダイナムに決定したが、以前のアンケートでは体育館周辺を希望する声が大きかった。町民の中にはどこに決まったのかと興味を持っている方もいると思うので、なぜダイナム周辺になったかということがわかりやすいように、町報の中でもお知らせいただきたい。

事務局 以前の住民説明会でも、もし場所が決まったらなぜそうなったのか町民に情報

提供してほしい、という意見もあった。そこは広報誌、町の HP 等で説明し、住民説明会でも説明していきたい。

委員 興味があるようで、どこに決まったの、ということをよく聞かれる。

事務局 候補地としてはダイナムに決まり、地権者の了解も得ているので、今後不動産鑑定を入れて妥当な金額を算出し、その後地権者と交渉という形になる。そこまで終わったときはじめて、そこで間違いないという形になる。地権者の最終的な了承を取るという作業が出てくる。

副町長 検討委員会の中では決まったという言い方になると思う。

柴田委員長 敷地候補地として決定したということになる。

委員内の守秘義務の話として、町の方から公表するまでは黙っていた方がよいのか、言ってよいのか。町で公表されれば話してもかまわないと思うが、候補地の段階ではどうか。

副町長 検討委員会としては決まった、ということは言ってよいかと思う。

事務局 基本的には公開している場なので、たまたま今日はいらっしゃらないが、同席していられれば当然話も広まるので、問題ない。

副町長 最終的な決定は町長で、町長が委員にこの案件で協議をしてほしいとお願いしている形である。最終的には皆さんが町長に、委員会としてはこのように決めたと提案することになる。最終的な決定は町長なので、ひょっとしたら、町長が場所を変えるということも、ないとは思うがあり得る。

議会事務局 7/21 のチラシには立地場所を計画すると書いてあるので、皆さんはここに建つものだと思うのではないかな。

事務局 2 回目のワークショップについては候補地を踏まえた意見出しをしてもらう形になるので、ダイナム周辺と決まったことを踏まえたうえで、そこにできるのであればこんなものを入れたい、こんな機能が必要だ、こんなことをそこでしたいという具体的な話をしていく形になる。7/21 に参加する方には、ここで決まったという形で説明する。

関連して、ワークショップのチラシは改めて配っているが、前回の参加者に比べて 2 回目はだいぶ少ない状況である。6/30 の回には中学生が 25 名ほど参加してくれて盛り上がったが、7/21 はちょうど大会などがあるようで、出られない方が多い。改めて 21 日に参加者を募れないかと思っているので、身近な方などにぜひご案内をお願いしたい。

柴田委員長 次回の日程を決定したい。私事で申し訳ないが、私が 9 月は海外出張が入っているので、3,4 日は大丈夫だがその後はいない。戻ってくるのは 24 日以降の予定になるので、早めで良ければ 3,4、それ以降なら 24 以降にしてもらいたい。

(反対なし)

柴田委員長 3 日火曜日の同じく 1 時半からでよいかな。

(反対なし)

東串良町複合施設建設庁内検討委員会 会議録

【会議名】

第 7 回東串良町複合施設建設庁内検討委員会記録

【日 時】

2024 年 8 月 15 日（木）13 時 30 分～

【会 場】

東串良町役場 防災庁舎 2 階 対策本部室

【出席者】

- ・大園委員長、委員（13 名中 11 名出席）
- ・事務局（企画課 3 名）

【会次第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 協議・報告事項
- 4 閉会

【協議・報告】

- （1）前回委員会のふりかえり
- （2）住民ワークショップについて
- （3）新たな複合施設に求める施設機能等について
- （4）その他

【会議結果要旨】

- （1）前回委員会のふりかえり

第 6 回の会議結果要旨について、「国道周辺（ダイナム近く）に同意する挙手が過半数を超えたため」という表現を「国道周辺（ダイナム近く）に同意する挙手が出席委員 16 名中 13 名であったため」に改める。

- （2）住民ワークショップについて

2 回開催された住民ワークショップの結果について事務局より説明。
委員より意見なし。

- （3）新たな複合施設に求める施設機能等について

①集約化対象施設について

庁内検討委員会としては、総合センター、福祉センター、国家石油備蓄基地記念館（事務所）を集約化対象施設とし、池之原幼稚園、中央公民館、国家石油備蓄基地記念館（倉庫）、

中央分団の消防車庫及び会館、役場別館は集約化対象としない方針で意思統一が図られた。

福祉センターの入浴施設については、新たな複合施設に機能として移転はせず、代替措置案を検討していくべきとしたが、平成5年度の石油備蓄交付金活用施設であり、財産処分制限期間に達しておらず、補助金返納ありきで解体して集約化対象施設とすることについては、今後、国や県と慎重に協議・検討していくべきとした。

また、福祉センター解体に伴い、包括支援センターは役場か保健センターへ移転、複合施設への移転意向をもつ社会福祉協議会は事務所を複合施設へ移転、高齢者訪問給食事業用調理場については複合施設には含めず、自前の調理場を持つ別業者へ事業委託するか、改善センター調理室を改修するなどして対応するか検討していくべきとした。

中央公民館内に事務所をもつシルバーや商工会からは複合施設への移転要望、意向があったが、建物存続に伴い、シルバーはその性質を踏まえて現状維持とし、商工会については、補助金や使用料などを考慮しつつ検討していくべきとした。

②新設機能等について

参考資料を用いて、事務局案を提示。

③諸室リスト案

①と②を踏まえて、諸室リストの事務局案を提示。住民ワークショップや住民アンケート、議会からの提言書にある施設機能等に関する意見を踏まえて委員より意見をいただいた。

【多目的ホール】

・4～5人が座れるベンチタイプの椅子はどうか。また、5席に1通路あるようなつくりはどうか。

・ベンチタイプの場合、肘掛けをつけないと座席指定ができなくなる。座席数400については、有効活用するのであれば必要な席数と考える。

・ホールを避難スペースと捉えることで、防災関連の補助を活用可能か確認すべき。

【楽屋・練習室】

・スタジオA・B・Cとするなどして、楽屋やリハーサルとしての機能に限定せず、日常使いできるようなものを想定すべき。

【その他】

・テラスなど外空間の活用も想定してほしい。

・汚れを気にせず使えるような部屋もほしい（アトリエ・工作室のような）

・倉庫などを半地下につくるのは可能か。

・屋根付き展望台やテラスなどの屋上等の活用や倉庫などの半地下、壁内への展示ブース部分など、どこまで延床面積に含まれるのか確認すべき。

・諸室リストでイメージするのは難しいので、簡略図面など用いて、より詳細に協議していきたい。このため、1階建てと2階建てのどちらがよいかについても図面をみて検討したい。

(4) その他

事務局より、基本構想・基本計画策定の期間を令和6年12月末から令和7年3月末までに延長する予定であると口頭説明。今後、変更契約を締結し、金額変更はなく期間のみの変更を行う予定。令和6年9月3日開催の建設検討委員会において、スケジュール変更等の説明を行うこととした。

まちの暮らしやすいところ、好きなところを教えてください！

ワークショップのはじめに、参加者のみなさんに東串良町の「こんなところが暮らしやすい」「こんなところが好き」を聞きました。

【自然】

- ・ 柏原海岸の砂と海
- ・ 緑が多い
- ・ 空気がうまい
- ・ 静かで落ち着く
- ・ 自然の景色
- ・ ルーピンがきれい
- ・ 有明海から海原が見えて気が晴れ晴れする

【食】

- ・ 肉や野菜が豊富
- ・ 魚・米がおいしい
- ・ ピーマンがおいしい
- ・ 野菜に困らない
- ・ 食がおいしい
- ・ 地産地消

【ひと】

- ・ 元気がある
- ・ 人が少ない
- ・ 町民の関わりが多い
- ・ 接しやすい
- ・ 町が小さくまとまっていて、みんなが友だちみたい
- ・ 周りの人たちと仲良く、優しい人が多い

【子育て】

- ・ 待機児童ゼロ
- ・ 子どもにとって優しいまち
- ・ 子どもが気軽にいけるところがある
(子ども図書館・子ども食堂)
- ・ 漢検、英検の受験料を補助してくれる

【利便性】

- ・ コンビニがある
- ・ 国道沿いでの買い物がしやすい
- ・ 商業施設が多い

【地理】

- ・ 大隅半島の真ん中でどちらに行くにも概ね便利
- ・ 災害が少ない

【その他・いろいろ】

- ・ 祭りが多い
- ・ 事故が少ない
- ・ 猫がいっぱいいる
- ・ 道路がきれい

大学生 の声

- 【自然】 山・海・緑・星がきれい
- 【食】 うなぎ・肉・野菜・新鮮
- 【ひと】 顔見知りが多そう

- ・ 景色（風景）・環境がいい
- ・ 苦手なものも克服できるおいしさ
- ・ おもてなしの精神



ワークショップをささえている『柴田研究室』・・・学生の目線が新たなヒントに！

今回のワークショップには、鹿児島大学の柴田晃宏教授率いる工学部建築学科および理工学研究科の学生 14 名が参加し、運営をサポートしてくれています。

ワークショップ開催にむけて、6 月 8 日～9 日に 1 泊 2 日で事前研修会も行いました。1 日目は、町内のまち歩きをしたり、施設見学をしたり、夜はおいしい東串良の食材をおなかいっぱい堪能しました。2 日目は、模擬ワークショップを開催し、イメージを膨らませました。

東串良のまち、自然、食、そしてひとの魅力を存分に味わい、からだで体験してこのワークショップに参加しています。

表紙に掲載している写真の模型は、柴田研究室がこの日のために制作したものです。東串良町の地形（高低差）と位置関係がわかる、この模型があることで、町のことがイメージしやすくなりました。



鹿児島大学建築学科柴田研究室のみなさん

第2回 ワークショップのお知らせ

ぜひ
参加してね！

こどもから大人まで誰でも参加できます！

第2回ワークショップ

複合施設にある「モノ」「コト」を語り合しましょう

日時：7 月 21 日（日）14 時～16 時

場所：東串良町総合センター

新たな複合施設の立地候補の場所の現地見学会

集合日時：7 月 21 日（日）12 時 50 分（現地へ移動）

集合場所：東串良町総合センター

- 東串良町在住の方
- 東串良町に勤務されている方
- 東串良町が好きな方



↑↑↑
お申し込みフォーム
はこちら

第2回の参加者を引き続き募集しています
電話または申し込みフォームからお申込みください
TEL. 0994-63-3122 東串良町企画課

本紙面に関するお問い合わせ先：東串良町 企画課 TEL. 0994-63-3122

資料 2-1

みんなと話そう！

ワーク
ショップ

ニュース

複合施設のある まちの未来

Vol.1

2024. 07 発行

町では、新たな複合施設の建設に向けて、住民のみなさんとまちの未来を語り合うワークショップを開催しています。第1回は、町の小・中学生や鹿児島大学建築学科の学生も参加し、異年齢・異業種の人々が混ざり合い、総勢 57 名でさまざまな意見やアイデアを語り合う機会となりました。その概要についてご紹介いたします。

第1回ワークショップを開催しました

日時：6 月 30 日（日）14 時～16 時

場所：東串良町総合センター

ワークショップは、全2回で開催します。

第1回 ワークショップの流れ

第1回のワークショップでは、複合施設があるまちの未来をイメージしながら、まちのこと、複合施設のことについて、以下のプログラムで語り合いました。

プログラム概要

- 1 新たな複合施設についての説明
- 2 【ワーク①】東串良町のこんなところが暮らしやすい！
- 3 【ワーク②】複合施設のある町の姿をイメージしてみよう！
- 4 【ワーク③】複合施設のキャッチフレーズをつくろう！
- 5 みんなで発表・まとめ

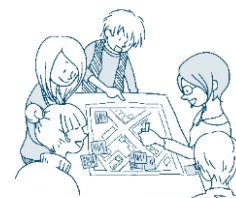


▲ 東串良町の模型



ワークショップってこんな場！

参加者同士がお互いに協力し合い、各回のテーマに沿って自由にアイデアや意見を出し合う場です。いろいろな人の話に耳を傾け、みんなの思いをつなげてみると、新たな発見も！



複合施設のある まちの未来を語り合おう



今回は、「未来の東串良町がどんなまちになったらいいか」「そんなまちで暮らす中でどのような複合施設があったらいいか」をテーマにワークショップを行いました。
参加者は、7つのグループに分かれて思いを語り、自由にアイデアを出し合いました。
また、その中から思いを表現できる言葉をピックアップして施設のキャッチフレーズを考えました。限られた時間の中でしたが、たくさんのアイデアが出て、活用イメージを含めた施設のイメージを表現できました。



安心して子どもが遊べて、自然を通して人と人が触れ合える施設

【どんなまちに？】

- 自然
 - ・緑（田・畑）が多いまち
 - ・町特有の自然が保護される
 - ・自然を守ることを考えるまち
 - ・キャンプができる
- ひと
 - ・気軽にあいさつできるまち
 - ・他の市町の人と交流のあるまち
 - ・元気に遊びまわれるまち
- その他
 - ・イベントが多い町
 - ・全体的に栄えた町
 - ・町でしかできないようなことをするまち

●生活環境

- ・岩弘に店がほしい
- ・欲しいものがすぐに見える
- ・映画館があるまち
- ・子育てしやすいまち
- ・道路の整備が進んでいる
- ・事故ゼロのまち
- ・スポーツショップがほしい
- ・おいしいものがたくさん食べられる
- ・住民みんなが安心して暮らせるまち
- ・店が少ない地域でも買い物がしやすいまち

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・自然にあった施設
 - ・東串良のことを知ることができる施設
 - ・多世代交流ができる施設
 - ・スポーツ、文化が楽しめる施設
 - ・学校帰りに寄れる
 - ・健康のことを気軽に相談できる施設
- 機能
 - ・eスポーツカフェ
 - ・飲食店（パン・ラーメン）

POINT！ 自然を活かしたイベント
人と人が触れ合い遊べる、多世代交流できる施設

スポーツを通して人が交流し、東串良の自然を見れる場所

【どんなまちに？】

- 自然
 - ・松林を散歩できる
 - ・夏の柏原海岸で遊べる
- ひと
 - ・長寿なまち
 - ・健康的なまち
 - ・美味しいものが口にできる
 - ・みんな仲がよい
- 産業
 - ・働く会社（IT企業）が増える
 - ・野草を使ったお菓子の開発
 - ・独自のお菓子
 - ・柏原海岸にお店をつくる

●生活環境

- ・歩きやすい
- ・自転車でかけめぐる
- ・釣りができる
- ・スポーツが盛ん
- ・交通の便がよい
- ・車がなくても移動しやすい
- ・猫と共存
- ・仕事に打ち込んで元気になる
- その他
 - ・何かに特化したまち

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・野菜をたくさん食べられる施設
 - ・東串良の食が楽しめる
 - ・自然を見ながらご飯を食べる
 - ・友だちが集まる、作れる
 - ・外部からも人が集まる
 - ・景色を見れる場所
 - ・松林を散歩できる
 - ・ルーピン畑がある
 - ・自然と遊べる施設
 - ・町民が集まれる
 - ・にぎわい
- 機能
 - ・娯楽施設
 - ・屋内スポーツ施設、スポーツ広場
 - ・勉強・スポーツが集まってできる
 - ・野草茶などが飲める
 - ・郷土料理が作れる
 - ・買い物できて、遊べる場所
 - ・PC等を学べる場所

POINT！
スポーツ×趣味・遊び・学び
友だちをつくれる施設



動いて、食べて、叫んで、みんなで輪になろう！

【どんなまちに？】

- ひと
 - ・子どもが増えて活気があるまち
- 生活環境
 - ・誰でも移動できる交通手段
 - ・友だちだけで行ける買い物場所
 - ・ゲームセンターが近くにある
- その他
 - ・大人になって帰りたいまち
 - ・スポーツが強みになるまち

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・町外の人にも来たいような施設
 - ・インスタ映え
 - ・観光スポットになる施設
 - ・誰でも集まりわいわい話ができる
 - ・子どもから大人まで触れ合える場所
 - ・男女関係なくかわれる施設
 - ・騒いでも怒られない場所
 - ・デジタルではなくアナログのつながり
 - ・専門的なことを学べる場所
 - ・一人ひとりが足りないところを補える施設
 - ・自然を堪能できる施設
 - ・ホッとする場所
 - ・人と人を結ぶ（つなぐ）
 - ・近所みたいな
 - ・明日も行きたい
 - ・食ではじまる交流
- 機能
 - ・スポーツセンター
 - ・屋根付きの運動場
 - ・農業体験
 - ・勉強できる場所
 - ・水辺の近くで遊べる場所
 - ・喫茶店

POINT！
観光客・他地域との交流の場
印象に残るまちのシンボル

みんなが会って笑顔になる施設

【どんなまちに？】

- 自然
 - ・海がきれいなまち
 - ・豊かな自然が守られるまち
- ひと
 - ・友だちと遊べる場所がたくさんある
 - ・世代交流ができるまち
 - ・子どもの声が響き渡るまち
 - ・元気なまち
 - ・隣近所声かけができ助け合えるまち
 - ・子育てがしやすい
- 生活環境
 - ・いつまでも住めるまち
 - ・たくさんの駄菓子屋
 - ・一生を町の中で暮らせるまち

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・建築と自然の融合
 - ・高齢者が集える
 - ・出会い
 - ・みんなで作る
 - ・夏休みの自由研究ができる
 - ・多世代が交流できる広場
 - ・用事がなくても行きたくなる
- 機能
 - ・映画館
 - ・中庭
 - ・共有スペース
 - ・フリースペース
 - ・開放的な空間
 - ・AI 機能
 - ・有名チェーン店（マクドナルド、タリーズなど）
 - ・人と交流できる飲食店
 - ・誰でもいける町の食材を使った食堂
 - ・ゲームができる
 - ・お笑い（喜劇）鑑賞

POINT！
多様な生活環境で過ごす
人たちが集える施設

会いたかった人も来てる場所

【どんなまちに？】

- 自然
 - ・緑が多いまち
- ひと
 - ・若い人が転入してくるまち
 - ・障がい者という言葉がないまち
 - ・みんなが元気でいられるまち
 - ・よく出かけられるまち
- その他
 - ・ペットに優しいまち
 - ・おいしいご飯が食べれるまち
 - ・安心できるまち
 - ・子育てしやすい

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・わくわくする場所
 - ・ちょっと立ち寄りしたい
 - ・友だちと遊びやすい
 - ・行ったら友だちができる、増える
 - ・多くの人、知らない人と交流できる
 - ・町民みんなが集まれる
 - ・安心して過ごせる場所
 - ・ゆっくりくつろげる場所
 - ・子どもから高齢者まで過ごしやすい
 - ・「おっ！」と言われるような場所
 - ・誰でも気軽に利用できる
- 機能
 - ・勉強できる場所
 - ・トレーニング施設
 - ・開放的な玄関
 - ・防災

POINT！
たくさんのひと・交流・機能
開放感があり、大きな施設

子どもがのびのびした、みんなが行きたい元気なまち

【どんなまちに？】

- ひと
 - ・多世代交流できるまち
 - ・あいさつができるまち
 - ・元気なまち
 - ・子どもたちが暮らしやすいまち
- 生活環境
 - ・安心・安全なまち
 - ・便利なまち
- その他
 - ・写真を撮って楽しいまち
 - ・どこまで行っても暇じゃないまち
 - ・流行にのれるまち

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・多世代で交流・活動・利用できる施設
 - ・親子や三世代でできる料理教室
 - ・いろんなイベントがある
 - ・町にいろんな人が来る
 - ・小さい子どもでも遊べる
 - ・災害に備えて安心な場所をつくる
 - ・町外からも人が来るような施設
 - ・困ったことを解決してくれる
- 機能
 - ・大きなホール
 - ・大きなプール
 - ・勉強ができる

POINT！ 常に使われる施設

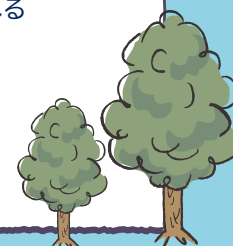
【どんなまちに？】

- 自然
 - ・ずっと自然が豊かなまち
- ひと
 - ・町民みんなおともだち
 - ・コミュニケーションがとりやすいまち
- 産業
 - ・農業と触れ合う機会を増やす
 - ・中学校の農業体験
 - ・町内で働きたいと思える人が増えるまち
- 生活環境
 - ・いつでもどこでも行ける
 - ・交通の便が現在よりよくなる
 - ・国道沿いのバスの利便性
 - ・みんなが賑やかになる行事がたくさんあるまち
 - ・子どもが遊べる場所の増加
- その他
 - ・自慢ができるまち

【どんな施設に？】

- コンセプト
 - ・顔見知りになる施設
 - ・人との関わりが多くなる施設
 - ・音楽会や文化祭で披露する場
 - ・学校行事を校内施設外で補完できる施設
 - ・夏祭り
- 機能
 - ・勉強したくなる施設
 - ・友だちと話せるスペース
 - ・コンサート・運動会

POINT！
みんなと話ができる施設



新たな複合施設の立地候補場所の現地見学をしました



ワークショップ開催の1時間前に総合センターに集合し、立地候補場所に参加者（希望者）で見学に行きました。

猛暑で、ちょうど気温が上がる時間帯でしたが、きれいな青空と目の前に広がる風景をみながら、この場所に施設が建った場合に、どんな大きさ、配置になるだろうか、車や自転車、徒歩でのアプローチがどうなるだろうかと、この場所で自分たちがどんな活動ができるかなど、イメージを膨らませました。

新たな複合施設の立地候補場所及びその周辺の印象

ワークショップのはじめに、新たな複合施設の立地候補場所及びその周辺の率直な印象を参加者にうかがいました。

【景観】

- ・見晴らしがいい
- ・自然が豊か
- ・日当たりがよく、晴れた日は明るい場所
- ・広々として緑がたくさんあり遠くの景色がキレイ
- ・周辺の農作物で季節が感じられる

【立地】

- ・住宅地が多い
- ・パチンコ店、製材所が近くに見える
- ・立地条件としては免責的に問題がない
- ・畑と商業施設に囲まれた場所
- ・住宅地の近くなのでみんなが使えてよい
- ・周辺が田んぼなので近所迷惑にならない
- ・国道と近く、わかりやすい
- ・全体を見回したときに、近くに大きな障害物がなかったため、その土地を活かせる
- ・商業施設、集合住宅の増加など人口密度を考えて立地もよい

【利便性】

- ・交通のアクセスが良い
- ・国道が近く利便性が高い
- ・若者から高齢者まで集まりやすい
- ・買い物に便利
- ・商業施設が近い
- ・場所が分かりやすく生きてやすい

【整備】

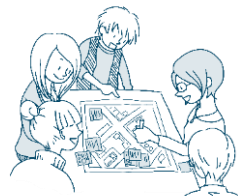
- ・防災上の安全性を感じた
- ・他の施設の集約ができるとよい
- ・道路整備が必要



ワークショップを楽しもう～

ワークショップってこんな場！

参加者同士がお互いに協力し合い、各回のテーマに沿って自由にアイデアや意見を出し合う場です。いろんな人の話に耳を傾け、みんなの思いをつなげてみると、新たな発見も！



町では、新たな複合施設の建設に向けて、まちの未来を語り合うワークショップを2回開催しました。このワークショップでは、参加者がまちの未来のこと、そこに自分自身がどのようにかかわることができるかをイメージし、アイデアを出し合いました。

ワークショップでは、リラックスした雰囲気づくりと、わくわくするような場づくり、そして、ほっと一息の時間づくりのため、カフェスペースをつくり、いろいろな飲み物とお茶請けを用意しました。

第1回目は、柏原地区の銘菓のスイートポテト、そして第2回目は、つけあげときゅうりのお漬物でした。どちらも東串良町のお店の手づくりで、参加者全員でおいしくいただきました。



お茶請けは揚げたてのつけあげと冷たいきゅうり

資料2-2

みんなと話そう！

ワーク
ショップ

ニュース

複合施設のある まちの未来

Vol.2

2024.08 発行

町では、新たな複合施設の建設に向けて、住民のみなさんとまちの未来を語り合うワークショップを開催しています。第2回も、町の小・中学生や鹿児島大学建築学科の学生が参加し、異年齢・異業種の人が混ざり合い、総勢36名の方にご参加いただきました。その概要についてご紹介いたします。

第2回ワークショップを開催しました

日時：7月21日（日）14時～16時

場所：東串良町総合センター

全2回のワークショップが終了しました。

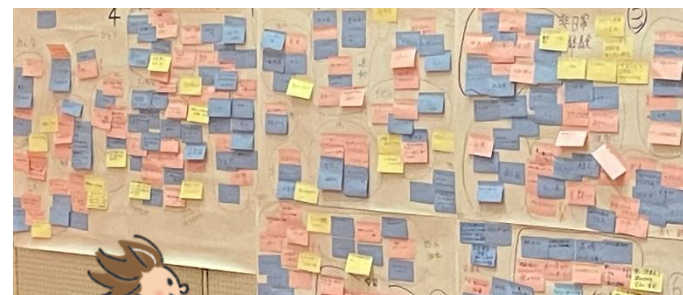
第2回 ワークショップの流れ

プログラム概要

- 1 複合施設の立地候補場所について
- 2 【ワーク①】
新たな複合施設の立地候補場所周辺の印象
- 3 【ワーク②】
複合施設でやりたいコトを出し合おう
- 4 【ワーク③】
複合施設に必要なモノ（機能等）のアイデアを出し合おう
- 5 みんなで発表・まとめ



下の写真にある付箋ひとつひとつが参加者の方からいただいた大切なアイデアです。

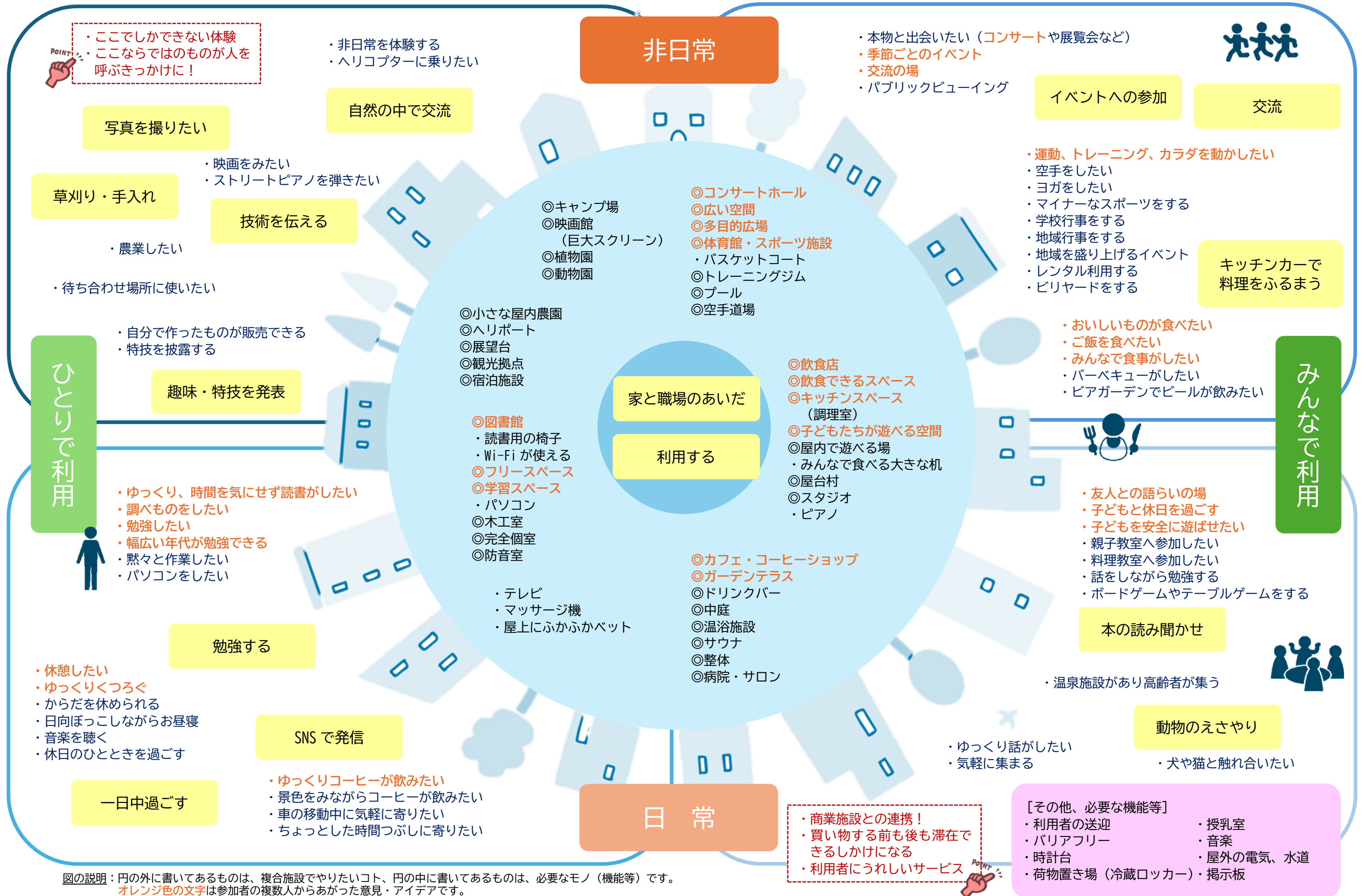


第1回目の様子は、ワークショップニュース vol.1でお伝えしていますので、こちらもぜひご覧ください。

【第1回】日時：6月30日（日）14時～16時
場所：東串良町総合センター

本紙面に関するお問い合わせ先：東串良町 企画課 TEL. 0994-63-3122





集約化（複合化）の対象施設について

資料 3 - 1

集約化対象施設の検討

総合センター（合計面積：2,100.66㎡） 供用開始後、5年以内にすべて解体（集約化○）

総合センター (RC造) (1982.8建設)	2100.66	建物 解体	事務室、会議室、調理室、 ホール、図書室 ほか	必要な機能を複合施設へ
-------------------------------	---------	----------	----------------------------	-------------

高齢者福祉センター（合計面積：1,092.81㎡） 供用開始後、5年以内にすべて解体（集約化○）

高齢者福祉セン ター (RC造) (1975.3建設)	771.72	建物 解体	包括支援センター 社会福祉協議会 高齢者訪問給食事業用調理場	①他の公共施設へor②複合施設へ ⇒①他の公共施設へ（役場or保健センター） ①他の公共施設へor②複合施設へ ⇒②複合施設へ（事務所のみ） ①事業を別業者へ委託or②他の公共施設で対応 or③複合施設へ ⇒①事業を別業者へ委託 or②他の公共施設で対応（改善センター調理室・要改修）
高齢者福祉セン ター（風呂場） (RC造) (1994.3建設)	218.55	建物 解体	入浴施設	①複合施設へor②代替措置案検討 ⇒②代替措置案検討 ※石油備蓄交付金活用施設。耐用年数に達しておらず補助金返納ありきで解体し、集約化するか要検討。
高齢者福祉セン ター（車庫2 棟） (S造) (2002.4建設)	60.54	建物 解体	福祉関係車両、マイクロバス用の車庫	集約化（マイクロバス1台分の車庫必須）
高齢者福祉セン ター（倉庫） (木造) (2003.4建設)	42	建物 解体	福祉関係倉庫（老人クラブ使用）	集約化

その他施設

池之原幼稚園 (S造) (1972.3建設)	292.4	幼稚園 存続	①現状維持（既存施設を活用）（集約化×）	既存施設	①他の目的に活用（集約化×）
			②複合施設へ		②解体（集約化○）
		幼稚園 廃止	①既存施設を他の目的に活用（集約化×）		
			②解体（集約化○）		

中央公民館 (RC造) (1962.3建設)	437.92	建物 存続	シルバー人材センター	①現状維持or②複合施設へ（いずれも集約化×） ⇒ ①現状維持
			商工会	①現状維持or②複合施設へ（いずれも集約化×） ⇒ 要検討
			加工センター	①現状維持or②複合施設へ（いずれも集約化×） ⇒ ①現状維持
		建物 解体	シルバー人材センター	①他の公共施設へor②複合施設へ（いずれも集約化○）
			商工会	①他の公共施設へor②複合施設へ（いずれも集約化○）
			加工センター	①他の公共施設で対応（保健センターや農村環境センター）or②複合施設で対応（いずれも集約化○）

国家石油備蓄基地記念館 (事務所) (木造) (1985.3建設)	277.41	建物 存続	現状維持（集約化×）	数年以内に解体予定。集約化対象となるか確認。
		建物 解体	事務所機能（集約化○）	

国家石油備蓄基地記念館 (倉庫) (S造) (1985.3建設)	71.14	建物 存続	現状維持（集約化×）
		建物 解体	倉庫機能（集約化○）

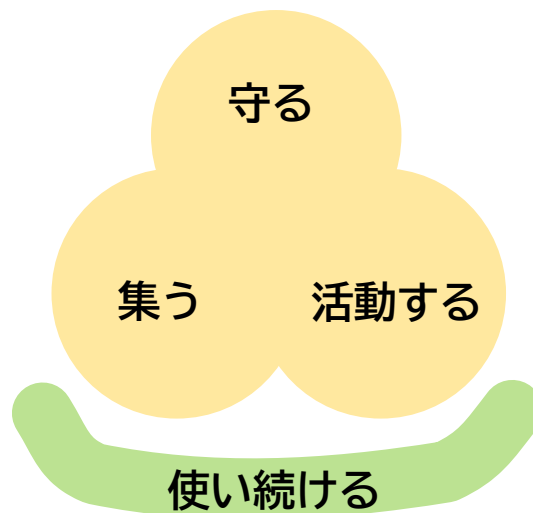
消防車庫 及び会館 (中央) (RC造) (1997.3建設)	169.5	建物 存続	現状維持 (集約化×)	
		建物 解体	複合施設へ (集約化○)	
消防車庫 (中央) (S造) (2003.3建設)	56.65	建物 存続	現状維持 (集約化×)	
		建物 解体	複合施設へ (集約化○)	
役場別館 (RC造) (1979.3建設)	248.96	建物 存続	現状維持 (集約化×)	
		建物 解体	林田土地改良区	
			①他の公共施設へor②複合施設へ (いずれも集約化○)	
			車庫・倉庫機能	
			①他の公共施設へor②複合施設へ (いずれも集約化○)	

IV 複合施設建設の方向性

1. 複合施設建設のコンセプト

新たな複合施設は、本町の未来を見据えて、まちづくりの中心を担うような、多様な役割が期待されます。イベントなどの非日常時に加え、日常からあらゆる世代の人々に利用され、「東串良に住んでよかった」「東串良に住んでみたい」と感じることでできる場所になることをめざし、以下のコンセプトを掲げます。

守る・集う・活動する！使い続けよう、みんなの拠点施設



守る

新たな複合施設は、本町の中で災害時のリスクが小さく、加えて災害時に復旧等の軸となる国道 220 号から近接しているという立地特性を活かし、災害に備える拠点になることを目指します。

また、住民の子育てに係る困りごとの相談対応など、住民の生活を守る役割を担うことを目指します。

集う

新たな複合施設は、にぎわいが生まれる場所として、人と人が出会い、触れ合うことができるような空間・機会を生み出していくことを目指します。

また、住民が気軽に立ち寄りたくなるような、くつろぎの場になり、住民の暮らしを豊かにしていくことを目指します。

活動する

グループによる住民活動、発表などの行事に加え、個人が学ぶ、身体を動かす、場所を選ばない柔軟な働き方をするなど、多様な活動で気軽に利用できるような空間・機会を生み出すことを目指します。

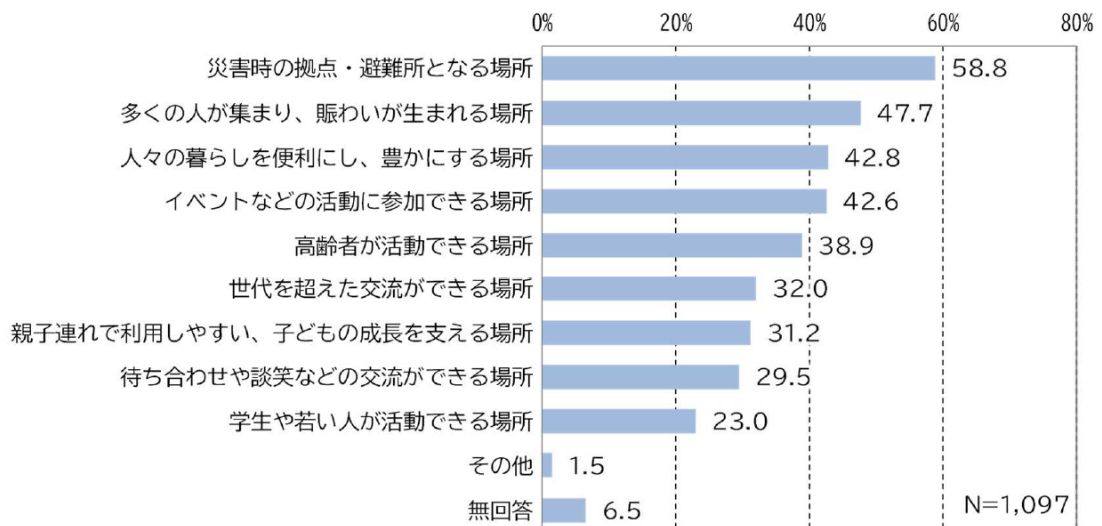
使い続ける

新たな複合施設が、長期的にまちづくりの拠点となり、社会情勢やニーズの変化にも柔軟に対応して使い続けることのできる施設になることを目指します。

また、住民に心地よく利用され続けるよう、利便性が高く親しみやすい、運営に配慮した施設として、使いながら発展していくことを目指します。

新たな複合施設はどのような場所になったらよい？

住民アンケートにおいて、新たな複合施設がどのような場所になったらよいか、という設問に対し、「災害時の拠点・避難所となる場所」が58.8%で最も多く、次いで、「多くの人が集まり、賑わいが生まれる場所（47.7%）」「人々の暮らしを便利にし、豊かにする場所（42.8%）」「イベントなどの活動に参加できる場所（42.6%）」となっています。



新たな複合施設がどのような場所になったらよいか(住民アンケート)

2. 複合施設建設の基本的な考え方

新たな複合施設に係る基本的な考え方として、以下の8つを基本方針として掲げます。

守る

基本方針1 地域の安全・安心を支える災害対策の拠点

- 新たな複合施設は洪水等の水害発生時において、浸水等の危険性は低いとされていることから、本町における災害対策の拠点のひとつとして機能させることを検討します。
- また、大規模地震を含む多様な災害発生時において、国道沿線はインフラの復旧等が進みやすいと考えられ、災害対応の拠点となることが期待されますが、一定期間は自立して継続可能となるような設備の設置を検討します。

基本方針2 住民生活を支える新たな拠点

- 子育て支援をはじめとする福祉分野や、住民の利便性向上に資する行政サービスとの連携を充実させることで、“ついで利用”を含め、住民生活を支える機能を持たせることについて検討します。

集う

基本方針3 あらゆる世代の町民が集う、まちのにぎわいの拠点

- 新たな複合施設では、イベント・行事等におけるにぎわいに加えて、日常においても、町民のニーズに応じて、施設内で町民が交流する・くつろぐ・飲食する、子どもが遊ぶなど、多様な過ごし方によりにぎわいを生むことを検討します。
- ホールに加えて汎用性の高いスペースを設けるとともに、環境を整えるなど、幅広いニーズに応じて利用しやすくすることで、多様な住民活動で利用されることが期待されます。
- 建物のみに限らず、周囲の屋外スペースを含めて一体的に利用ができるような空間の使い方について検討します。

基本方針4 産業とともに発展する拠点

- 国道220号や東串良町物産館ルピノンの館にも近い立地特性を活かし、近隣の商業・飲食機能等と連動して人が集うような運営を目指します。

活動する

基本方針 5 多様な活動に対応できる拠点

- 学ぶ・調べる・発信するなど、幅広い使い方のニーズに対応できるよう、可変性の高い空間の使い方について検討します。
- 現代におけるライフスタイルの変化に対応し、リモートワークなど多様な働き方にも対応できるような基盤の整備を検討します。

使い続ける

基本方針 6 あらゆる人にやさしい、利便性の高い拠点

- 国道 220 号や東串良町物産館ルピノンの館に近い立地特性を活かし、国道 220 号沿線の商業施設で買い物をする自家用車の利用者をはじめ、バス・自転車の利用者など、幅広い年齢層の住民がアクセスし、利用することが期待されます。
- 町内のあらゆる地域の住民がアクセスしやすくなるよう、交通利便性の充実にについて検討します。
- 年齢や障がいなどに関わらず、あらゆる住民が快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応した安全に使いやすい施設を目指します。
- 案内やサインは、設置位置、色、サイズなどに配慮し、あらゆる人に分かりやすいものを目指します。

基本方針 7 住民の誇りとなる、発展する拠点

- 本町は自然豊かなまちであり、立地候補地においても農地に囲まれ、遠方には山並みの景観を望むことができます。これらの自然の特性を感じることができるような拠点を目指します。
- 新たな複合施設は建物が完成して終わりではなく、住民に親しまれて使われ続ける施設となり、住民の誇りとなるような施設に発展していくため、施設の整備に限らず、完成後の運営についても検討を行います。

基本方針 8 経済的な効率性に配慮した拠点

- 人口減少、少子高齢化等により、今後、行財政は厳しい状況になることが懸念され、整備費用の抑制が求められる一方で、住民にとって利用しやすい施設となるよう、汎用性の高いスペースを多用途で使いこなす工夫や、コンパクトな規模の施設にするための検討を行います。
- 新たな複合施設の維持管理・運営にあたっては、高熱水費をはじめとするランニングコストが発生するため、これらの低減を見据えた施設を目指します。

1. 複合施設の施設計画

(1) 複合施設の機能

基本構想で行った住民アンケートやワークショップから複合施設に求められる機能のキーワードを抽出し、新複合施設に導入する機能を下記に示します。

機能		想定する諸室
守る	避難	ホール、会議室、屋外広場など
	備蓄	倉庫など
	支援	子育て支援、相談など
集う	賑わい	ホール、図書・カフェ、展示など
	交流	子育て支援、コワーキング、ホール、スタジオ、屋外テラスなど
	くつろぐ	図書・カフェ、屋外広場、屋外テラスなど
活動する	学ぶ、調べる	図書・カフェ、コワーキング、会議室、スタジオ、キッチン、練習室など
	発信する	ホール、展示、スタジオなど
	働く	コワーキング、会議室、図書・カフェなど

※各機能として使われる諸室を制限するものではありません。

総合センター概要

住所東串良町池之原995-1

竣工昭和57年8月31日

延床面積2100.66㎡

総合センター		延床	2100.66㎡	
階数		室名	面積	収容人員
1F		事務室	61.62㎡	
		管理人室	10.48㎡	
		談話室	196.83㎡	
		喫茶コーナー	14.72㎡	
		図書室	88.33㎡	50
		調理室	71.59㎡	30
		乳児室	13.50㎡	20
		和室	92.03㎡	70
		研修室	24.00㎡	20
		団体研修室	58.65㎡	30
	大ホール	424.47㎡	700	
	舞台	153.75㎡		
2F		小会議室	44.82㎡	30
		中会議室	88.33㎡	70
		視聴覚室	71.46㎡	70
		操作室	16.76㎡	
		工作室	21.01㎡	20
		調光室映写室	31.43㎡	
		資料展示室	73.04㎡	40

仮想定

新複合施設 既存移転機能

室名	面積(㎡)	備考
多目的ホール	500.00㎡	可動400席
舞台	200.00㎡	
調整室	25.00㎡	
ホワイエ	100.00㎡	
倉庫・ピアノ庫	60.00㎡	
楽屋2室	70.00㎡	
練習室	60.00㎡	
図書	180.00㎡	1万冊
図書事務など	30.00㎡	
スタジオ1	60.00㎡	
スタジオ2	40.00㎡	
和室	25.00㎡	
会議室1	20.00㎡	10名程度
会議室2	35.00㎡	18名程度
会議室3	50.00㎡	24名程度
事務室1	30.00㎡	
事務室2	25.00㎡	
事務室3	25.00㎡	
相談室	10.00㎡	
小計	1545.00㎡	

新複合施設 新規導入機能

カフェ	100.00㎡	約45席
コワーキングスペース	20.00㎡	約10席
子育て支援 (一次預かり、相談窓口)	70.00㎡	
遊具エリア	30.00㎡	
シェアキッチン(料理教室)	45.00㎡	
展示スペース	5.00㎡	
eスポーツ	20.00㎡	PC4台程度
防災備蓄倉庫	30.00㎡	
小計	290.00㎡	

参考

平群町

室名	面積(㎡)	収容人数
ホール	380.00㎡	370席
舞台	160.00㎡	
調整室	20.00㎡	
ホワイエ	100.00㎡	
倉庫・ピアノ庫	70.00㎡	
図書館	580.00㎡	
図書事務	45.00㎡	
図書倉庫	10.00㎡	
グループ学習	40.00㎡	
研修室1	80.00㎡	
研修室2	70.00㎡	
和室	35.00㎡	
小会議室	25.00㎡	
中会議室1	45.00㎡	
中会議室2	50.00㎡	
中会議室3	70.00㎡	
事務室	25.00㎡	
小計	1805.00㎡	

延床面積2556.1

三宅町交流センター

室名	面積(㎡)	収容人数
フリースペース	116.70㎡	
ホール	198.64㎡	
図書フロア	114.14㎡	
自習スペース	73.60㎡	
コミュニティルーム1	63.09㎡	
コミュニティルーム2	51.58㎡	
コミュニティルーム3	19.88㎡	
コワーキングカフェ	56.15㎡	
まちキッチン	55.27㎡	
パントリー	12.20㎡	
食堂	12.62㎡	
学童保育クラブ	203.57㎡	
子育て支援センター	98.50㎡	
小計	1075.94㎡	

延床面積1881.56

高齢者福祉センター概要

住所東串良町池之原2157番地

竣工昭和50年3月

延床面積990.27㎡

高齢者福祉センター

高齢者福祉センター		延床	990.27㎡	
階数	部門	室名	面積	備考
1F	【共用】	集会室	214.72㎡	
	〃	レクリエーション室	113.64㎡	H11増築
	〃	倉庫1	9.81㎡	
	〃	倉庫2	12.09㎡	H11増築
	〃	旧機能回復室	27.56㎡	
	〃	ロビー・廊下・トイレ等	152.77㎡	
	【社会福祉協議会】	事務室	27.08㎡	
	〃	健康相談室	14.44㎡	
	〃	調理室	73.99㎡	H7改修
	〃	食品庫	4.60㎡	H7改修
	〃	ボイラー室	14.44㎡	
	【地域包括支援センター】	事務室	84.93㎡	
	〃	給湯室	7.22㎡	
	〃	相談室	14.44㎡	
	【入浴施設関連】(218.55㎡)	渡り廊下	31.85㎡	H5増築
	うち石油交付金活用面積(172.65㎡)	脱衣室1	24.00㎡	H5増築
		浴室1	39.90㎡	H5増築
		脱衣室2	24.00㎡	H5増築
		浴室2	39.90㎡	H5増築
		機械室	13.00㎡	H5増築
		ボイラー室	9.80㎡	H15増築
		休憩室	36.10㎡	

高齢者福祉センター車庫

高齢者福祉センター倉庫

国家石油備蓄基地記念館事務所

延床60.54㎡

延床42.00㎡

延床277.41㎡

集約化施設面積合計3470.88㎡⇒

削減目標面積347.09㎡

新複合施設の目標面積3123.79㎡

検討事項①

福祉センターの入浴施設部分を補助金返納ありきで解体し、集約化するか。

検討事項②

集約化に伴う補助金活用を想定し、集約化対象施設の合計面積に対し、1割削減した面積で新施設面積を調整。

東串良町

複合施設建設基本構想・基本計画

目次

第1章 構想策定の目的等	1
1. 基本構想策定の目的と検討経緯	1
2. 複合施設建設の検討の必要性について	1
3. 基本構想・基本計画策定における検討の流れ	2
第2章 複合施設建設基本構想	7
I 対象施設について	7
II 既存施設の状況について	7
1. 既存施設の現状	7
2. 既存施設の課題	16
III 先進事例	18
1. 事例視察の概要	18
2. 視察の内容	19
III 複合施設の立地選定	26
1. 立地候補地の抽出	26
2. 立地候補地の優先順位決定	38
IV 複合施設建設の方向性	39
1. 複合施設建設のコンセプト	39
2. 複合施設建設の基本的な考え方	41
第3章 複合施設建設基本計画	43
I 立地候補場所の概要	43
II 複合施設の整備方針	43
III 複合施設の施設計画	44
1. 複合施設の機能	44
2. 諸室の基本機能	45
IV 施設整備計画	46
V 概算事業費・財源	47
VI 事業手法	47
VII 事業スケジュール	47

第1章 構想策定の目的等

1. 基本構想策定の目的と検討経緯

複合施設建設基本構想（以下、「本基本構想」と言う。）は、町民の利便性が高く、安全で、効率的・効果的な複合施設のあり方について、町内の老朽化した公共施設の課題の検証とともに、町民の声等を踏まえて、将来の東串良町（以下、「本町」と言う。）を見据えた基本的な方向性として示すために策定するものです。

2. 複合施設建設の検討の必要性について

本町において、人口減少、高齢化の進行するなか、行財政は今後より一層厳しい状況になることが見込まれ、行財政の効率化・公共施設の低コスト化が求められています。特に公共施設については、70 棟の公共施設のうち 1970 年代初頭から 1990 年代にかけて整備されたものが多く、約 4 割の 29 棟が 1981 年（昭和 56 年）以前の旧耐震基準による設計のものであり、耐震改修や老朽化による大規模改修、建替え等の更新が必要となるものが多くあり、その時期を一斉に迎える現状にあります。しかしながら、本町では、25 年先には人口が約 3 割減少して高齢化率が 15 歳未満年少人口率の約 3 倍になるものと予想され、税収の減少と社会保障関係経費の増加が見込まれることから、公共施設等の維持や更新等に必要な財源の確保は、より一層困難なものとなってきます。

また、かつて全国的に高度経済成長期や急激な人口増加と社会変化を受けて公共施設の整備が進められてきましたが、現状 20 年後には約 9 割の「ハコモノ」と表現される公共施設が老朽化を迎えると想定されており、老朽化による改修・建替えに至らず公共施設を閉鎖する自治体もあります。

本町では、早急に公共施設の全体像を把握するため、平成 29 年に「東串良町公共施設等総合計画」を策定し、長期的な視点を持って、廃止・更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減・平準化、公共施設等の最適配置の実現にむけて検討してきました。

公共施設は災害時には、対策対応の拠点となる欠かせない施設です。加えて、さまざまな公共施設を一つに集約する公共施設の複合化は、町民にとって便利だけでなく、人が集まることによる町の活性化も期待できます。

以上の状況を踏まえ、人と人とがつながり、交流が生まれ、町に賑わいが生まれる、公共施設の複合化について検討を行うことが必要と考えます。

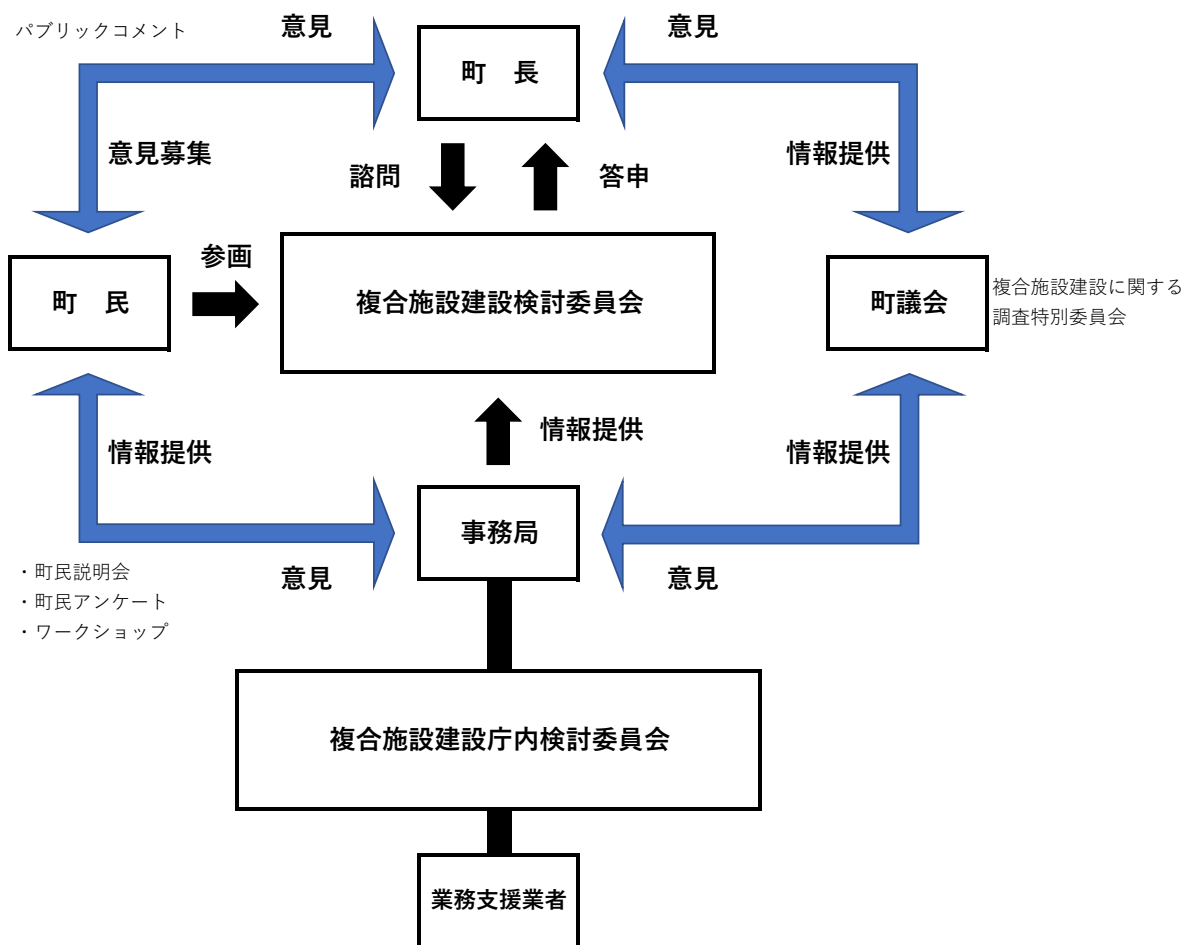
3. 基本構想・基本計画策定における検討の流れ

(1) 検討体制の構築

本町の複合施設建設については、令和5年度より検討が始まりました。

令和5年度に複合施設建設検討委員会、ならびに複合施設建設庁内検討委員会を設置しています。

■検討の体制



■複合施設建設検討委員会、複合施設建設庁内検討委員会の実施概要

年月	項目
令和5年8月	第1回検討委員会（委員会の運営方針や概要・今後の進め方等）
令和5年10月	第1回庁内検討委員会（構想・計画策定方針、アンケート内容等）
令和5年11月	第2回検討委員会（構想・計画策定方針、アンケート内容等）
令和5年11月	事例視察①（奈良県、兵庫県）
令和5年12月	世帯アンケート・町職員アンケートの実施
令和5年12月	第2回庁内検討委員会（既存施設劣化状況、アンケート内容等）
令和6年1月	第3回検討委員会（既存施設劣化状況、アンケート速報報告等）
令和6年2月	第3回庁内検討委員会（アンケート結果報告、立地場所等）
令和6年3月	第4回検討委員会（アンケート結果報告、立地場所等）
令和6年4月	第4回庁内検討委員会（立地場所の比較評価、優先順位）
令和6年4月	第5回検討委員会（立地場所の比較評価、優先順位）
令和6年5月	事例視察②（鹿児島県内）
令和6年6月	第6回検討委員会（立地場所の比較評価、優先順位）
令和6年6月	第5回庁内検討委員会（立地場所の比較評価、優先順位）
令和6年7月	第6回庁内検討委員会、第7回検討委員会の合同開催（立地場所の比較評価、優先順位）
令和6年8月	第7回庁内検討委員会（複合施設に導入する機能）
令和6年9月	第8回検討委員会（基本構想、基本計画）

(2) 世帯アンケートの実施

総合センター、高齢者福祉センター等を集約した新たな複合施設を整備していくための基本構想・基本計画の策定に向け、住民目線、利用者目線での意向を把握することを目的として実施しました。

①調査対象及び調査方法等

調査対象 町内の全世帯

調査方法 WEB 及び紙面回収

調査時期 令和 5 年 12 月 11 日～令和 6 年 1 月 5 日

②回収率等

配布数 3,260 票

回答数 1,097 票 (紙：909 票 オンライン：188 票)

※オンライン回答の割合：17.1%

回答率 33.7%

(3) 職員アンケートの実施

総合センター、高齢者福祉センター等を集約した新たな複合施設を整備していくための基本構想・基本計画の策定に向け、町職員目線での意向を把握することを目的として実施しました。

①調査対象及び調査方法等

調査対象 町役場の全職員

調査方法 WEB 及び紙面回収

調査時期 令和 5 年 12 月 21 日～令和 6 年 1 月 5 日

②回収率等

職員数 170 人

回答数 104 票

回答率 61.2%

(4) 住民説明会の実施

新たな複合施設について、住民への情報提供を行い、また住民からの意見・質問を聴取するために、住民説明会を開催しました。住民説明会では、複合施設を整備する理由、検討の体制、検討の経緯、現在の検討状況、今後のスケジュールなどを説明しました。

■住民説明会①の開催結果

開催日時		参加人数	場所
令和6年5月17日(金)	13:30~15:00	8	町高齢者福祉センター
令和6年5月18日(土)	13:30~15:00	8	町総合センター
	19:00~20:30	2	
令和6年5月19日(日)	13:30~15:00	6	町保健センター
	19:00~20:30	0	
令和6年5月20日(月)	13:30~15:00	5	町農村環境改善センター
	19:00~20:30	0	

■住民説明会②の開催結果

開催日時		参加人数	場所
令和7年1月 日 ()			

(5) ワークショップの実施

新たな複合施設に向けて、住民とまちの未来を語り合う全2回のワークショップを開催しました。

■開催概要

第1回 複合施設のあるまちの未来を語り合おう			
開催日時	令和6年6月30日（日） 14:00～16:00	会場	総合センター
主な内容	・ 複合施設がある未来のまちの姿をイメージしてみよう ・ 複合施設のキャッチフレーズをつくろう		
第2回 複合施設にある「モノ」「コト」を語り合おう			
開催日時	令和6年7月21日（日） 14:00～16:00	会場	総合センター
主な内容	・ 立地場所の現地見学会（任意参加） ・ 複合施設でやりたいことをイメージしよう ・ 複合施設に必要な機能等のアイデアを出し合おう		

(6) パブリックコメント

第2章 複合施設建設基本構想

I 対象施設について

新たな複合施設について検討するにあたり、町内の公共施設（別紙参照）のうち、複合化・集約化の対象となる施設を整理しました。

II 既存施設の状況について

新たな複合施設について検討するにあたり、統合の対象となる、類似機能を有する町内の既存施設の現状と課題を整理しました。

1. 既存施設の現状

（1）総合センター

①施設の概要

施設の概要は下表のとおりです。利用状況を見ると、令和元年度には年間18,903 人が利用していましたが、令和2、3年度には新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等もあり利用者数が急減し、令和4年度時点では年間10,754 人が利用しています。

■施設の概要

建築時期	階数	構造	延床面積	主な機能
1982年8月	2F	RC造	2100.66㎡	事務室、会議室、調理室、ホール、図書室、視聴覚室、和室、団体研修室

■施設の利用状況

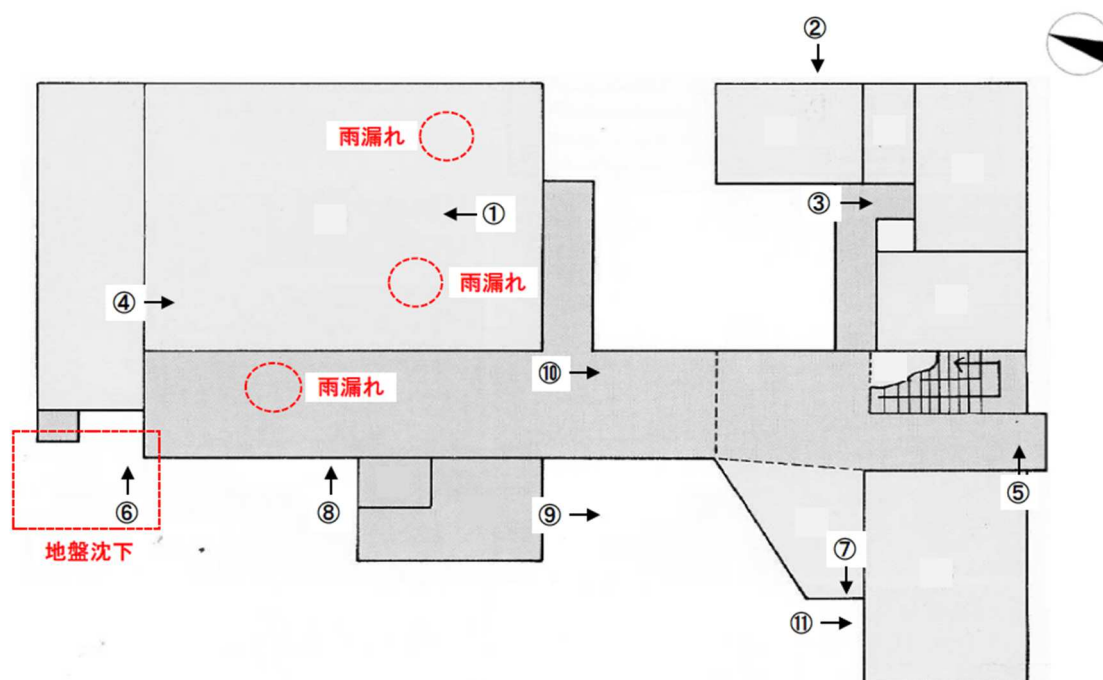
種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用回数(回／年)	1,020	500	438	629
利用者数(人／年)	18,903	7,307	7,147	10,754

②施設の現地調査結果

総合センターの現地調査を行った結果は以下のとおりです。

■施設の現地調査結果

屋上	・大ホール上部の屋根一部に発錆 写真④ →大ホールや廊下では雨漏れがみられる 写真① ・パラペットに爆裂やモルタル剥がれ 写真⑦
外部	・北西側の地盤沈下 写真⑥ ・外壁の一部にクラックや塗装の劣化 写真② ・外部建具のシーリング劣化 写真② ・エントランス廻りの床タイル剥がれ 写真⑨ ・竖樋支持金物の破損 写真⑧
内部	・壁の一部クラック 写真③ ・天井一部の染み跡 写真⑩
設備	・全体的に未更新(個別空調は新設) ・一部の大便器が使用不可 写真⑤
備考	・大ホールの天井は特定天井の可能性あり ・大ホール天井裏にアスベスト材使用の可能性あり





①1階大ホール:雨漏れ(バケツにて応急対応)



②南西側外壁:クラック・塗装の劣化・シーリング劣化



③2階南西側廊下壁:クラック



④大ホール上部屋根:発錆



⑤2階男子トイレ:大便器水漏れのため使用禁止



⑥北西側建物廻り:地盤沈下



⑦南東側屋上パラペット:爆裂



⑧西側縦樋支持金物:破損



⑨エントランス廻り:床タイル剥がれ



⑩1階ホール天井:染み跡



⑪南東側外壁タイル:クラック

(2) 高齢者福祉センター

①施設の概要

施設の概要は下表のとおりです。利用状況を見ると、入浴施設を除く施設においては、令和元年度には年間 3,473 人が利用していましたが、令和 2、3 年度には新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等もあり利用者数が急減し、令和 4 年度時点では年間 1,708 人が利用しています。

入浴施設においては、令和元年度には年間 11,599 人が利用していましたが、令和 2、3 年度には新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等もあり利用者数が減少し、令和 4 年度時点では年間 10,309 人が利用しています。

■施設の概要

施設	建築時期	階数	構造	延床面積	主な機能
高齢者福祉センター	1975年 3月	1F	RC造	671.84 m ²	事務室（地域包括支援センター、社会福祉協議会）、相談室、集会室、会議室、調理場
高齢者福祉センター（入浴施設）	1994年 3月	1F	RC造	179.25 m ²	入浴施設
車庫2棟	2002年 4月	1F	S造	65.54 m ²	福祉関係車両、マイクロバス用の車庫
倉庫	2003年 4月	1F	木造	42 m ²	福祉関係車庫（老人クラブ使用）

■施設の利用状況

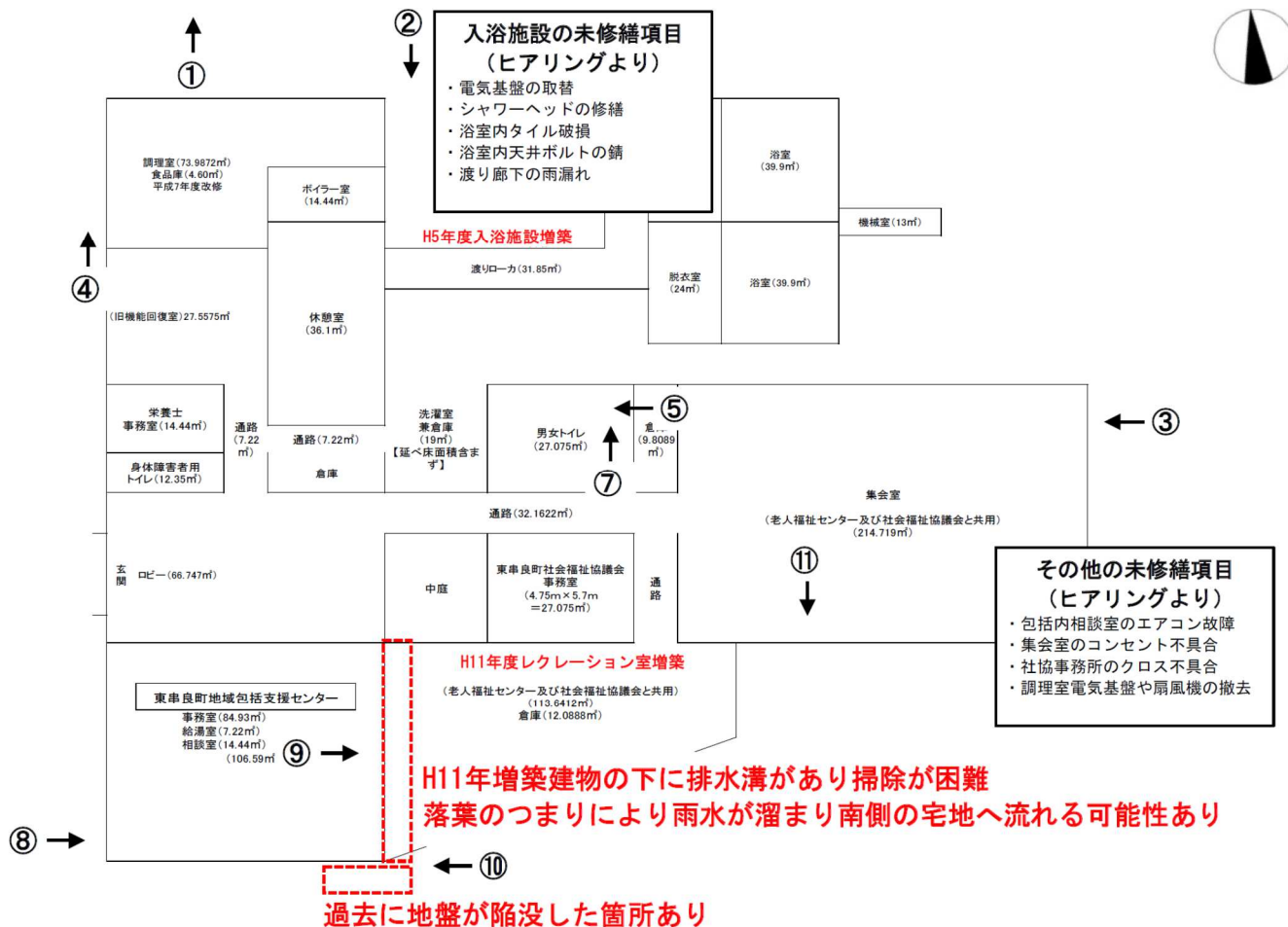
種別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高齢者福祉センター（集会室、会議室等（ <u>入浴施設除く</u> ）） （人／年）	3,473	1,489	1,439	1,708
高齢者福祉センター（ <u>入浴施設</u> ） （人／年）	11,599	9,959	9,762	10,309

②施設の現地調査結果

高齢者福祉センターの現地調査を行った結果は以下のとおりです。

■施設の現地調査結果

屋上	・北西側庇屋根の発錆(大部分は改修済) 写真④
外部	・南側排水溝のつまり対策 写真⑩ ・過去に南側の地盤陥没 写真⑩ ・南西側軒裏に一部爆裂・塗装の剥がれ 写真⑧ ・外壁の一部にクラック 写真③
内部	・集会室：塗装の剥がれ 写真⑪ ・包括支援センター壁：クラック 写真⑨ ・男女トイレ間に間仕切壁なし(音漏れ) 写真⑤ ・トイレの一部ドアが開閉不良 写真⑦
設備	・北側キュービクルの更新時期が経過 写真① ・身障者用トイレの換気性能低下(臭気あり) 写真⑥
備考	・H5年度とH11年度の増築で複雑な配置 ・入浴施設は未修繕箇所多数 写真② ・その他エアコン故障等の未修繕箇所あり





①北側キュービクル:更新時期を経過



②入浴施設(H5 増築):未修繕箇所多数



③東側外壁:クラック



④北西側庇屋根:発錆



⑤男女トイレ:男女のトイレ間に間仕切壁なし(音漏れ)



⑥身体障がい者用トイレ:換気性能の低下(臭気あり)



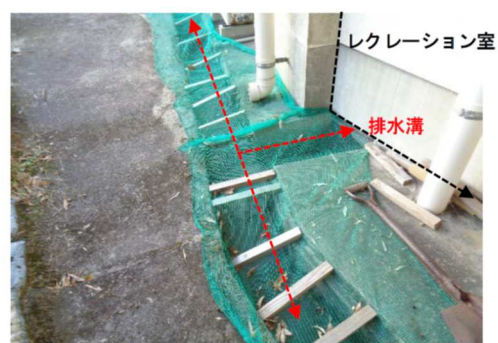
⑦女子トイレ:ドアの開閉不良



⑧南西側軒裏:爆裂・塗装の剥がれ



⑨包括支援センター壁:クラック



⑩南側建物廻り:排水溝のつまり対策・過去に陥没あり



⑪集会室:塗装の剥がれ

(3) 国家石油備蓄基地記念館

①施設の概要

施設の概要は下表のとおりです。

施設	建築時期	階数	構造	延床面積	主な機能
国家石油備蓄 基地記念館 (事務所)	1985年 3月		木造	277.41 m ²	事務所

2. 既存施設の課題

既存施設の課題を整理します。

既存施設のうち、総合センターについては築後40年以上を経過していますが、新耐震基準を満たしていることから、地震に対する危険性は低いとされています。一方で、建物が肝属川洪水浸水想定区域に立地していることから、防災上の安全性の観点から災害時の拠点としては脆弱性が懸念されます。また、建物自体が老朽化しており、雨漏りをはじめ劣化に伴う問題が発生していることに加え、地盤沈下の状況が見受けられるなど敷地に関する問題も発生しており、別の敷地への移転が必要な状況となっています。

また、高齢者福祉センターについても築後40年以上を経過しており、1975年築の建物は旧耐震基準となっていることから、地震に対する危険性が懸念されます。また、建物自体が老朽化しており、爆裂（コンクリート内部の鉄筋が錆び、腐食により膨張し、内側からコンクリートを破壊して押し出す現象）など劣化に伴う問題が発生しています。

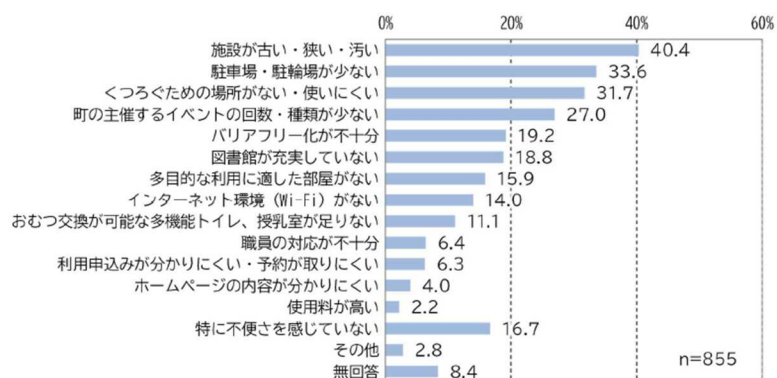
このほか、住民アンケート、職員アンケートにおける意見などを考慮して整理すると、以下の項目にまとめられます。

①防災上の危険性

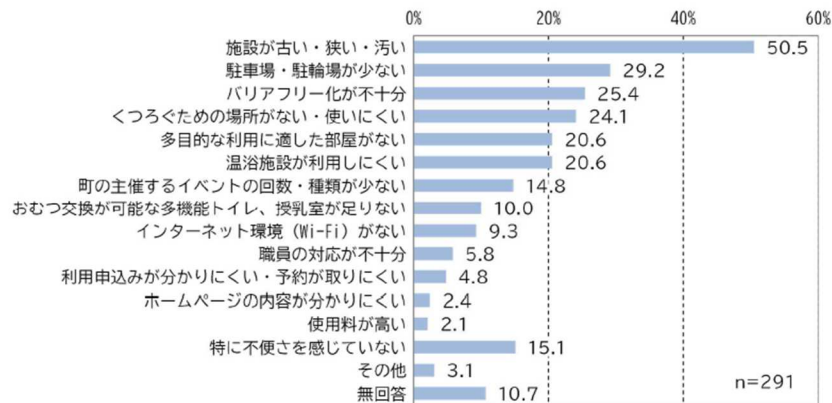
総合センターは立地における危険性、高齢者福祉センターにおいては耐震上の危険性などがあり、災害時には利用者等の安全性の確保が懸念されます。

②施設の劣化

現地調査の結果、2つの既存施設の建物内外及び設備において老朽化に伴う劣化が確認されました。加えて、総合センター、高齢者福祉センターともに、住民アンケート及び職員アンケートにおいては、「施設が古い・狭い・汚い」という意見が最も多くなっており、施設の物理的な劣化を背景に、住民にとって使いにくい施設になっていると考えられます。



総合センターに不便さを感じる事(住民アンケート)



高齢者福祉センターに不便さを感じること(住民アンケート)

また、住民アンケートにおいては、高齢者福祉センターについて「バリアフリー化が不十分」という意見が 3 番目に多いなど、現代において当然求められる機能を有していない状態にあると考えられます。加えて、「くつろぐための場所がない・使いにくい」など、現代において求められるニーズに対応できておらず、社会的な劣化の状態にあると考えられます。

③十分な面積の確保

総合センター、高齢者福祉センターともに、住民アンケートにおいては、「駐車場・駐輪場が少ない」という意見が 2 番目に多くなっています。現代において、施設の各利用者は車でアクセスするケースが多くなっていますが、想定される利用者数に対して、十分な面積の駐車場を確保できていないため、住民にとって使いやすい施設になっていないことが懸念されます。

Ⅲ 先進事例

1. 事例視察の概要

東串良町複合施設建設検討委員会においては、参考となる複合施設の具体的なイメージを共有しながら検討を進めるため、関西方面および鹿児島県内において2度の事例視察を行いました。概要は以下のとおりです。

事例視察 ①	【日 時】令和5年11月28日（火）～30日（木） 【行き先】○奈良県 ・平群町総合文化センター（平群町） ・三宅町交流まちづくりセンターMi i Mo（三宅町） ○兵庫県 ・太子町立文化会館（太子町） ・神戸ポートオアシス（神戸市中央区） 【参加者】計16名 （建設検討委員会6名、庁内検討委員会4名、事務局3名、業者3名）
事例視察 ②	【日 時】令和6年5月22日（水） 【行き先】○鹿児島県 ・指宿市民会館（指宿市） ・複合施設「センノオト」（薩摩川内市） 【参加者】計20名 （建設検討委員会12名、事務局4名、業者4名）

2. 視察の内容

視察した各施設の主な機能等は以下のとおりです。

(1) 平群町総合文化センター

①施設の概要

【主要用途】中央公民館、人権交流センター、図書館

【延床面積】2,556 m²

【規模】地上2階、駐車場130台

【竣工時期】2020年



施設の外観

移動式座席のホールを有する複合施設の事例として視察を行いました。
視察時の関係者との協議では、完成後に利用していくなかで、飲食スペース（喫茶店等）があればよかったとの声が聞かれました。

②施設の主な機能

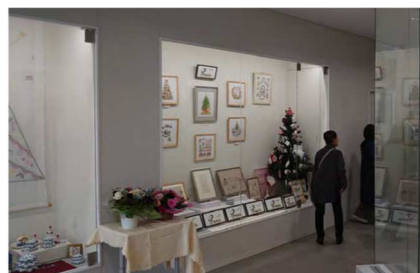


ホール(471 m²、370席※)

※うち移動式270席



図書館(8万冊蔵書可能、5人体制、
盗難防止ゲート設置)



2週間無料の展示スペース

(2) 三宅町交流まちづくりセンターMi i Mo

①施設の概要

【主要用途】まちの交流施設（多目的ホール、図書室、子育て支援・学童保育、レンタルスペース、コワーキングスペース、シェアキッチン、広場等）

【延床面積】1,881.56 m²

【規模】地上3階、駐車場 31 台（役場兼用）

【竣工時期】2021 年



施設の外観

図書室をはじめとする多様な機能を有する複合施設であり、また、隣接して広場（テラス）のある施設の参考として視察を行いました。

②施設の主な機能



ホール



シェアキッチン



フリースペース(住民・来訪者が出会い
交流できる場、飲食提供あり)



コワーキングスペース



図書フロア



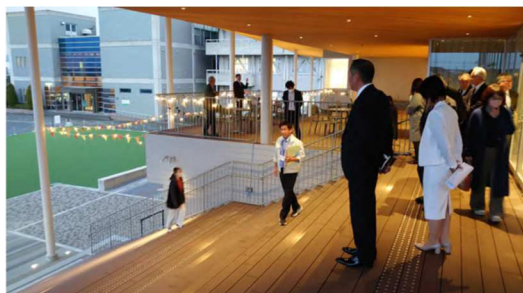
自習スペース



学童保育クラブ



子育て支援ルーム



テラス



レンタルルーム

(3) 太子町文化複合施設

①施設の概要

【主要用途】ホール（敷地内に歴史資料館
と図書館が併設され、ふるさと文化村とよんでいる）

【延床面積】6,343 m²

【規模】地上4階

【竣工時期】1993 年

移動式座席の対照として、固定式座席のホールの事例として視察を行いました。

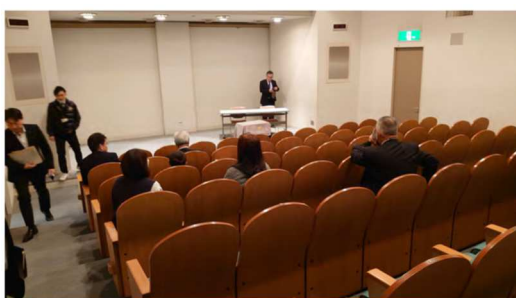
②施設の主な機能



大ホール(固定席 788 席(うち車椅子席 4席)、移動席12席 計800席)



楽屋



視聴覚室



研修室

(4) 神戸ポートオアシス

①施設の概要

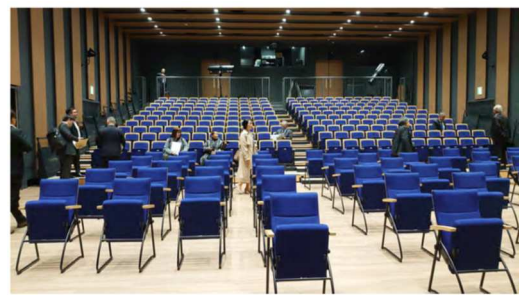
【主要用途】	ホール、会議室、飲食・物販
【延床面積】	4,736 m ²
【規模】	地上5階
【竣工時期】	2017 年

隣接する屋外とのつながりを有する（半屋外の）、ホールのある複合施設の事例として視察を行いました。

②施設の主な機能



エントランス(半屋外)



多目的ホール(400 席(うち可動
席 220 席))

(5) 指宿市民会館

①施設の概要

【主要用途】ホール、楽屋、リハーサル室、創作活動室、オープンテラス
(隣接する「なのはな館」の施設利用促進のため、会議室などを排除)

【延床面積】3,277.46 m²

【規模】地上2階

【竣工時期】2022年

ホールを有する鹿児島県内の最新の複合施設の事例として視察を行い、関係者より、ホールやテラス、多目的で利用できる創作活動室の利用状況等について聞き取りを行いました。

②施設の主な機能



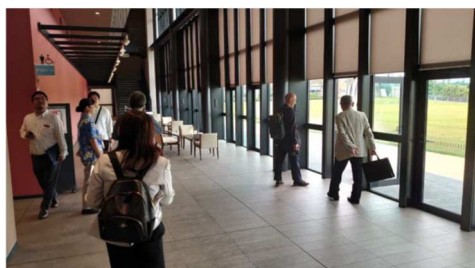
大ホール(固定席 801 席)



リハーサル室



創作活動室(カフェスペースとして
営業可能)



オープンテラス

(6) 複合施設センノオト

①施設の概要

【主要用途】 書架のあるオープンスペース
(ワークショッップスペース、キ
ッチンスタジオを含む) ワーク
スペース、カフェスペース、キ
ッズスペース (別館)

【延床面積】 m²

【規 模】 地上 2 階

【竣工時期】 2024 年



施設の外観

図書閲覧、カフェなど多様な機能を有する鹿児島県内の複合施設の参考として、九州電力が整備・運営しているという点に留意した上で視察を行いました。

②施設の主な機能



オープンスペース(イベントに応じてワークショッップスペース等ヘレイアウト変更)



オープンスペース(キッチンスタジオ)



ワークスペース



カフェスペース(スターバックス)



キッズスペース



屋外(遊具:ふわふわドーム)

Ⅲ 複合施設の立地選定

1. 立地候補地の抽出

(1) 候補エリアの絞り込み

①候補エリアを抽出する主な視点

新たな複合施設の立地場所の候補エリアを抽出するため、以下の3つの視点を設定しました。

視点1 防災上の安全性

新しい複合施設においては、防災的な拠点の一つとなることが期待されることから、肝属川洪水浸水想定区域などを考慮し、災害時にも安全であるかどうかを考慮することが重要です。

視点2 アクセスの良さ

新しい複合施設は、既存の総合センター、高齢者福祉センターの機能を引き継ぐだけではなく、本町において町民が集い、様々な用途で利用し、災害時には防災拠点の一つとして活用するなど、本町全体の拠点的な機能を有する施設になります。そのため、この施設が町内のどのような立地であれば、町民にとってアクセスしやすいかについて考慮することが重要です。

視点3 既存施設との位置関係

新しい複合施設を使いやすい施設にしていくため、他の公共施設等の位置や機能を踏まえて、他のどのような既存の施設と近接すれば、町民にとって利便性が高いかなど、機能の位置関係や連動について考慮することが重要です。

②候補エリアの抽出

候補エリアを絞り込むにあたっては、新たな複合施設を災害時に防災拠点の一つとして活用するなど、本町全体の拠点的な機能を有する施設になることを考慮し、以下の内容を踏まえることを前提条件として整理しました。

以下を踏まえ、新しい複合施設の立地を検討する範囲（次頁の黄色点線）を設定

- ・南西部（串良川・肝属川沿い）は浸水想定区域が広がっている（浸水想定区域は複合場所の立地場所からは除外）
- ・北部（国道 202 号の北側）は土砂災害危険箇所が分布し、アクセスに十分な道路が整備されていないため、東部（汐入川の東側）は災害時にインフラの寸断の恐れがあるため、町域をカバーする指定避難所としての機能を想定するのは困難

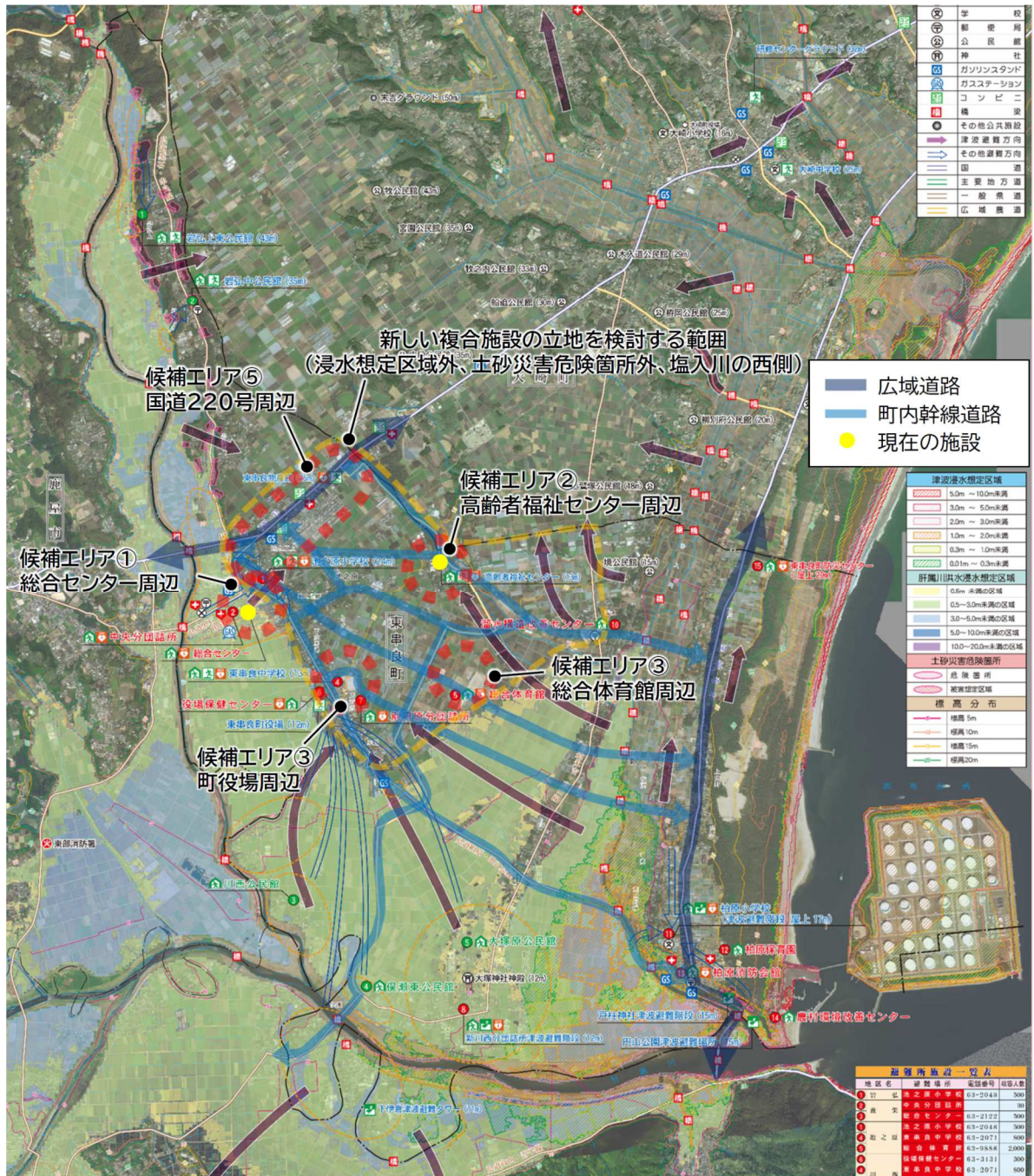
また、町民のアクセスのしやすさや公共施設等との位置関係から見ると、現在の施設が立地している「①総合センター周辺」と「②高齢者福祉センター周辺」、町民にとって利便性が高いと考えられる「③町役場周辺」、「④総合体育館周辺」、「⑤国道 220 号周辺」を挙げることができます。

以上を踏まえ、次頁の黄色点線で示すエリアと①～⑤が重なる部分を、町内における立地場所の候補エリアとして抽出しました。

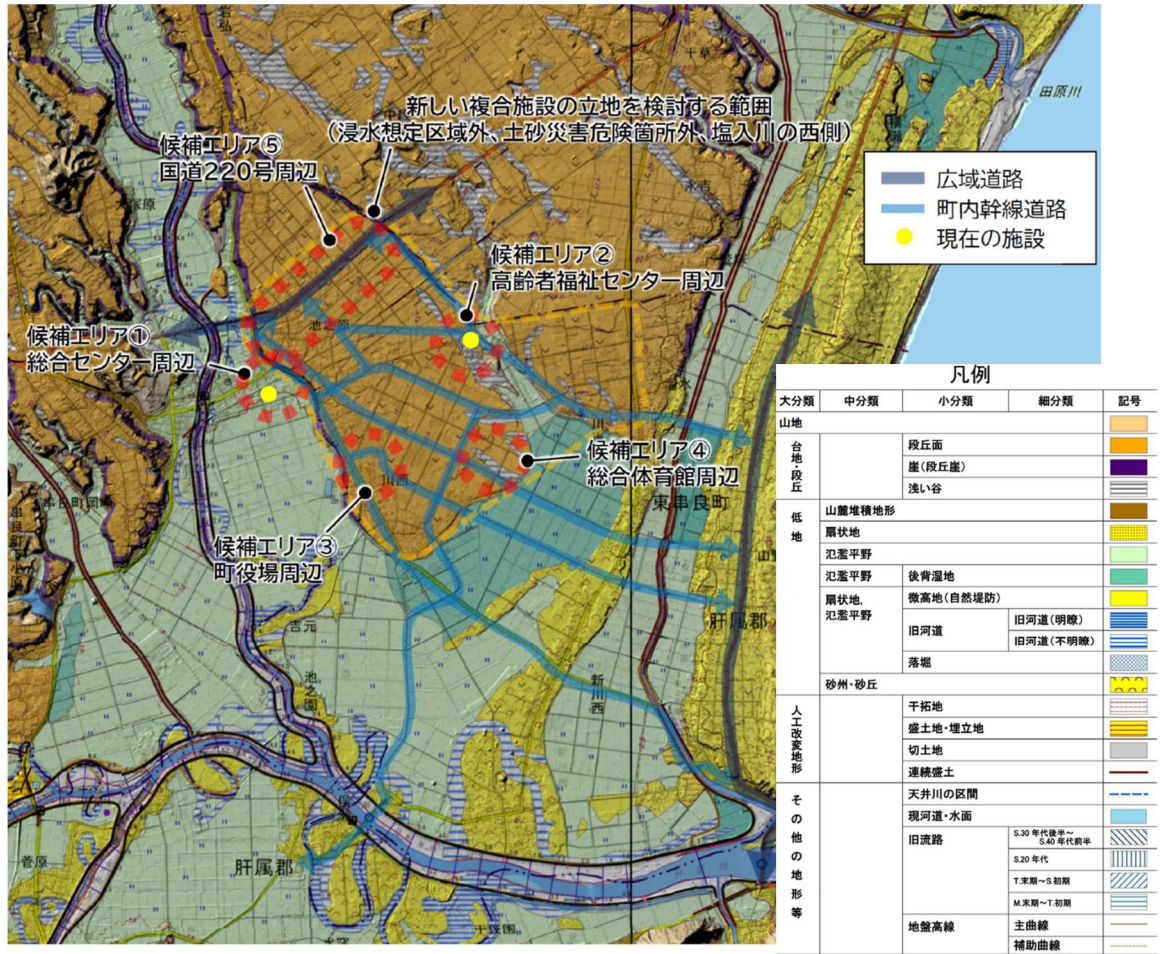
各候補エリアを抽出した主な背景は以下のとおりです。

①総合センター周辺	既存施設の利用者がいると考えられ、また、東串良駅が立地していた、かつての商業の中心地であり、町役場や国道 220 号の間に位置しています。
②高齢者福祉センター周辺	既存施設の利用者がいると考えられ、また、防災拠点としての機能が期待できます。
③町役場周辺	周囲の町役場・防災庁舎・保健センター、東串良中学校、新たな学校給食センター（設計中）等との連携が期待できます
④総合体育館周辺	総合体育館との連携が期待され、また、防災拠点としての機能が期待できます。
⑤国道 220 号周辺	周囲に公共施設は多くないものの町内では人口密度が高く、商業施設等の民間施設が充実しており連携が期待できると考えられます。

■候補エリアと災害危険箇所（防災マップとの関係図）



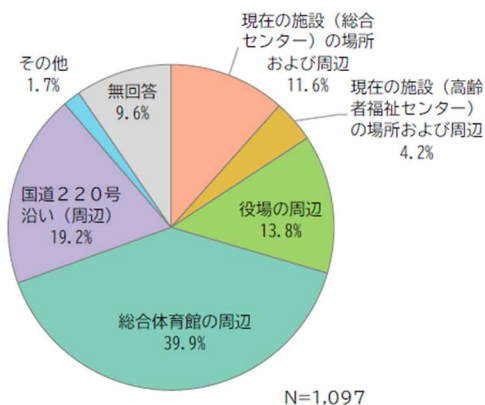
■候補エリアと治水地形分類（国土地理院）との関係図



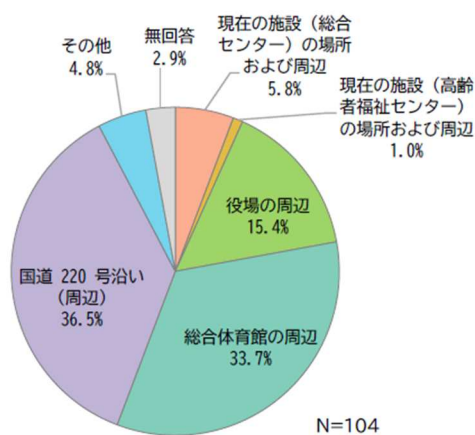
③候補エリアに係る住民等の意見

新たな複合施設の立地場所について、住民アンケートでは「総合体育館の周辺」が39.9%で最も多く、次いで、「国道220号沿い（周辺）（19.2%）」となっています。

また、町の職員アンケートでは「国道220号沿い（周辺）」が36.5%で最も多く、次いで、「総合体育館の周辺（33.7%）」となっています。



あなたは、新たな複合施設がどこにあるとよいか（住民アンケート）



東串良町のこれからのまちづくりを考えたときに、新たな複合施設がどこにあるとよいか（職員アンケート）

④候補エリアの絞り込み

②で抽出した候補エリアについて、①の視点1（防災上の安全性）、視点2（アクセスの良さ）、視点3（既存施設との位置関係）、また、町民等の声を踏まえて比較すると下表のとおりです。

各視点で定性的に評価し、「③町役場周辺」、「④総合体育館周辺」、「⑤国道 220 号周辺」の3つを候補エリアとして絞り込みました。

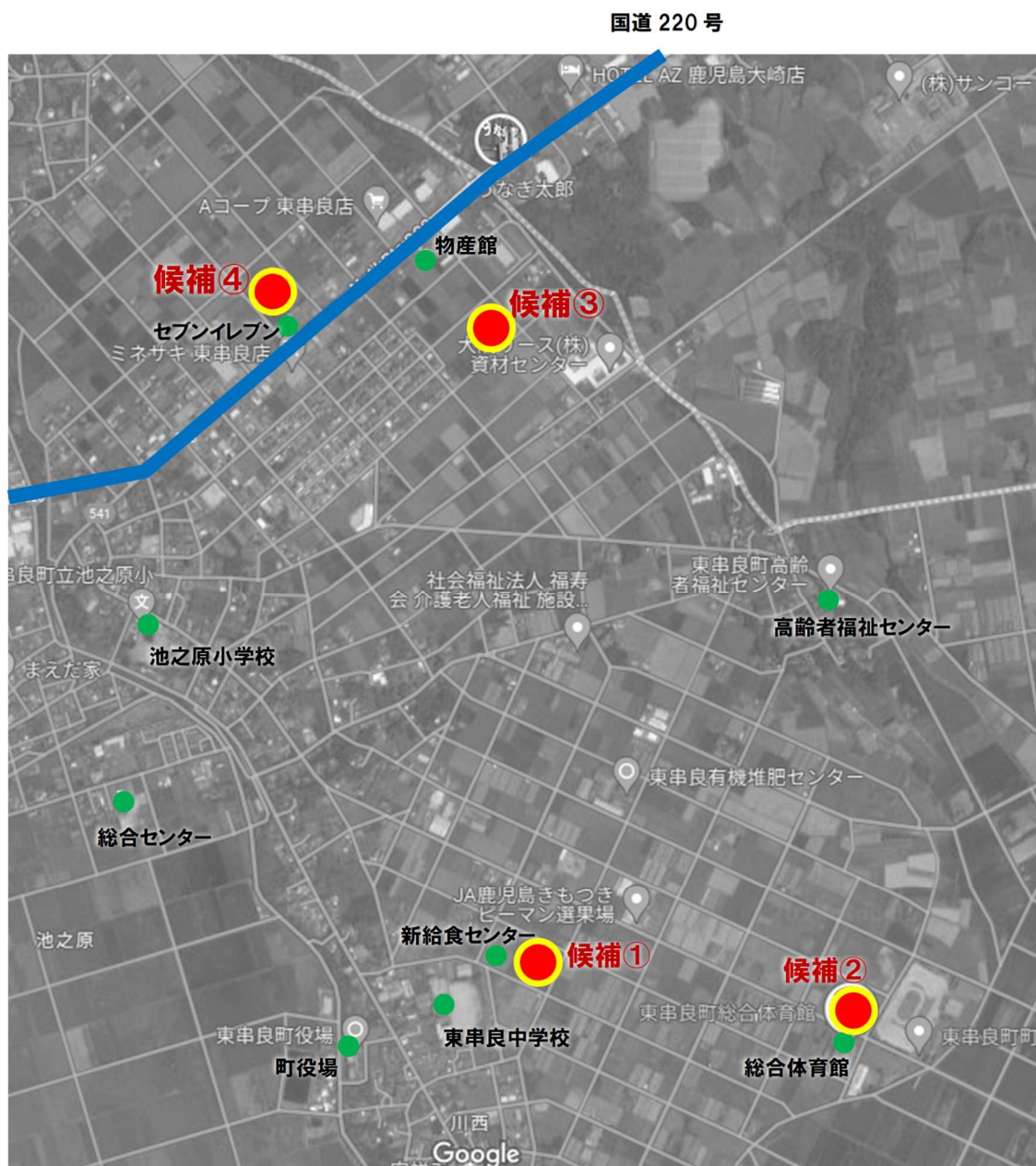
	防災上の安全性	アクセスの良さ	既存施設との位置関係	町民等の声	評価
①総合センター周辺	△ 洪水浸水想定区域に大部分が含まれ、浸水想定区域外の「段丘面」と高低差がある	○ 「人が集う」町内からのアクセスの良さ、既存施設利用者の馴染みがある	○ 役場や国道 220 号の間に位置している。東側は池之原小学校等との連携が期待できる	△ 4 番目に求める声が多い	△ 安全性の問題が、不安要素として大きい
②高齢者福祉センター周辺	○ 津波・洪水の浸水、土砂災害のリスクが低い（「浅い谷」「氾濫平野」は要注意）	○ 「人が集う」町内からのアクセスの良さ、既存施設利用者の馴染みがある	× 他のエリアと比べて既存の施設との連携の期待は難しい	× 町民の求める声は少ない	△ 既存の施設との連携が難しい
③町役場周辺	○ 津波・洪水の浸水、土砂災害のリスクが低い（「段丘面」のみ候補地）	○ 「人が集う」町内からのアクセスの良さがある 「にぎわいがうまれる」小中学校の子どもや役場訪問者等の利用が期待できる	○ 町役場、保健センター、東串良中学校等との連携が期待できる	△ 3 番目に求める声が多い	○ →候補エリアとして抽出
④総合体育館周辺	○ 津波・洪水の浸水、土砂災害のリスクが低い（「浅い谷」「氾濫平野」は要注意）	○ 「人が集う」町内からのアクセスのよさがあり、地理的な中心である 「にぎわいがうまれる」総合体育館等の利用者との相互利用が期待できる	○ 総合体育館等との連携が期待できる	○ 町民の求める声は最も多い	○ →候補エリアとして抽出
⑤国道 220 号周辺	○ 津波・洪水の浸水、土砂災害のリスクが低い（「段丘面」のみ候補地）	○ 「人が集う」人口密度の高さに伴い町民の利用が期待できる 「にぎわいがうまれる」町外からのアクセスのよさに伴う交流が期待できる	○ 東側は物産館や商業施設等との連携、西側は池之原小学校等との連携が期待できる	○ 総合体育館周辺に次いで求める声が多い	○ →候補エリアとして抽出

(2) 立地候補地の絞り込み

①立地候補地の選定

前項で抽出した3つの候補エリア「③町役場周辺」、「④総合体育館周辺」、「⑤国道 220 号周辺」のうち、町有地に加え、民有地のうち所有者より立地候補地として検討することに同意を得ることのできた敷地から、新たな複合施設の立地候補地を4箇所抽出しました。

■立地候補地の選定箇所



②立地候補地の比較項目

立地候補地の優先順位を検討するため、立地条件と敷地条件ごとに比較項目を設定しました。

要素	比較項目	概要
立地条件	アクセスの良さ	町民がアクセスしやすいか。 候補地周辺の道路整備の状況はどうか。
	防災上の安全性	災害時に建物の安全性を確保でき、防災の拠点となりうるかどうか。 立地が指定避難所として有利かどうか（他の指定避難所との位置関係、集落からの避難経路等）。
	既存施設との位置関係	建物の整備により、町民に利用される施設として、周辺の公共施設等との相乗効果が期待できるかどうか。また、駐車場等の機能の相互利用ができるか。 加えて、町外の公共施設等との機能分担が期待できるか。
	周辺への環境的な影響	建物の整備により、周辺の住宅地・田畑に悪影響を及ぼさないかどうか。
敷地条件	面積の確保	施設、駐車場の十分な面積を確保できるかどうか。
	接道条件	人、車（一般、業務）が入りやすいか、安全性が確保できるかどうか。 周辺の人、車の通行に影響がないかどうか 緊急時等に十分な通路を確保できるかどうか。
	コスト、土地取得の容易さ	町有地であるか、もしくは民有地であっても適正な金額で取得できるか。また、手続きに障害なく取得できるか。
	法（用途）規制等	農地かどうか。農地転用、開発許可等の手続が必要となるかどうか。（整備費等が変わってくる可能性あり） 敷地内の水路、里道の状況はどうか。
	利用状況	候補地の土地、建物の既存利用者に影響があるかどうか。
	地盤状況	地質的に軟弱な地盤か、強固な地盤か。 基礎工事・工法（杭、改良等）にどの程度影響がでるか。
	インフラ	建物の整備にあたり必要なインフラ（給排水等）が十分に整っているかどうか。また、建物の整備により周辺のインフラに悪影響を与えないかどうか。

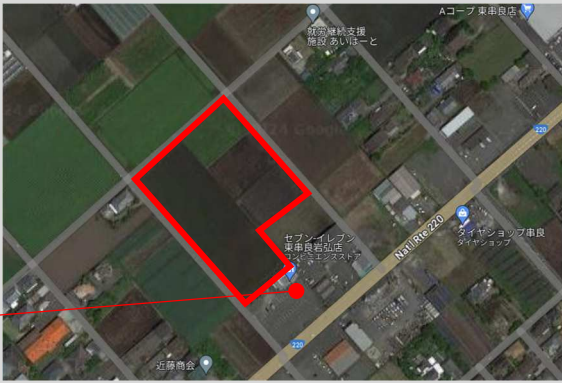
③立地候補地の比較評価

比較項目を基に、各立地候補地の比較評価を行いました。

要素	比較項目	候補①：町役場周辺 (11,270 m ²) 給食センター 予定地
立地 条件	アクセスの 良さ	○敷地南側に町内幹線道路あり。 △敷地南側からの接道（町内幹線道路からのアプローチ）については学校給食共同調理場との調整が必要になる。
	既存施設と の位置関係	○ <u>町役場・保健センターの来訪者の連動利用</u> により利便性・町民サービスが高まる。 ○ <u>東串良中学校の生徒の放課後利用</u> が期待できる。 ○新しく整備予定である学校給食共同調理場との <u>駐車場の共用利用</u> が考えられる。ただし要調整。
	防災上の安全 性	○災害時に <u>防災庁舎と連動</u> した使い方ができる。 ○指定避難所である <u>東串良中学校、保健センターに近接</u> しており、避難拠点として機能する。 △地下水位面が現地盤面（地表面）から 10m 以内にあると想定される町役場周辺は、地震時液状化のリスクがあると判断される。
	周辺への環 境的な影響	△隣接して、住居がないため、住環境への影響は少ないが、隣接した田畑があるため、 <u>建物の配置・高さに配慮する必要がある</u> 。
敷地 条件	面積の確保	○十分な面積が確保できる可能性がある。
	接道条件	△ <u>十分な幅員の道路及び歩道を整備する必要がある</u> 。 △また給食共同調理場の車両通行と重なる可能性がある。
	土地確保の 可能性	○ <u>民有地であり、確保できる可能性</u> がある
	法(用途)規 制等	△ <u>農地転用の手続きが必要</u> 。 開発許可に関しては、協議による。
	利用状況	・東串良中学校の学生は 207 名（令和 5 年度当初） ⇒ <u>中学校の放課後利用、授業・課外活動と連動</u> した利用の可能性
	地盤状況	・近隣データでは、N 値 20～60 程度の良質な地盤が一部で見られる。しかし、その他近隣データでは粘性土で N 値 20 及び、砂質土で N 値 30 を超える層はない。 【出典①：令和 5 年度町営川西住宅 11 号棟建設工事 地耐力調査 報告書より】 【出典②：令和 3 年度東串良町防災資機材等備蓄施設新築工事設計業務委託 基礎杭の検討書より】
	インフラ	○水道本管の <u>水圧の影響</u> はない。

要素	比較項目	候補②：総合体育館周辺 (12,980 m²)  総合体育館
立地条件	アクセスの良さ	○敷地南側に町内幹線道路あり。 ○まちの立地的な中心であり、町内各地から日常的に利用しやすい。
	既存施設との位置関係	○<u>総合体育館、町民運動場の来訪者の連動利用</u>により利便性・町民サービスが高まる。 ○総合体育館、町民運動場との<u>駐車場の共用利用</u>が考えられる。
	防災上の安全性	○指定避難所である<u>総合体育館に近接</u>しており、避難拠点として機能する可能性がある。 △立地候補地には<u>地形的に「浅い谷」</u>があり、地歴の確認が必要である。 △地下水位面が現地盤面（地表面）から 10m以内にあると想定される総合体育館周辺は、地震時液状化のリスクがあると判断される
	周辺への環境的な影響	△隣接して、住居がないため、住環境への影響は少ないが、隣接した田畑があるため、<u>建物の配置・高さに配慮する必要がある</u>。
敷地条件	面積の確保	○十分な面積が確保できる可能性がある。
	接道条件	○道路及び歩道が整備されているため、<u>車両の通行、人の通行の安全性を確保しやすい</u>。 △<u>体育館で別イベントがある際には車両通行が重なり、渋滞する可能性がある</u>。
	土地確保の可能性	○<u>町有地</u>である △既存施設の解体（撤去）費用および既存施設の代替地の確保が必要
	法(用途)規制等	○雑種地から宅地への<u>地目変更が必要</u>。 開発許可に関しては、協議による。
	利用状況	・利用者数は体育館が 24,202 人/年、グラウンドが 8,240 人/年、芝生広場が 6,923 人/年※。いずれの利用者数も令和 4 年度。 ⇒<u>町民が集う交流拠点として、連動した利用の可能性</u> ※芝生広場は、ゲートボール、グラウンドゴルフ、サッカーの利用者
	地盤状況	・近隣データでは、粘性土で N 値 20 及び、砂質土で N 値 30 を超える層がない。 【出典：東串良町総合体育館 新築工事（平成 3 年 5 月） 設計書より】
	インフラ	○水道本管の<u>水圧の影響はない</u>。

要素	比較項目	候補③：国道 220 号周辺 A (11,752 m²) 
立地条件	アクセスの良さ	○敷地から距離（250m程度）を挟んで国道 220 号あり。
	既存施設との位置関係	△連動利用が期待できる公共施設等はないが、 <u>国道 220 号沿いの物産館や店舗との連動利用</u> が期待できる。ただし、「国道 220 号周辺②」の立地候補地と比べると <u>国道 220 号からの距離は大きい</u> 。
	防災上の安全性	○国道から近く、災害時に物資輸送等の拠点として機能する可能性 ○国道 220 号周辺は、地下水位面が現地盤面（地表面）から 10m 以深にあると想定され、地震時液状化のリスクは小さいものと考えられる
	周辺への環境的な影響	△隣接して、住居がないため、住環境への影響は少ないが、隣接した田畑があるため、 <u>建物の配置・高さに配慮する必要がある</u> 。
敷地条件	面積の確保	○十分な面積が確保できる可能性がある。
	接道条件	△ <u>十分な幅員の道路及び歩道を整備する必要がある</u> 。
	土地確保の可能性	○ <u>民有地であり、確保できる可能性</u> がある
	法(用途)規制等	△ <u>農地転用の手続きが必要</u> 。 開発許可に関しては、協議による。
	利用状況	－
	地盤状況	・近隣データでは、粘性土で N 値 20 及び、砂質土で N 値 30 を超える層がない。 【出典①：平成 29 年度にぎやかタウン雪山造成予定地地盤調査業務委託 報告書より】 【出典②：認定こども園 青葉保育園 新築工事 設計書より】
	インフラ	○水道本管の水圧の影響はあるが、別水源等からの対応は可能。

要素	比較項目	候補④：国道 220 号周辺 B (13,390 m²) セブンイレブン 
立地条件	アクセスの良さ	○敷地から店舗を挟んで国道 220 号あり。
	既存施設との位置関係	○連動利用が期待できる公共施設等はないが、 <u>国道 220 号沿いの店舗との連動利用</u> が期待できる。
	防災上の安全性	○国道から近く、災害時に物資輸送等の拠点として機能する可能性 ○国道 220 号周辺は、地下水位面が現地盤面（地表面）から 10 m 以深にあると想定され、地震時液状化のリスクは小さいものと考えられる
	周辺への環境的な影響	△隣接した住居があり、住環境への影響を考慮する必要がある。 また、隣接した田畑があるため、 <u>建物の配置・高さに配慮する必要がある</u> 。
敷地条件	面積の確保	○十分な面積が確保できる可能性がある。
	接道条件	△ <u>十分な幅員の道路及び歩道を整備する必要がある</u> 。
	土地確保の可能性	○ <u>民有地であり、確保できる可能性</u> がある
	法(用途)規制等	△ <u>農地転用の手続きが必要</u> 。 開発許可に関しては、協議による。
	利用状況	—
	地盤状況	・近隣データでは、粘性土で N 値 20 及び、砂質土で N 値 30 を超える層がない。 【出典①：平成 29 年度にぎやかタウン雪山造成予定地地盤調査業務委託 報告書より】 【出典②：認定こども園 青葉保育園 新築工事 設計書より】
	インフラ	○水道本管の水圧の影響はあるが、別水源等からの対応は可能。

2. 立地候補地の優先順位決定

絞り込まれた立地候補地を4箇所について、最終的には第6回庁内検討委員会、第7回検討委員会の合同会議の場において、議論の末、候補③である国道220号周辺Aを選定した（検討委員会委員16人中13名が挙手）。

合同会議における意見としては、各敷地における液状化のリスクへの関心が大きく、国道220号周辺を推す意見が多く出されました。

また、国道220号周辺の立地候補地2カ所については、国道220号との位置関係による交通渋滞のリスクの違いや、町中心部である国道220号線南側からのアクセスにおいて国道220号を通過するかどうかの違い等について意見が出されました。

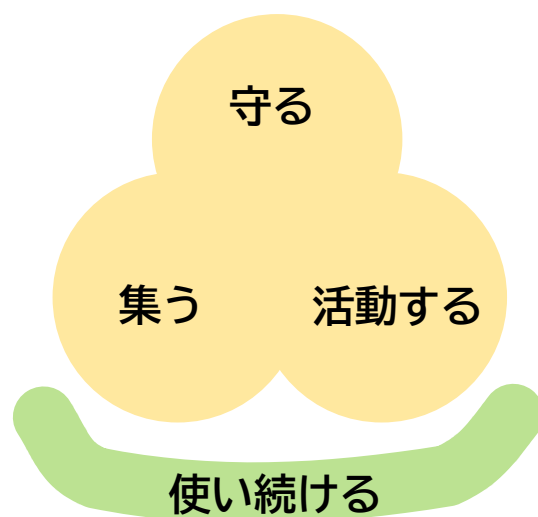
これにより、検討委員会としては、国道220号周辺Aを第一候補地として決定しました。

IV 複合施設建設の方向性

1. 複合施設建設のコンセプト

新たな複合施設は、本町の未来を見据えて、まちづくりの中心を担うような、多様な役割が期待されます。イベントなどの非日常時に加え、日常からあらゆる世代の人々に利用され、「東串良に住んでよかった」「東串良に住んでみたい」と感じることでできる場所になることをめざし、以下のコンセプトを掲げます。

守る・集う・活動する！使い続けよう、みんなの拠点施設



守る

新たな複合施設は、本町の中で災害時のリスクが小さく、加えて災害時に復旧等の軸となる国道 220 号から近接しているという立地特性を活かし、災害に備える拠点になることを目指します。

また、住民の子育てに係る困りごとの相談対応など、住民の生活を守る役割を担うことを目指します。

集う

新たな複合施設は、にぎわいが生まれる場所として、人と人が出会い、触れ合うことができるような空間・機会を生み出していくことを目指します。

また、住民が気軽に立ち寄りたくなるような、くつろぎの場になり、住民の暮らしを豊かにしていくことを目指します。

活動する

グループによる住民活動、発表などの行事に加え、個人が学ぶ、身体を動かす、場所を選ばない柔軟な働き方をするなど、多様な活動で気軽に利用できるような空間・機会を生み出すことを目指します。

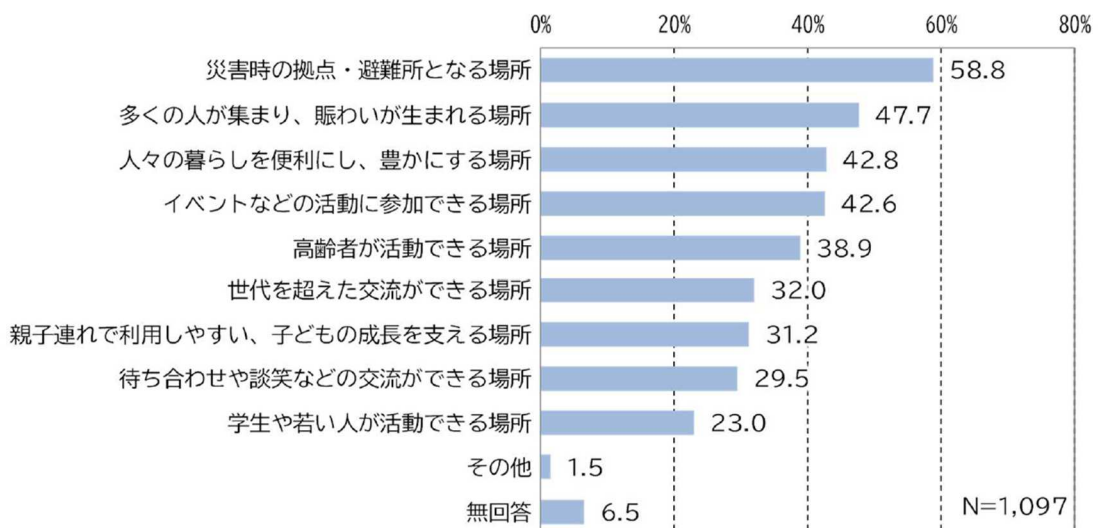
使い続ける

新たな複合施設が、長期的にまちづくりの拠点となり、社会情勢やニーズの変化にも柔軟に対応して使い続けることのできる施設になることを目指します。

また、住民に心地よく利用され続けるよう、利便性が高く親しみやすい、運営に配慮した施設として、使いながら発展していくことを目指します。

新たな複合施設はどのような場所になったらよい？

住民アンケートにおいて、新たな複合施設がどのような場所になったらよいか、という設問に対し、「災害時の拠点・避難所となる場所」が58.8%で最も多く、次いで、「多くの人が集まり、賑わいが生まれる場所（47.7%）」「人々の暮らしを便利にし、豊かにする場所（42.8%）」「イベントなどの活動に参加できる場所（42.6%）」となっています。



新たな複合施設がどのような場所になったらよいか(住民アンケート)

2. 複合施設建設の基本的な考え方

新たな複合施設に係る基本的な考え方として、以下の8つを基本方針として掲げます。

守る

基本方針1 地域の安全・安心を支える災害対策の拠点

- 新たな複合施設は洪水等の水害発生時において、浸水等の危険性は低いとされていることから、本町における災害対策の拠点のひとつとして機能させることを検討します。
- また、大規模地震を含む多様な災害発生時において、国道沿線はインフラの復旧等が進みやすいと考えられ、災害対応の拠点となることが期待されますが、一定期間は自立して継続可能となるような設備の設置を検討します。

基本方針2 住民生活を支える新たな拠点

- 子育て支援をはじめとする福祉分野や、住民の利便性向上に資する行政サービスとの連携を充実させることで、“ついで利用”を含め、住民生活を支える機能を持たせることについて検討します。

集う

基本方針3 あらゆる世代の町民が集う、まちのにぎわいの拠点

- 新たな複合施設では、イベント・行事等におけるにぎわいに加えて、日常においても、町民のニーズに応じて、施設内で町民が交流する・くつろぐ・飲食する、子どもが遊ぶなど、多様な過ごし方によりにぎわいを生むことを検討します。
- ホールに加えて汎用性の高いスペースを設けるとともに、環境を整えるなど、幅広いニーズに応じて利用しやすくすることで、多様な住民活動で利用されることが期待されます。
- 建物のみに限らず、周囲の屋外スペースを含めて一体的に利用ができるような空間の使い方について検討します。

基本方針4 産業とともに発展する拠点

- 国道220号や東串良町物産館ルピノンの館にも近い立地特性を活かし、近隣の商業・飲食機能等と連動して人が集うような運営を目指します。

活動する

基本方針 5 多様な活動に対応できる拠点

- 学ぶ・調べる・発信するなど、幅広い使い方のニーズに対応できるよう、可変性の高い空間の使い方について検討します。
- 現代におけるライフスタイルの変化に対応し、リモートワークなど多様な働き方にも対応できるような基盤の整備を検討します。

使い続ける

基本方針 6 あらゆる人にやさしい、利便性の高い拠点

- 国道 220 号や東串良町物産館ルピノンの館に近い立地特性を活かし、国道 220 号沿線の商業施設で買い物をする自家用車の利用者をはじめ、バス・自転車の利用者など、幅広い年齢層の住民がアクセスし、利用することが期待されます。
- 町内のあらゆる地域の住民がアクセスしやすくなるよう、交通利便性の充実にについて検討します。
- 年齢や障がいなどに関わらず、あらゆる住民が快適に利用できるよう、ユニバーサルデザインに対応した安全に使いやすい施設を目指します。
- 案内やサインは、設置位置、色、サイズなどに配慮し、あらゆる人に分かりやすいものを目指します。

基本方針 7 住民の誇りとなる、発展する拠点

- 本町は自然豊かなまちであり、立地候補地においても農地に囲まれ、遠方には山並みの景観を望むことができます。これらの自然の特性を感じることができるような拠点を目指します。
- 新たな複合施設は建物が完成して終わりではなく、住民に親しまれて使われ続ける施設となり、住民の誇りとなるような施設に発展していくため、施設の整備に限らず、完成後の運営についても検討を行います。

基本方針 8 経済的な効率性に配慮した拠点

- 人口減少、少子高齢化等により、今後、行財政は厳しい状況になることが懸念され、整備費用の抑制が求められる一方で、住民にとって利用しやすい施設となるよう、汎用性の高いスペースを多用途で使いこなす工夫や、コンパクトな規模の施設にするための検討を行います。
- 新たな複合施設の維持管理・運営にあたっては、高熱水費をはじめとするランニングコストが発生するため、これらの低減を見据えた施設を目指します。

第3章 複合施設建設基本計画

I 立地候補場所の概要

II 複合施設の整備方針

Ⅲ 複合施設の施設計画

1. 複合施設の機能

基本構想で行った住民アンケートやワークショップから複合施設に求められる機能のキーワードを抽出し、新複合施設に導入する機能を下記に示します。

機能		想定する諸室
守る	避難	ホール、会議室、屋外広場など
	備蓄	倉庫など
	支援	子育て支援、相談など
集う	賑わい	ホール、図書・カフェ、展示など
	交流	子育て支援、コワーキング、ホール、スタジオ、屋外テラスなど
	くつろぐ	図書・カフェ、屋外広場、屋外テラスなど
活動する	学ぶ、調べる	図書・カフェ、コワーキング、会議室、スタジオ、キッチン、練習室など
	発信する	ホール、展示、スタジオなど
	働く	コワーキング、会議室、図書・カフェなど

※各機能として使われる諸室を制限するものではありません。

2. 諸室の基本機能

新しい複合施設の面積効率化や諸室の利用率向上を目指して、一つの諸室に対して、機能を限定せず、各諸室とも様々な用途に利用できる性能を設定し、魅力ある施設計画を行います。

■ホールについて

ホールについて、舞台・客席及びそれに関する諸室の基本性能を示します。

舞台	・ 様々な活動、多目的な演目に対応しやすい舞台。 ・ 演目に対応可能な舞台装置や音響照明設備を設置。 ・ 舞台に隣接した位置に十分な広さの楽器庫や倉庫等を整備。
客席	・ 客席は 400 席。 ・ 客席は災害時に避難所となる機能を兼務することや様々な利活用を考慮し、移動席とし、平土間でも利用可能な客席。 ・ 舞台に集中できるゆとりのある座席計画。 ・ 車椅子席を設置。
ホワイエ	・ 来館者の待ち合わせや休憩場所として適切な広さを確保。 ・ 日常的にもギャラリーやとしての利用も検討。
楽屋	・ 舞台への行き来を考慮した位置に配置。 ・ 利用のない時は、少人数の会議室等にも利用可能な構造とする。 ・ 舞台裏動線で利用できるトイレ・シャワーを設置。
練習室	・ 楽器演奏等の練習に対応するため、防音性能を確保。 ・ 電子楽器、生音の音楽練習等、利用用途に合わせた設備設置 ・ 会議室としても利用可能。 ・ ダンスや舞踊などの練習や創作等の活動への対応も検討。
調整室	・ 舞台照明や舞台音響等を調整する設備を配置。 ・ 舞台や客席を見ながら調整可能な配置。
倉庫等	・ ピアノや舞台で使う備品、客席椅子を収納する倉庫を整備。 ・ 搬入口との動線を考慮した位置に配置。
搬入口	・ 大型車両が駐車でき、雨天時でも問題なく搬入出が行える搬入出スペースを計画。 ・ 舞台への搬出入を考慮。

■ホール以外の諸室について

ホール以外の各諸室について基本性能を示します。

図書	・既存の図書館から拡張し、蔵書数1万冊の収容を想定。 ・ゆとりある閲覧スペースを整備。 ・カフェ併設を検討。 ・静かな環境で自習や仕事等を行えるコワーキングスペースの併設を検討。 ・PC教室やeスポーツのための、PCブース設置を検討。 ・Wi-Fi整備を検討。
スタジオ	・研修や講習会、各種講座等の利用を想定。 ・利用人数や目的により選択できるように大きさの異なる部屋を整備。 ・工作や製作などの創作活動にも利用できる構造。
会議室	・各種打合せや会議の利用を想定。 ・利用人数や目的により選択できるように大きさの異なる部屋を整備。
キッチン	・料理教室やシェアキッチン等の利用。
和室	・畳敷の部屋とし、華道や茶道での利用。
子育て支援	・子育てに関する相談や情報発信などを行う。 ・屋内の遊具スペースや屋外遊具スペースを設け、子どもが遊べる場所を提供。 ・一時預かり機能を検討。
備蓄	・災害用の備蓄備品を収納。
事務	・施設運営事務所を設け、出入口を視認できる位置に配置。 ・社会福祉協議会の事務室を整備。 ・相談室を設置。
トイレ	・大人数利用するホールの利用者に配慮した計画。 ・ユニバーサルデザインに配慮して、車いす利用者も利用しやすい多目的トイレを設置。
授乳室	・家族利用に配慮して、授乳が可能な設備を整備。 ・おむつ交換が可能な設備を設置。

IV 施設整備計画

V 概算事業費・財源

VI 事業手法

VII 事業スケジュール

【参考①】 諸室案参考シート

東串良町複合施設の現状想定

ホール 500m² (400席：うち可動300)

町総合センターのホール
面積：424.47m²
収容人数：700人



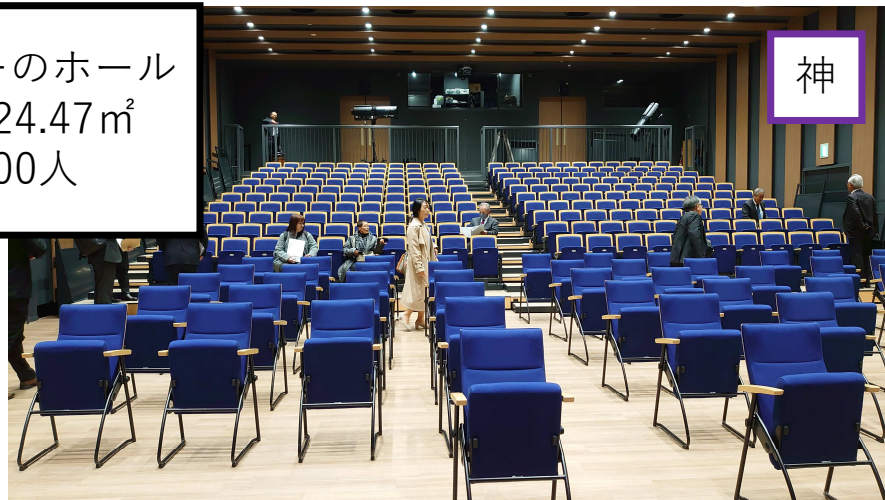
参考：平群町総合文化センターのホール
380m²
客席数370席（うち270席が可動式）
【平群町の人口：約1.9万人】



東串良町複合施設の現状想定

ホール 500m² (400席：うち可動300)

町総合センターのホール
面積：424.47m²
収容人数：700人



参考：神戸ポートオアシスのホール
283m²
客席数400席（うち220席が可動式）
【神戸市の人口：約154万人】



東串良町複合施設の現状想定

舞台 200m^2 (通路含む)

町総合センターの舞台
面積： 153.75m^2

参考：太子町あすかホールの舞台

【太子町の人口：約3.4万人】



東串良町複合施設の現状想定

舞台 200m² (通路含む)

町総合センターの舞台
面積：153.75m²

参考：神戸ポートオアシスのホール舞台
77m²

【神戸市の人口：約154万人】



東串良町複合施設の現状想定

ホワイエ 100m²



参考：平群町総合文化センターのホワイエ
100m²

【平群町の人口：約1.9万人】

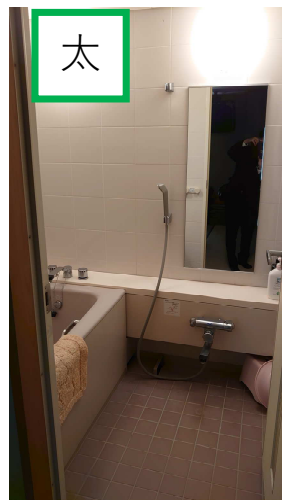


参考：指宿市民会館のホワイエ

【指宿市の人口：約4.4万人】

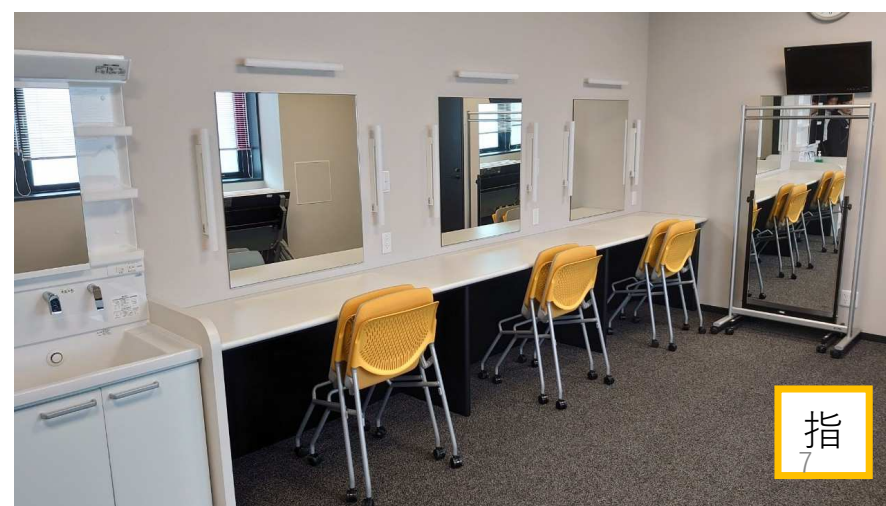
東串良町複合施設の現状想定

楽屋 2 室（シャワー室付き） $35\text{m}^2 \times 2$



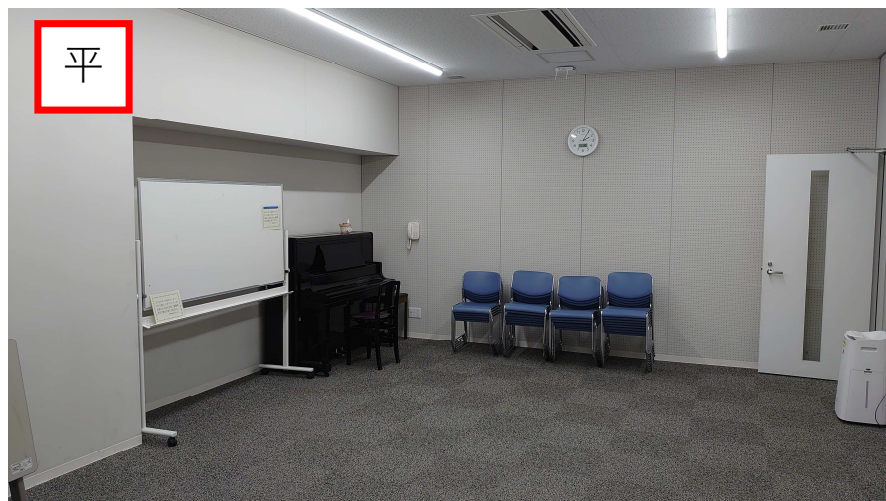
参考：太子町あすかホール楽屋
（和室・シャワー室・洋室）
【太子町の人口：約3.4万人】

参考：指宿市民会館楽屋（洋室 2 部屋）
 27m^2 （12人）、 28m^2 （12人）
【指宿市の人口：約4.4万人】



東串良町複合施設の現状想定

練習室（リハーサル室） 60m²



参考：平群町総合文化センターの中会議室 2
防音仕様
50m²

【平群町の人口：約1.9万人】



参考：指宿市民会館のリハーサル室
111m² (60人)

【指宿市の人口：約4.4万人】

東串良町複合施設の現状想定

図書館 210m² (1万冊)

参考：平群町総合文化センターの図書館

現状約5万冊（8万冊蔵書可能）

580m²

【平群町の人口：約1.9万人】

町総合センターの図書室

面積：88.33m²

蔵書：約8千冊



平



平



平



平

東串良町複合施設の現状想定

図書館 210m² (1万冊)

参考：三宅町交流まちづくりセンターの図書室

約1.2万冊蔵書可能

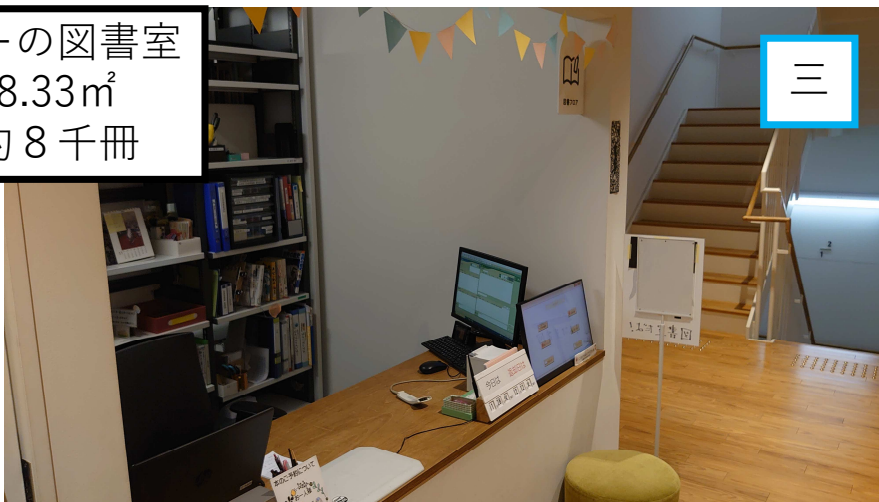
図書：114.14m² 自習：73.60m²

【三宅町の人口：約7千人】

町総合センターの図書室

面積：88.33m²

蔵書：約8千冊



東串良町複合施設の現状想定

カフェ 100㎡ (約45席)



東串良町複合施設の現状想定

コワーキングスペース 20m² (約10席)



参考：三宅町交流まちづくりセンター
のコワーキングスペース
56.15m²

【三宅町の人口：約7千人】



参考：薩摩川内市センノオト
の学習室（ワークスペース）

【薩摩川内市の人口：約9.6千人】

東串良町複合施設の現状想定

子育て支援関係 70m²



参考：三宅町交流まちづくりセンター
の子育て支援センター
98.50m²

【三宅町の人口：約7千人】



参考：三宅町交流まちづくりセンター
の学童保育クラブ
203.57m²

【三宅町の人口：約7千人】

東串良町複合施設の現状想定

子育て支援関係 70m²



参考：薩摩川内市センノオト
のキッズスペース
【薩摩川内市の人口：約9.6千人】

遊具エリア 30m²



シェアキッチン 45m²

町総合センターの調理室
面積：71.59m²



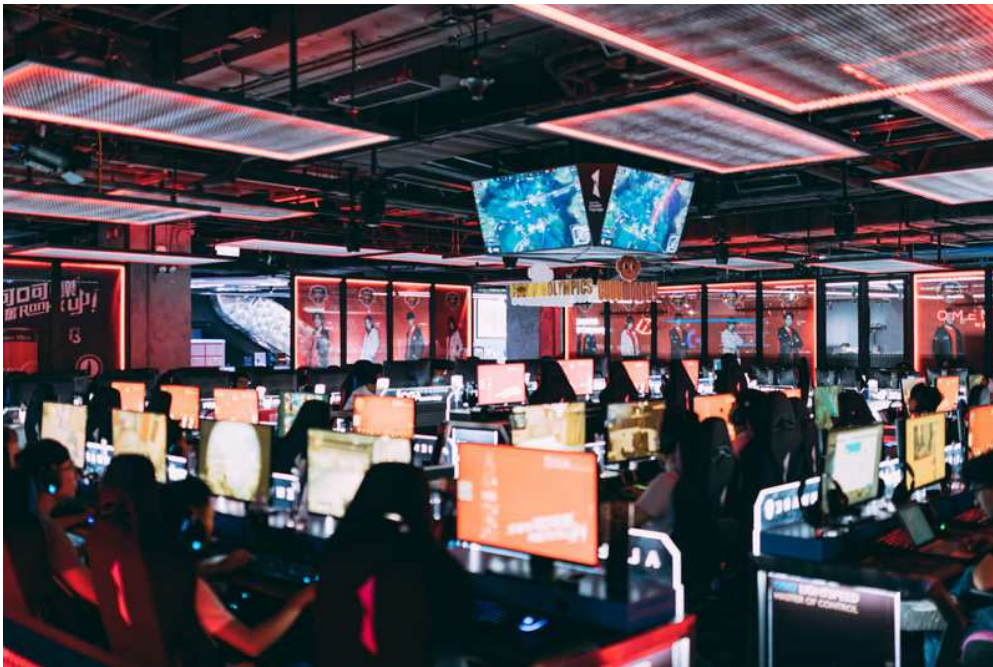
参考：三宅町交流まちづくりセンター
の調理室
シェアキッチン：55.27m²
食堂：12.62m² パントリー：12.20m²
【三宅町の人口：約7千人】

参考：薩摩川内市センノオト
のシェアキッチン
【薩摩川内市の人口：約9.6千人】

展示スペース 5 m²



e スポーツ 20m² (PC 6 台程度)



その他

【ホール関連】

- ・調整室（ホール照明等）：25m²
- ・舞台横倉庫：60m²

【その他】

- ・相談室：10m²
- ・和室：25m²
- ・防災備蓄倉庫：30m²

【スタジオ関連】

- ・スタジオ1（二分割可能）：60m²
- ・スタジオ2：40m²

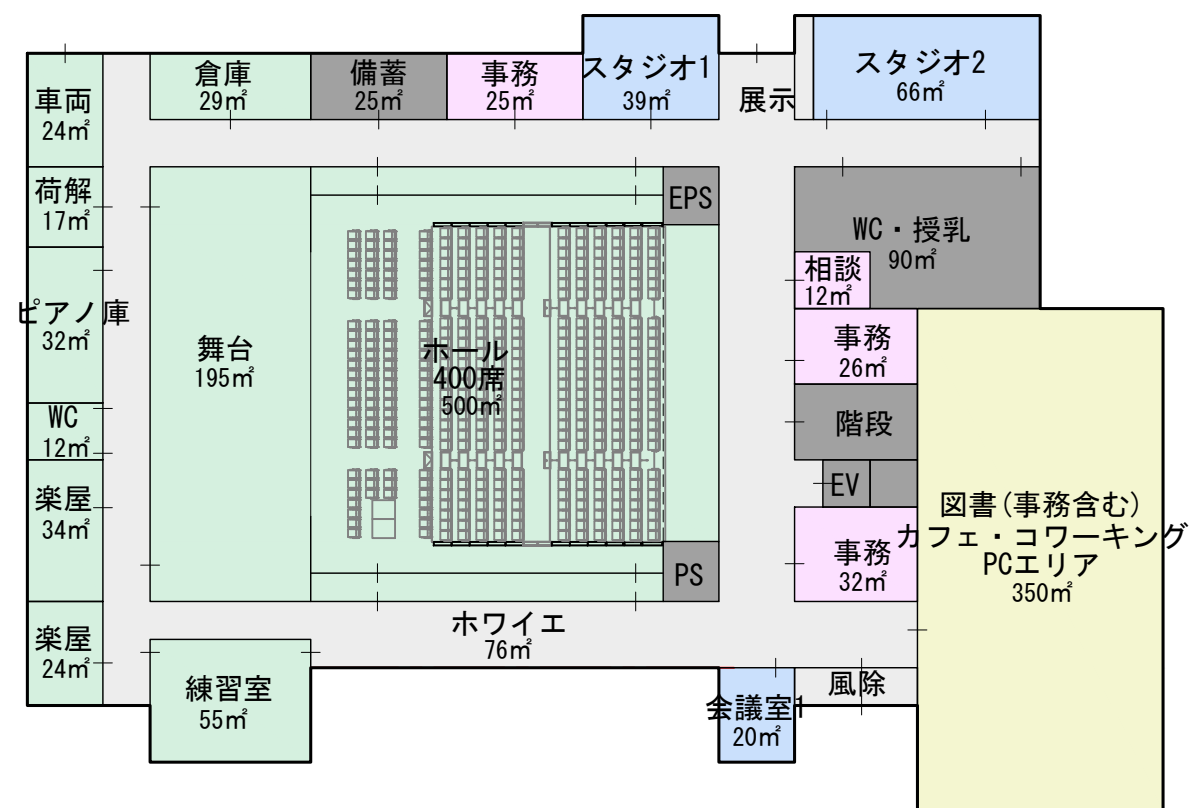
【会議室関連】

- ・会議室1：20m²（10名程度）
- ・会議室2：35m²（18名程度）
- ・会議室3：50m²（24名程度）

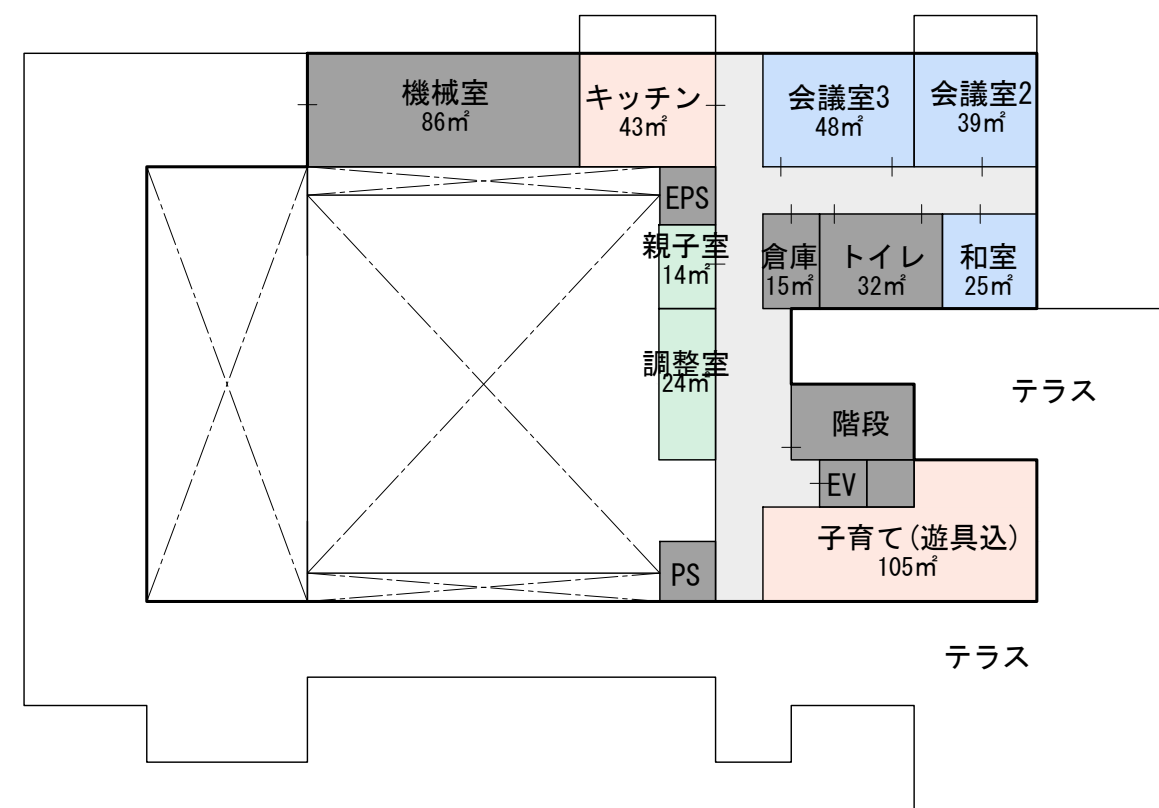
【事務室関連】

- ・事務室1：30m²
- ・事務室2：25m²
- ・事務室3：25m²

参考②



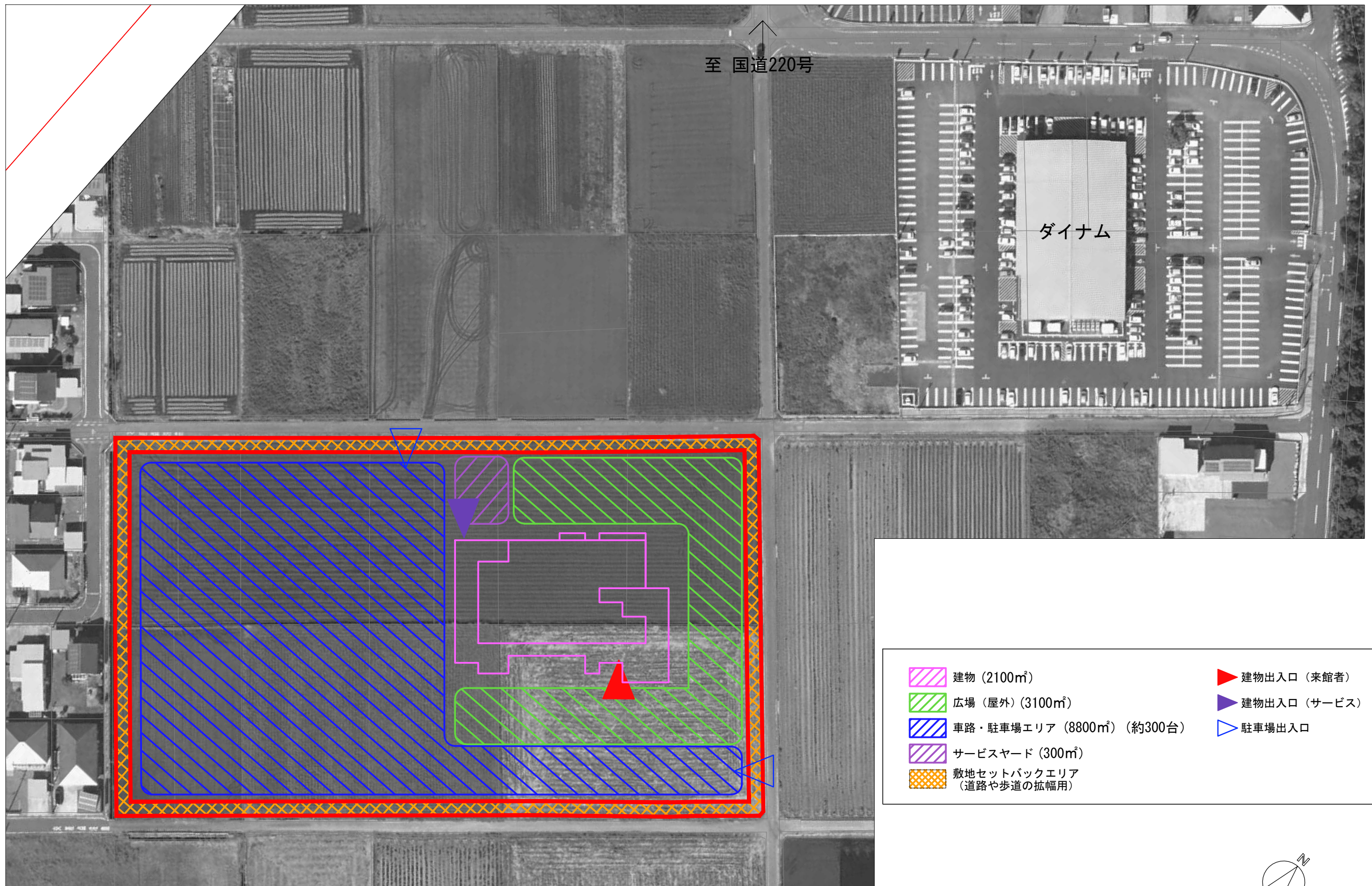
1階平面イメージ
2200㎡



2階平面イメージ
660㎡



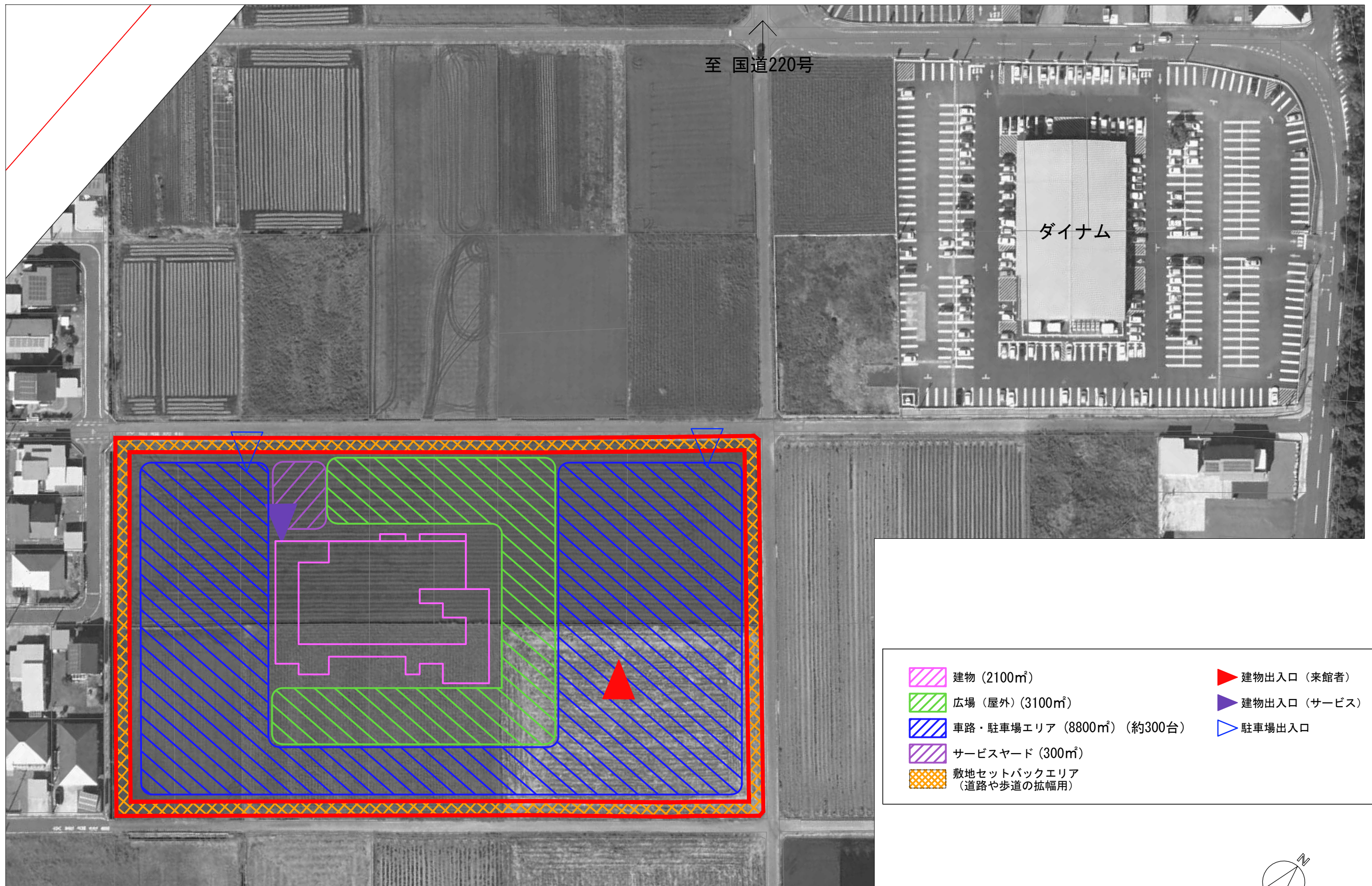
東串良町複合施設
2階建て案
平面イメージ S=1:400



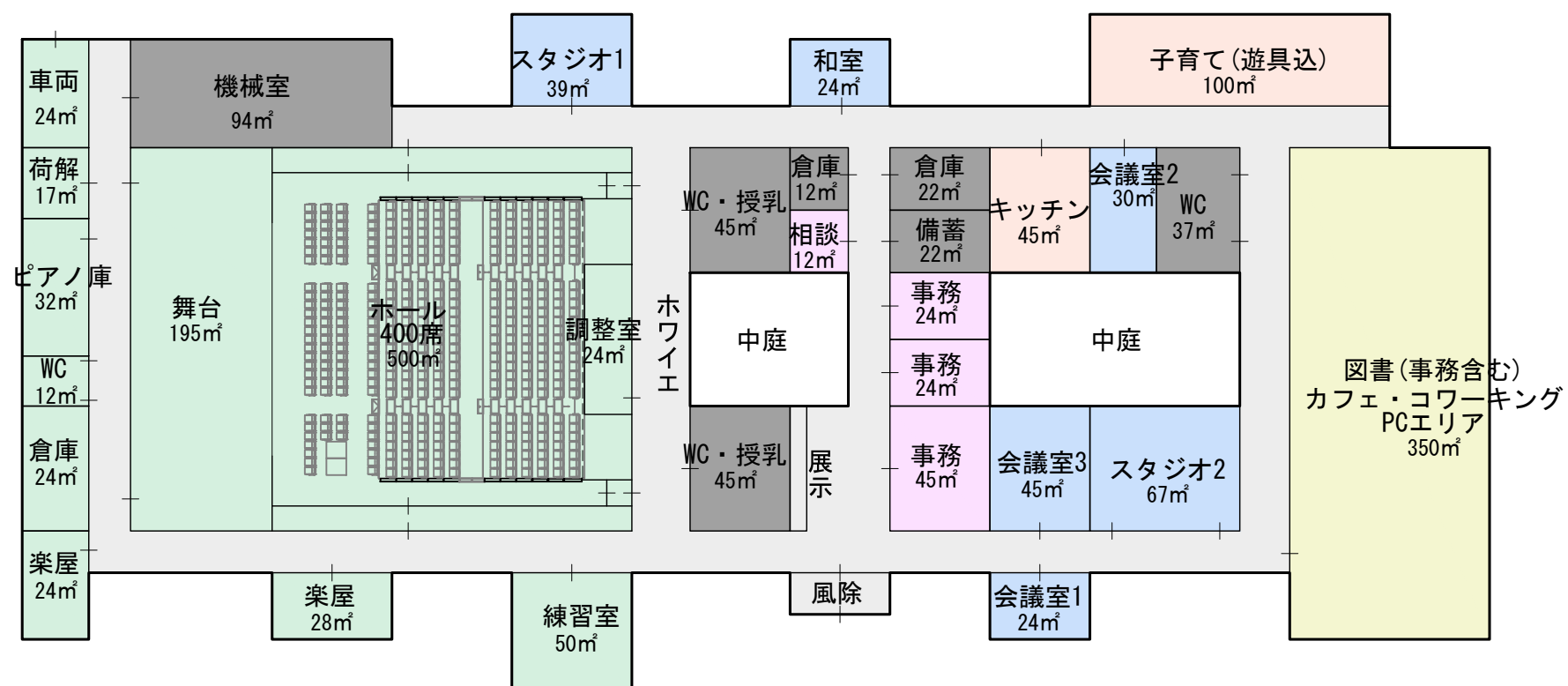
- | | |
|---|--|
|  建物 (2100㎡) |  建物出入口 (来館者) |
|  広場 (屋外) (3100㎡) |  建物出入口 (サービス) |
|  車路・駐車場エリア (8800㎡) (約300台) |  駐車場出入口 |
|  サービスヤード (300㎡) | |
|  敷地セットバックエリア (道路や歩道の拡幅用) | |



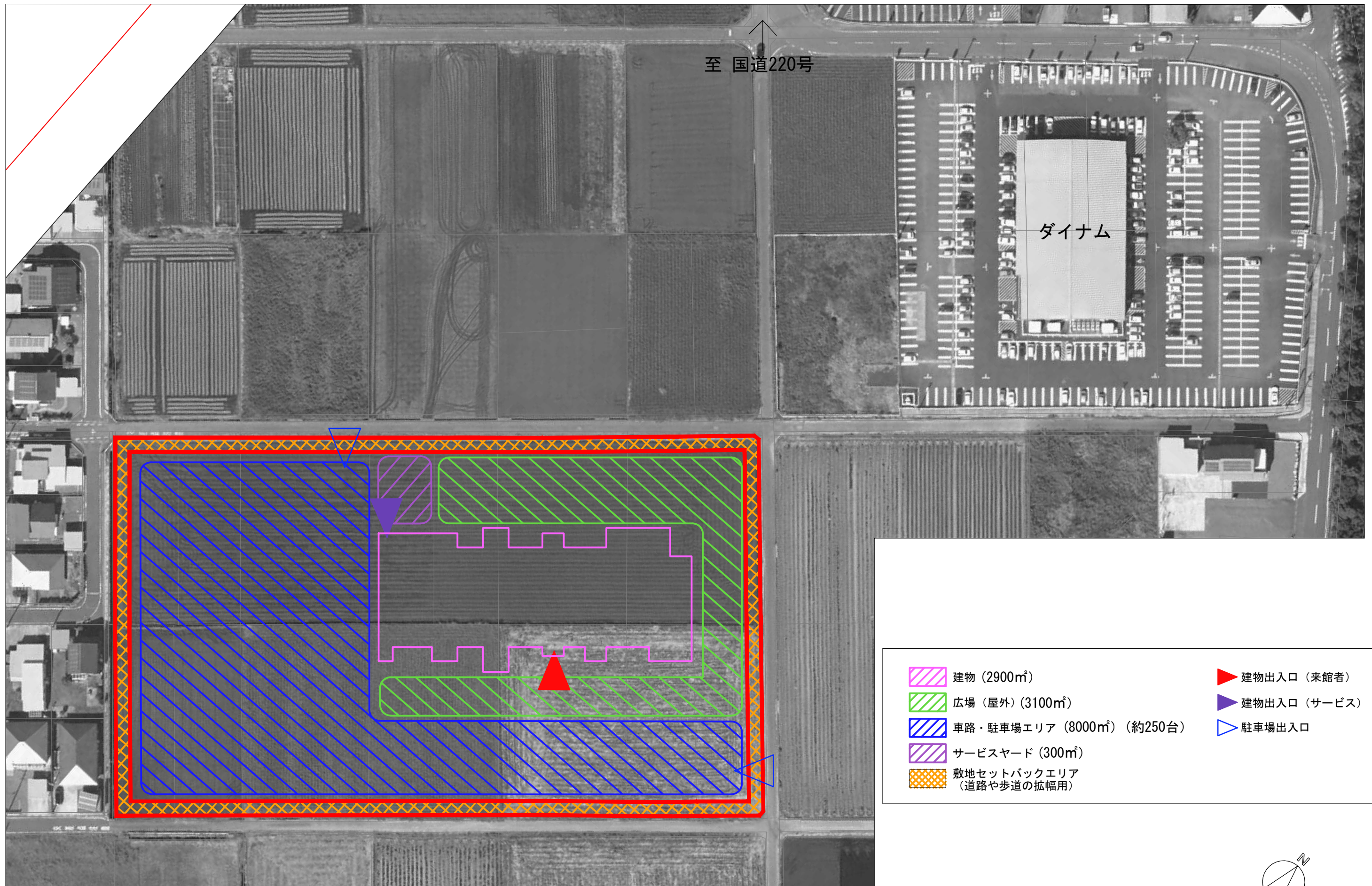
東串良町複合施設
2階建て案
配置イメージ1 S=1:1000



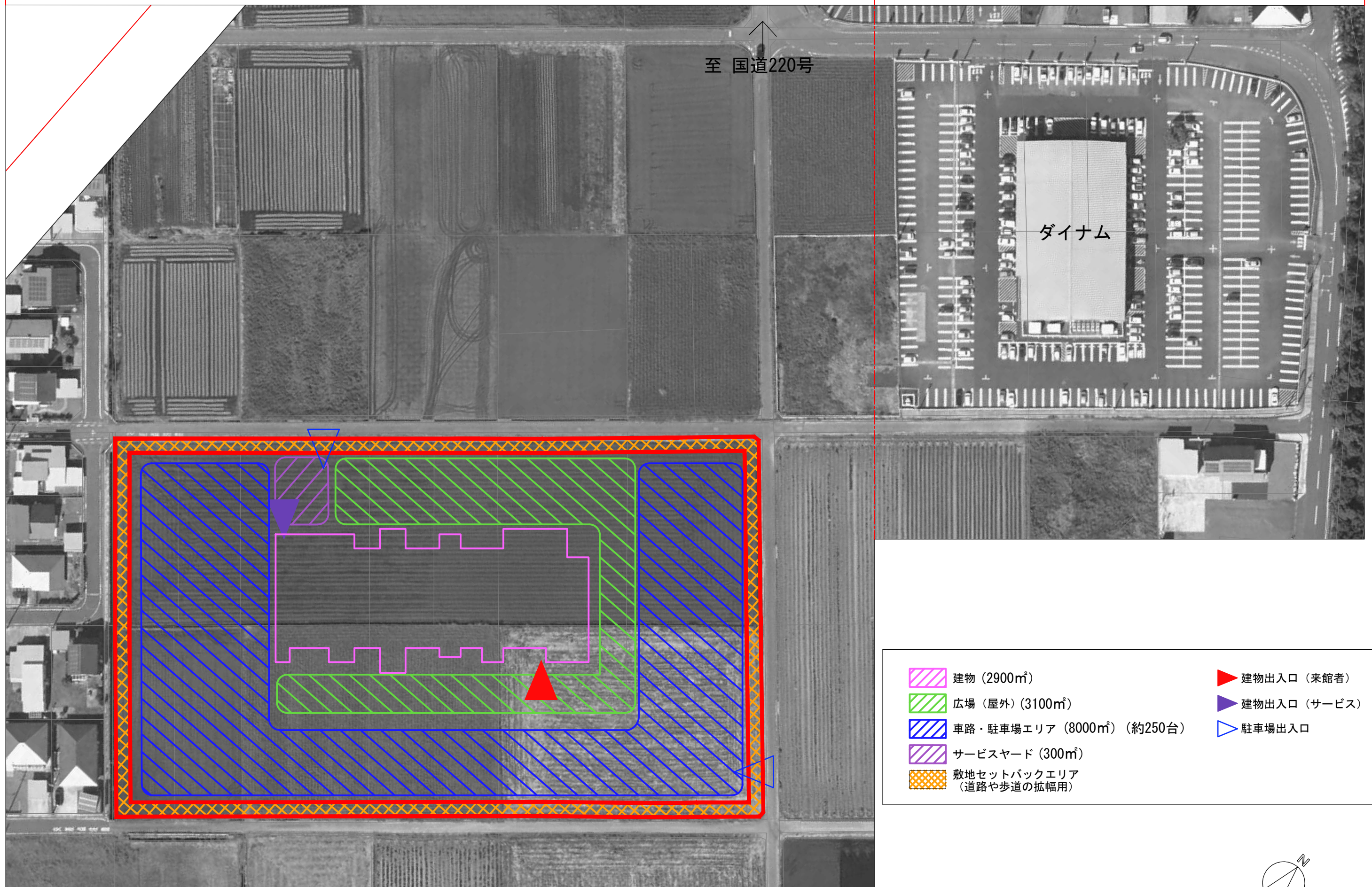
東串良町複合施設
2階建て案
配置イメージ2 S=1:1000



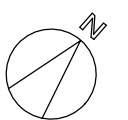
東串良町複合施設
平屋建て案
平面イメージ S=1:400



東串良町複合施設
平屋建て案
配置イメージ1 S=1:1000



- | | |
|----------------------------|--------------|
| 建物 (2900㎡) | 建物出入口 (来館者) |
| 広場 (屋外) (3100㎡) | 建物出入口 (サービス) |
| 車路・駐車場エリア (8000㎡) (約250台) | 駐車場出入口 |
| サービスヤード (300㎡) | |
| 敷地セットバックエリア
(道路や歩道の拡幅用) | |



東串良町複合施設
平屋建て案
配置イメージ2 S=1:1000

カフェ併設の図書機能の事例

参考③

パターン①：空間分離型

館内カフェの飲食物の持ち込み不可（一部スペースで条件付きで飲食持ち込み可）

事例：都城市立図書館（Mallmall まるまる）

パターン②：スペース限定型（空間としてはほぼ一体）

館内カフェの飲食物であれば一部スペースに限り持ち込み可

事例：武雄市図書館・武雄市こども図書館

パターン③：飲食条件限定型（空間としてはほぼ一体）

館内カフェの飲食物を含む一部商品（蓋つき飲み物）の持ち込みは全スペースで可

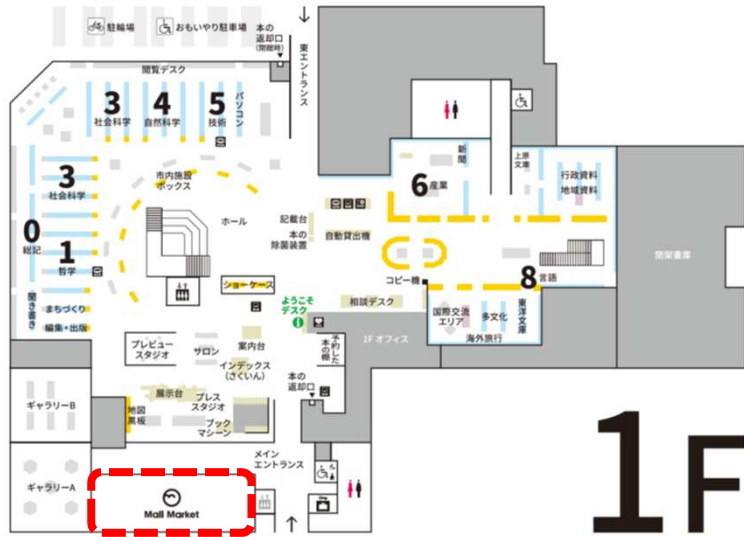
事例：鹿児島市立天文館図書館

パターン④：空間一体型

館内カフェの飲食物であれば全スペースで持ち込み可

事例：センノオト（九州電力：薩摩川内市）※本の貸し出しなし

パターン①：空間分離型 都城市立図書館（Mallmall まるまる）



1F

図書館のエントランス横にカフェ設置

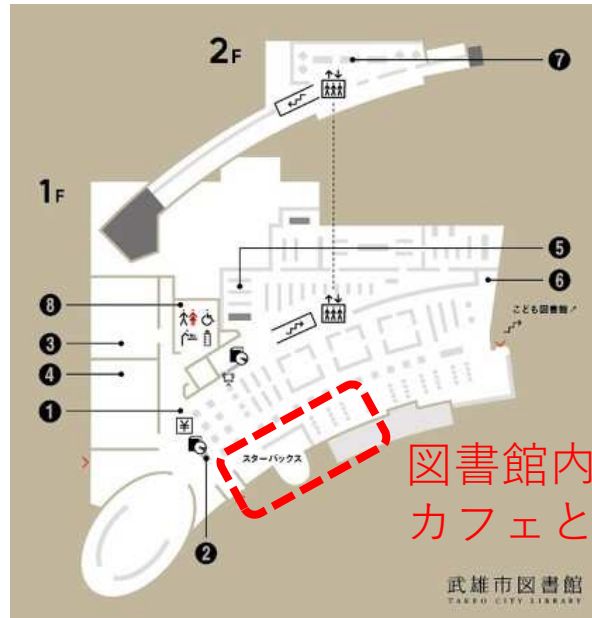


図書館内に飲食可
スペースを設置

2F



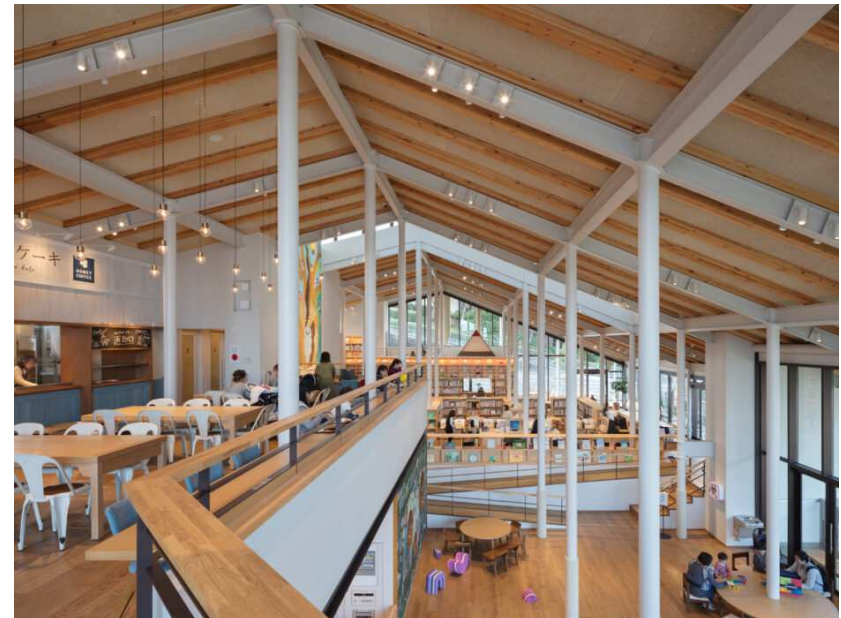
パターン②：スペース限定型 武雄市図書館・武雄市こども図書館



図書館内の入口付近に
カフェと飲食スペース
を設置



図書館2階にカフェと
飲食スペースを設置



パターン③：飲食条件限定型 鹿児島市立天文館図書館

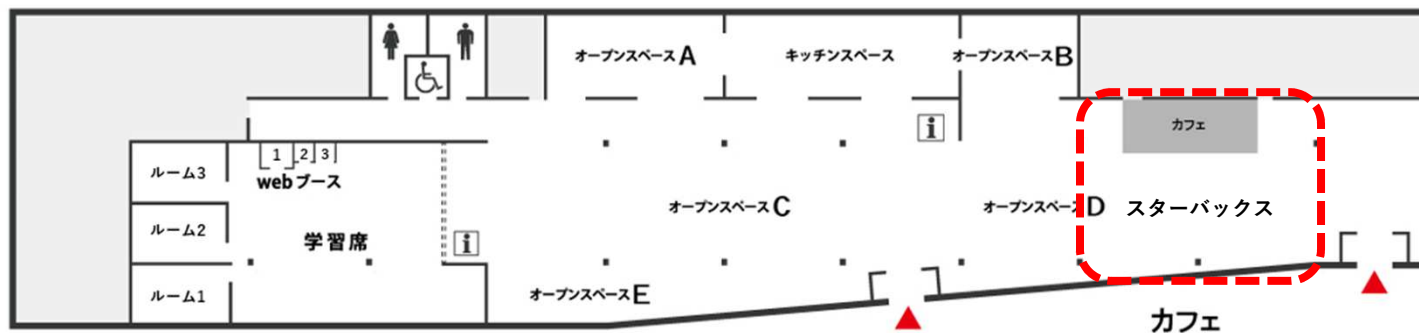


図書館の入口に併設する形でカフェと飲食スペースを設置
(蓋つき飲み物は図書館内に持ち込み可能)

パターン④：空間一体型 センノオト（九州電力：薩摩川内市）

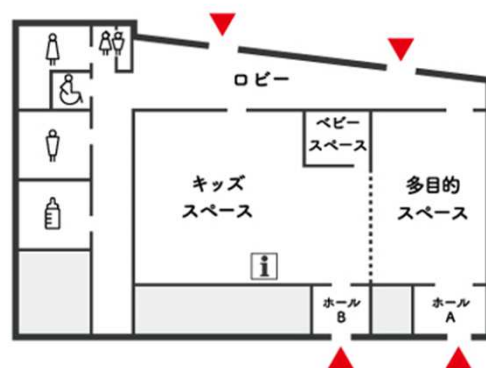
※本の貸し出しなし

本 館



施設内にカフェと飲食スペースを設置
(カフェ及び施設内で購入した飲食物であれば、全スペースに持ち込み可能)

別 館



『新たな複合施設の整備に係る意識調査』

～東串良町複合施設建設基本構想・基本計画

に向けた世帯アンケート調査～

集計結果報告書

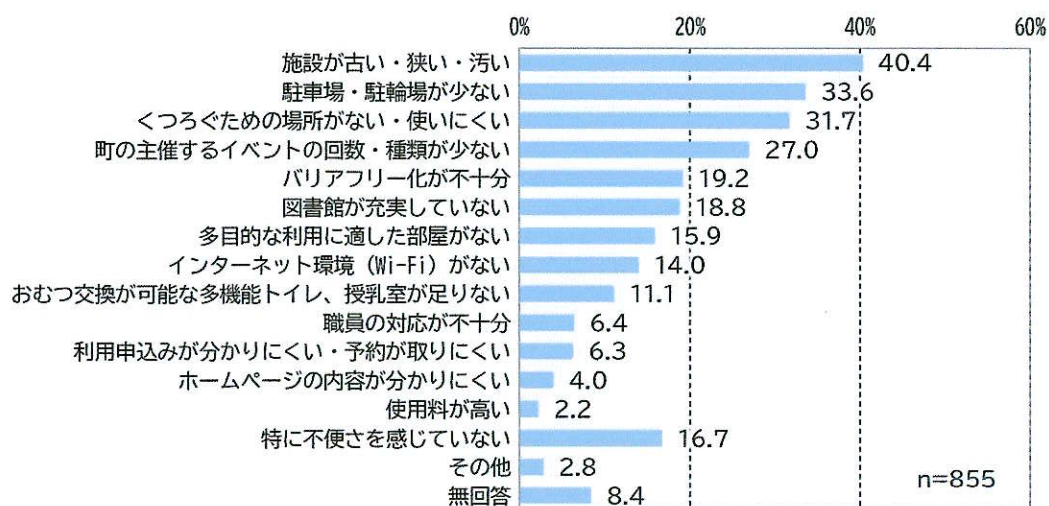
令和6年2月

問 4-3 あなたの家族のうち、総合センターを最も利用する機会が多い人が、施設に不便さを感じることはありませんか。(複数回答)

「施設が古い・狭い・汚い」が40.4%で最も多い。次いで、「駐車場・駐輪場が少ない(33.6%)」「くつろぐための場所がない・使いにくい(31.7%)」となっている。

居住地区別でみると、「豊栄地区」は、他の居住地区と比べると「くつろぐための場所がない・使いにくい」が高くなっている。

居住年数別でみると、「10年未満」は「図書館機能が充実していない」が、「30年未満」は「インターネット環境(Wi-Fi)がない」が、「40年未満」は「くつろぐための場所がない・使いにくい」が、他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見	件数
雨漏りがひどいので不安になる	2
自宅から遠い	2
利用する機会がない	2
特に使用(利用)するような用事がない	2
トイレに洋式がない	2
トイレ	1
トイレのにおいが施設内にしていた	1
屋内が暗い。全体的に暗い雰囲気	1
会議のみの利用なので、正直よくわからない。	1
何らかの会議のみ	1
カフェがほしい	1
総合センターへ行く時の道幅が狭く、車で行く時は気をつかう	1
図書館があることすら分からない。ひと気がない	1
ホールの照明が古い。雨漏りがある	1
場所が不便	1
用事がない、遠い	1
使用後に団員全員で清掃と証拠写真などを撮り気をつけて利用していますが、利用することに否定的な対応をされるそうです。どこが悪かったのかも具体的に指摘がなく、少し残念だなと感じます。次の利用は別の場所を検討中です。	1
予約を今時、行ってから紙に書かないととれないなんて、ありえない。ネット予約時代ですけど	1
要らない	1

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人	サンプル数	駐車場・駐輪場が少ない	バリアフリー化が不十分	施設が古い・狭い・汚い	おむつ交換が可能な多機能トイレ	町会の主催するイベントの回数・種類が少ない	多目的な利用に適した部屋がない	図書館が充実していない	くつろぐための場所がない・使いにくい	利用申込みが取りにくい	使用料が高い	ホームページの内容が分かりにくい	インターネット環境（Wi-Fi）がない	職員の対応が不十分	特に不便さを感じていない	その他	無回答
全体	100.0 855	33.6 287	19.2 164	40.4 345	11.1 95	27.0 231	15.9 136	18.8 161	31.7 271	6.3 54	2.2 19	4.0 34	14.0 120	6.4 55	16.7 143	2.8 24	8.4 72
居住地区別																	
岩弘地区	100.0 138	38.4 53	20.3 28	43.5 60	9.4 13	26.8 37	18.8 26	15.9 22	35.5 49	9.4 13	2.9 4	5.8 8	18.1 25	5.1 7	18.1 25	2.9 4	8.7 12
豊栄地区	100.0 77	22.1 17	18.2 14	40.3 31	13.0 10	31.2 24	7.8 6	16.9 13	41.6 32	5.2 4	1.3 1	5.2 4	14.3 11	6.5 5	22.1 17	1.3 1	5.2 4
池之原地区	100.0 231	32.5 75	17.7 41	33.3 77	13.0 30	22.5 52	16.0 37	20.3 47	30.7 71	6.1 14	2.2 5	3.0 7	13.0 30	6.9 16	17.7 41	3.9 9	8.2 19
川西地区	100.0 82	40.2 33	15.9 13	51.2 42	8.5 7	29.3 24	20.7 17	22.0 18	31.7 26	4.9 4	2.4 2	1.2 1	18.3 15	7.3 6	12.2 10	2.4 2	9.8 8
新川西地区	100.0 98	26.5 26	23.5 23	46.9 46	13.3 13	34.7 34	14.3 14	20.4 20	33.7 33	6.1 6	3.1 3	5.1 5	11.2 11	5.1 5	10.2 10	4.1 4	10.2 10
川東地区（北部・南部）	100.0 147	39.5 58	22.4 33	38.1 56	11.6 17	24.5 36	18.4 27	18.4 27	25.9 38	5.4 8	1.4 2	3.4 5	12.9 19	6.8 10	17.7 26	0.7 1	6.8 10
柏原地区	100.0 74	28.4 21	14.9 11	39.2 29	5.4 4	31.1 23	12.2 9	17.6 13	27.0 20	6.8 5	2.7 2	4.1 3	10.8 8	6.8 5	17.6 13	4.1 3	12.2 9
家族の構成別																	
単身	100.0 193	28.0 54	18.7 36	28.5 55	8.3 16	22.3 43	12.4 24	15.5 30	25.4 49	2.6 5	1.0 2	1.6 3	7.8 15	5.7 11	23.3 45	1.6 3	12.4 24
夫婦のみ	100.0 282	35.5 100	19.5 55	46.8 132	10.6 30	29.8 84	17.0 48	16.7 47	30.5 86	7.4 21	1.8 5	4.3 12	11.3 32	5.7 16	14.5 41	3.2 9	9.2 26
2世代同居（親・子）	100.0 319	35.7 114	19.1 61	42.0 134	11.9 38	25.7 82	16.3 52	21.6 69	35.7 114	7.2 23	3.4 11	5.0 16	20.1 64	7.8 25	15.7 50	3.4 11	5.6 18
3世代同居（親・子・孫）	100.0 22	27.3 6	13.6 3	31.8 7	18.2 4	31.8 7	22.7 5	22.7 5	27.3 6	13.6 3	-	4.5 1	13.6 3	4.5 1	18.2 4	-	4.5 1
その他	100.0 8	25.0 2	-	25.0 2	-	37.5 3	12.5 1	25.0 2	75.0 6	12.5 1	-	-	-	-	12.5 1	-	-
居住年数別																	
10年未満	100.0 120	30.8 37	13.3 16	50.8 61	18.3 22	22.5 27	18.3 22	30.0 36	37.5 45	8.3 10	0.8 1	2.5 3	17.5 21	5.0 6	14.2 17	4.2 5	5.0 6
10年以上20年未満	100.0 128	36.7 47	18.0 23	43.8 56	13.3 17	35.2 45	14.1 18	23.4 30	34.4 44	7.8 10	3.1 4	4.7 6	24.2 31	7.0 9	13.3 17	1.6 2	7.0 9
20年以上30年未満	100.0 119	39.5 47	23.5 28	41.2 49	10.9 13	26.9 32	16.0 19	21.8 26	35.3 42	10.1 12	5.0 6	5.9 7	17.6 21	6.7 8	16.0 19	4.2 5	3.4 4
30年以上40年未満	100.0 144	43.8 63	20.8 30	40.3 58	8.3 12	31.3 45	18.1 26	17.4 25	35.4 51	6.9 10	0.7 1	3.5 5	10.4 15	4.9 7	15.3 22	4.9 7	8.3 12
40年以上50年未満	100.0 119	26.1 31	17.6 21	34.5 41	7.6 9	25.2 30	14.3 17	11.8 14	28.6 34	4.2 5	4.2 5	5.0 6	10.1 12	5.9 7	16.0 19	2.5 3	18.5 22
50年以上60年未満	100.0 88	18.2 16	19.3 17	33.0 29	6.8 6	20.5 18	10.2 9	11.4 10	20.5 18	3.4 3	-	3.4 3	5.7 5	8.0 7	25.0 22	-	11.4 10
60年以上	100.0 125	35.2 44	23.2 29	37.6 47	11.2 14	19.2 24	15.2 19	26.4 33	26.4 33	2.4 3	1.6 2	3.2 4	11.2 14	8.0 10	18.4 23	0.8 1	5.6 7

※■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

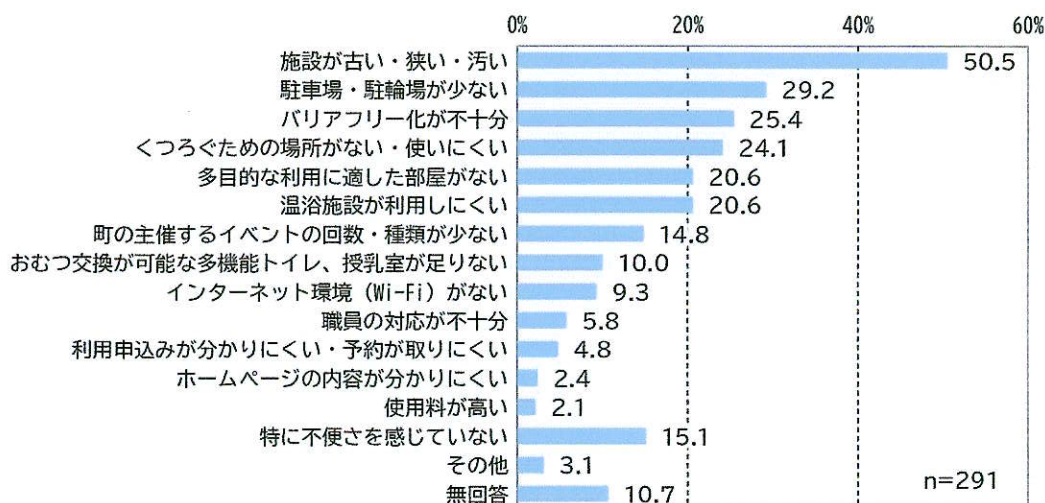
問 5-3 あなたの家族のうち、高齢者福祉センターを最も利用する機会が多い人が、施設に不便さを感じることはありますか。あてはまる番号を○で囲んでください。（複数回答）

「施設が古い・狭い・汚い」が50.5%で最も多い。次いで、「駐車場・駐輪場が少ない（29.2%）」「バリアフリー化が不十分（25.4%）」「くつろぐための場所がない・使いにくい（24.1%）」となっている。

居住地区別でみると、「川西地区」「新川西地区」は、他の居住地区と比べると「くつろぐための場所がない・使いにくい」が高くなっている。

居住年数別でみると、「10年未満」は「おむつ交換が可能な多機能トイレ、授乳室が足りない」が、「30年未満」は「温浴施設が利用しにくい」と「インターネット環境（Wi-Fi）がない」が、他の居住年数と比べると高くなっている。

居住年数別でみると、「20年以上 30年未満」は「くつろぐための場所がない・使いにくい」が、「30年以上 40年未満」は「多目的な利用に適した部屋がない」が、他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見
近くに行った時、暗かった
循環式の浴槽なのに湯が溢れていない。大丈夫な湯なのか心配。基準は溢れさせる、ではないですか
玄関先に施設の業務用車が停めてあることが多く、イメージがいまいちです。車はもう少し離れた場所に。空けておくと風呂の利用者が車を停めてしまうから？
高齢者大学等に送迎があったが今はないので送迎の復活を
送迎バスを出してほしい
利用する機会がない
トイレの洋式化
距離が遠い
駐車場と施設の高低差があって、移動が面倒

■各属性のクロス集計結果

	サンプル数	駐車場・駐輪場が少ない	バリアフリー化が不十分	施設が古い・狭い・汚い	おむつ交換が可能な多機能トイレ授乳室が足りない	回数・種類が少ないイベント	多目的な利用に適した部屋がない	温浴施設が利用しにくい	くつろぐための場所がない・使いにくい	利用申込みが分りにくい・予約が取りにくい	使用料が高い	ホームページの内容が分かりにくい	インターネット環境（Wi-Fi）がない	職員の対応が不十分	特に不便さを感じていない	その他	無回答
単位： 上段=% 下段=人																	
全体	100.0 291	29.2 85	25.4 74	50.5 147	10.0 29	14.8 43	20.6 60	20.6 60	24.1 70	4.8 14	2.1 6	2.4 7	9.3 27	5.8 17	15.1 44	3.1 9	10.7 31
居住地区別																	
岩弘地区	100.0 46	43.5 20	19.6 9	58.7 27	10.9 5	28.3 13	34.8 16	32.6 15	23.9 11	8.7 4	-	2.2 1	10.9 5	6.5 3	8.7 4	-	6.5 3
豊栄地区	100.0 23	21.7 5	39.1 9	47.8 11	4.3 1	17.4 4	17.4 4	34.8 8	21.7 5	4.3 1	-	4.3 1	13.0 3	4.3 1	13.0 3	4.3 1	21.7 5
池之原地区	100.0 67	22.4 15	28.4 19	43.3 29	17.9 12	3.0 2	11.9 8	16.4 11	11.9 8	-	3.0 2	-	6.0 4	1.5 1	23.9 16	4.5 3	6.0 4
川西地区	100.0 29	20.7 6	20.7 6	62.1 18	6.9 2	20.7 6	17.2 5	10.3 3	37.9 11	6.9 2	-	3.4 1	13.8 4	6.9 2	6.9 2	-	17.2 5
新川西地区	100.0 35	22.9 8	25.7 9	54.3 19	8.6 3	8.6 3	25.7 9	20.0 7	37.1 13	2.9 1	5.7 2	5.7 2	11.4 4	5.7 2	14.3 5	2.9 1	11.4 4
川東地区（北部・南部）	100.0 58	32.8 19	25.9 15	48.3 28	8.6 5	17.2 10	22.4 13	15.5 9	24.1 14	8.6 5	1.7 1	1.7 1	8.6 5	8.6 5	15.5 9	3.4 2	13.8 8
柏原地区	100.0 30	40.0 12	23.3 7	50.0 15	3.3 1	13.3 4	16.7 5	23.3 7	26.7 8	3.3 1	3.3 1	3.3 1	6.7 2	10.0 3	10.0 3	6.7 2	6.7 2
家族の構成別																	
単身	100.0 95	23.2 22	26.3 25	44.2 42	11.6 11	14.7 14	13.7 13	18.9 18	14.7 14	3.2 3	1.1 1	2.1 2	7.4 7	5.3 5	17.9 17	1.1 1	11.6 11
夫婦のみ	100.0 109	33.9 37	27.5 30	58.7 64	9.2 10	15.6 17	28.4 31	21.1 23	30.3 33	5.5 6	1.8 2	3.7 4	11.0 12	4.6 5	14.7 16	2.8 3	9.2 10
2世代同居（親・子）	100.0 69	27.5 19	21.7 15	47.8 33	8.7 6	14.5 10	20.3 14	17.4 12	29.0 20	7.2 5	4.3 3	1.4 1	10.1 7	10.1 7	11.6 8	7.2 5	13.0 9
3世代同居（親・子・孫）	100.0 6	66.7 4	-	16.7 1	16.7 1	33.3 2	16.7 1	50.0 3	-	-	-	-	-	-	16.7 1	-	-
その他	100.0 1	100.0 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住年数別																	
10年未満	100.0 26	30.8 8	42.3 11	50.0 13	30.8 8	7.7 2	19.2 5	30.8 8	26.9 7	11.5 3	7.7 2	3.8 1	19.2 5	11.5 3	3.8 1	3.8 1	7.7 2
10年以上20年未満	100.0 35	22.9 8	20.0 7	57.1 20	5.7 2	5.7 2	11.4 4	28.6 10	25.7 9	2.9 1	-	5.7 2	11.4 4	-	14.3 5	2.9 1	11.4 4
20年以上30年未満	100.0 31	35.5 11	29.0 9	67.7 21	9.7 3	9.7 3	25.8 8	29.0 9	35.5 11	3.2 1	3.2 1	-	16.1 5	-	6.5 2	3.2 1	6.5 2
30年以上40年未満	100.0 39	35.9 14	28.2 11	66.7 26	17.9 7	23.1 9	43.6 17	17.9 7	30.8 12	5.1 2	-	2.6 1	5.1 2	-	20.5 8	2.6 1	5.1 2
40年以上50年未満	100.0 49	32.7 16	18.4 9	51.0 25	8.2 4	18.4 9	16.3 8	18.4 9	24.5 12	8.2 4	4.1 2	-	8.2 4	12.2 6	16.3 8	6.1 3	12.2 6
50年以上60年未満	100.0 43	20.9 9	30.2 13	34.9 15	4.7 2	23.3 10	7.0 3	16.3 7	16.3 7	-	-	-	2.3 1	7.0 3	16.3 7	2.3 1	14.0 6
60年以上	100.0 65	29.2 19	20.0 13	40.0 26	4.6 3	12.3 8	23.1 15	15.4 10	18.5 12	4.6 3	1.5 1	4.6 3	9.2 6	7.7 5	16.9 11	1.5 1	13.8 9

※ は1番多い項目、 は2番目に多い項目、 は3番目に多い項目を示している。

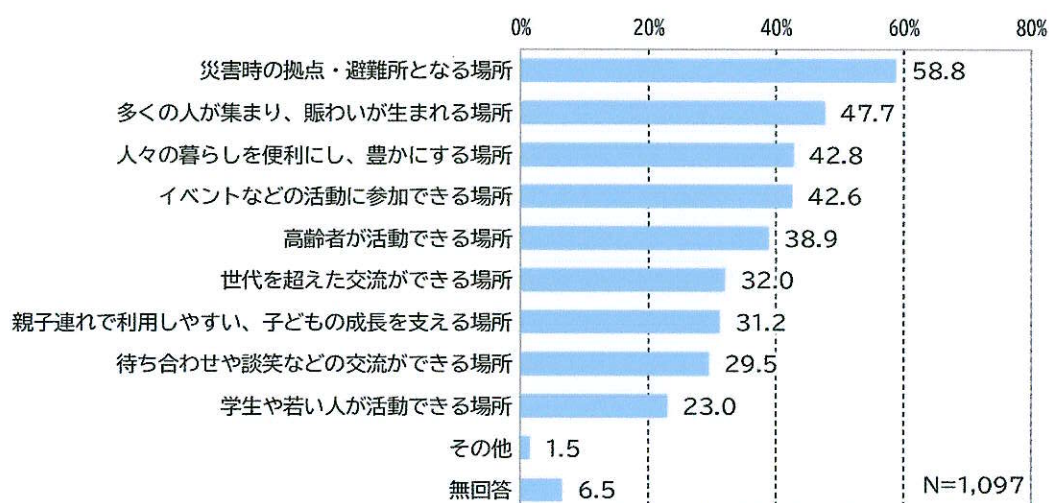
3. 新たな複合施設について

問6 あなた（家族）は、新しい複合施設にどのような場所になったらよいと考えますか。あてはまる番号を○で囲んでください。（複数回答）

「災害時の拠点・避難所となる場所」が58.8%で最も多い。次いで、「多くの人が集まり、賑わいが生まれる場所（47.7%）」「人々の暮らしを便利にし、豊かにする場所（42.8%）」「イベントなどの活動に参加できる場所（42.6%）」となっている。

居住地区別でみると、「新川西地区」は「高齢者が活動できる場所」が、「豊栄地区」は「イベントなどの活動に参加できる場所」が、他の居住地区と比べると高くなっている。

居住年数別でみると、「10年未満」は「親子連れで利用しやすい、子どもの成長を支える場所」が、「40年未満」は「イベントなどの活動に参加できる場所」が、「30年以上」は「高齢者が活動できる場所」が、他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見
気軽に立ち寄れる場所
遠近問わず座椅子の文化ホール
キッチンカーなど呼べる場所
車ではなく散歩やジョギングの途中で寄れる場所
長く親しまれて利用される場所
施設の周りを散策できるようにしてほしい
隣町のような合宿施設として利用できる場所
町の中心拠点となるような
コンビニ機能
カフェがほしい
スーパー、コンビニ、レストランが近くにある場所
児童館のような子どもだけで利用できる施設がほしい
情報発信の拠点
簡易オフィス
スポーツクラブ
要らない
要らない

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人		サンプル 数	多くの人が 生まれる場所、 賑わ	人々の暮らしを 豊かにする場所	待ち合わせや談笑などの 交流ができる場所	世代を超えた交流が できる場所	イベントなどの活動に 参加できる場所	親子連れの成長を 支える場所	学生や若い人が活動 できる場所	高齢者が活動できる 場所	災害時の拠点・避難 所となる場所	その他	無 回 答
全体		100.0 1,097	47.7 523	42.8 469	29.5 324	32.0 351	42.6 467	31.2 342	23.0 252	38.9 427	58.8 645	1.5 17	6.5 71
居住 地区 別	岩弘地区	100.0 157	51.6 81	43.9 69	38.2 60	39.5 62	45.9 72	36.3 57	21.0 33	40.8 64	67.5 106	0.6 1	4.5 7
	豊栄地区	100.0 86	57.0 49	47.7 41	43.0 37	30.2 26	52.3 45	31.4 27	19.8 17	31.4 27	65.1 56	2.3 2	4.7 4
	池之原地区	100.0 279	50.9 142	40.5 113	26.9 75	30.5 85	40.1 112	34.1 95	24.7 69	35.1 98	52.3 146	1.8 5	7.2 20
	川西地区	100.0 111	45.9 51	40.5 45	22.5 25	29.7 33	42.3 47	33.3 37	27.0 30	38.7 43	59.5 66	-	4.5 5
	新川西地区	100.0 128	43.0 55	46.1 59	30.5 39	32.8 42	45.3 58	34.4 44	26.6 34	47.7 61	64.1 82	3.1 4	9.4 12
	川東地区（北部・南部）	100.0 213	44.1 94	43.7 93	23.0 49	30.0 64	38.0 81	26.8 57	21.1 45	39.4 84	56.8 121	1.4 3	5.2 11
	柏原地区	100.0 104	46.2 48	38.5 40	32.7 34	36.5 38	43.3 45	24.0 25	23.1 24	44.2 46	56.7 59	1.9 2	6.7 7
	その他	100.0 10	40.0 4	30.0 3	30.0 3	30.0 3	20.0 2	10.0 1	20.0 2	20.0 2	80.0 8	-	10.0 1
家族 の 構 成 別	単身	100.0 305	46.9 143	46.2 141	27.5 84	33.1 101	36.7 112	18.0 55	15.7 48	38.0 116	53.1 162	1.3 4	6.2 19
	夫婦のみ	100.0 331	50.2 166	39.3 130	31.1 103	36.3 120	46.2 153	31.1 103	23.0 76	43.8 145	61.9 205	1.5 5	7.6 25
	2世代同居（親・子）	100.0 370	47.8 177	42.7 158	30.3 112	27.3 101	44.1 163	42.4 157	29.2 108	35.9 133	60.0 222	1.6 6	4.9 18
	3世代同居（親・子・孫）	100.0 27	55.6 15	40.7 11	29.6 8	48.1 13	48.1 13	48.1 13	33.3 9	37.0 10	66.7 18	3.7 1	3.7 1
	その他	100.0 10	40.0 4	30.0 3	30.0 3	30.0 3	20.0 2	10.0 1	20.0 2	20.0 2	80.0 8	-	10.0 1
居住 年 数 別	10年未満	100.0 188	54.8 103	47.3 89	31.9 60	33.5 63	52.1 98	42.6 80	23.9 45	21.8 41	52.1 98	1.6 3	4.8 9
	10年以上20年未満	100.0 158	51.3 81	38.0 60	28.5 45	29.7 47	41.1 65	34.8 55	30.4 48	38.6 61	60.1 95	3.2 5	6.3 10
	20年以上30年未満	100.0 135	43.7 59	49.6 67	33.3 45	26.7 36	47.4 64	29.6 40	24.4 33	35.6 48	62.2 84	1.5 2	5.9 8
	30年以上40年未満	100.0 167	49.7 83	37.7 63	30.5 51	35.3 59	46.1 77	31.1 52	22.2 37	43.7 73	62.3 104	1.8 3	6.0 10
	40年以上50年未満	100.0 143	44.8 64	42.0 60	28.0 40	34.3 49	34.3 49	28.0 40	24.5 35	44.8 64	58.7 84	1.4 2	10.5 15
	50年以上60年未満	100.0 105	44.8 47	40.0 42	28.6 30	32.4 34	34.3 36	21.0 22	19.0 20	45.7 48	53.3 56	1.9 2	7.6 8
	60年以上	100.0 174	46.0 80	42.5 74	24.7 43	33.9 59	37.9 66	28.2 49	17.8 31	49.4 86	63.2 110	-	3.4 6

※■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

問 7 あなた（家族）は、新しい複合施設において、どのようなことがしたいですか。あてはまる番号を○で囲んでください。（複数回答）

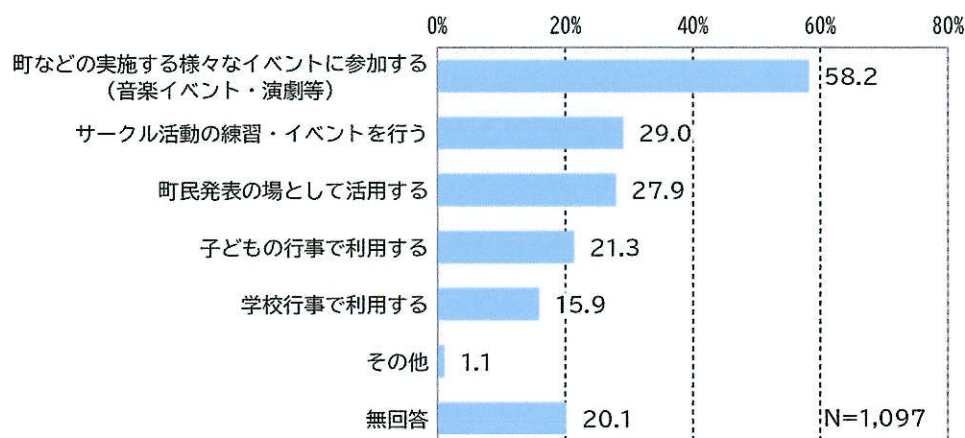
【ホール機能】

「町などの実施する様々なイベントに参加する（音楽イベント・演劇等）」が 58.2%で最も多い。次いで、「サークル活動の練習・イベントを行う（29.0%）」「町民発表の場として活用する（27.9%）」となっている。

居住地区別でみると、「豊栄地区」は、他の居住地区と比べると「町民発表の場として活用する」が高くなっている。

家族の構成別でみると、「2 世代同居（親・子）」は「子どもの行事で利用する」が、「2 世代同居（親・子）」及び「3 世代同居（親・子・孫）」は「学校行事で利用する」が、他の家族の構成と比べると高くなっている。

居住年数別でみると、「20 年未満」は「子どもの行事で利用する」が、「20 年以上 40 年未満」は「サークル活動の練習・イベントを行う」が、他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見
色々な人が色々な面で使えるように
映画や劇などが観られたらいい
くつろぎたい
色々芸術的なものを呼び込む
町、学校、サークルだけでなく個人でも何かを発表したい人が利用できる場
避難所
災害時に活用したい
各地からイベントを呼ぶ
映画上映
学習場所
要らない
新施設は必要ないと思う

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人		サ ン プ ル 数	町などの実施する様々なイベントに参加する（音楽など）	町民発表の場として活用する	サークル活動の練習・イベントを行う	子どもの行事で利用する	学校行事で利用する	その他	無回答
全体		100.0 1,097	58.2 639	27.9 306	29.0 318	21.3 234	15.9 174	1.1 12	20.1 221
居住地区別	岩弘地区	100.0 157	64.3 101	24.2 38	26.8 42	22.3 35	17.8 28	0.6 1	19.1 30
	豊栄地区	100.0 86	60.5 52	38.4 33	33.7 29	23.3 20	11.6 10	2.3 2	12.8 11
	池之原地区	100.0 279	55.2 154	25.1 70	32.6 91	26.2 73	21.9 61	0.4 1	17.6 49
	川西地区	100.0 111	59.5 66	26.1 29	31.5 35	24.3 27	16.2 18	0.9 1	26.1 29
	新川西地区	100.0 128	60.2 77	28.1 36	26.6 34	18.0 23	13.3 17	2.3 3	22.7 29
	川東地区（北部・南部）	100.0 213	56.3 120	29.6 63	27.2 58	17.4 37	13.1 28	1.9 4	19.7 42
	柏原地区	100.0 104	57.7 60	27.9 29	26.0 27	17.3 18	10.6 11	-	23.1 24
	その他	100.0 10	57.7 6	27.9 1	26.0 -	17.3 -	10.6 -	-	23.1 3
家族の構成別	単身	100.0 305	52.5 160	24.3 74	24.9 76	9.5 29	7.9 24	1.0 3	26.9 82
	夫婦のみ	100.0 331	62.2 206	32.9 109	31.4 104	16.3 54	10.9 36	0.9 3	18.4 61
	2世代同居（親・子）	100.0 370	59.2 219	26.2 97	29.7 110	35.4 131	26.2 97	0.8 3	16.8 62
	3世代同居（親・子・孫）	100.0 27	66.7 18	29.6 8	44.4 12	22.2 6	25.9 7	3.7 1	7.4 2
	その他	100.0 10	60.0 6	10.0 1	-	10.0 -	-	10.0 1	30.0 3
居住年数別	10年未満	100.0 188	59.0 111	28.2 53	33.0 62	38.3 72	24.5 46	1.6 3	12.2 23
	10年以上20年未満	100.0 158	62.7 99	23.4 37	28.5 45	29.1 46	26.6 42	0.6 1	14.6 23
	20年以上30年未満	100.0 135	60.7 82	25.2 34	34.1 46	20.0 27	15.6 21	0.7 1	20.7 28
	30年以上40年未満	100.0 167	61.7 103	26.3 44	33.5 56	18.0 30	13.2 22	1.2 2	19.8 33
	40年以上50年未満	100.0 143	53.1 76	36.4 52	24.5 35	16.1 23	10.5 15	-	22.4 32
	50年以上60年未満	100.0 105	54.3 57	29.5 31	29.5 31	13.3 14	8.6 9	-	27.6 29
	60年以上	100.0 174	56.3 98	26.4 46	21.3 37	12.1 21	10.9 19	2.3 4	26.4 46

※■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

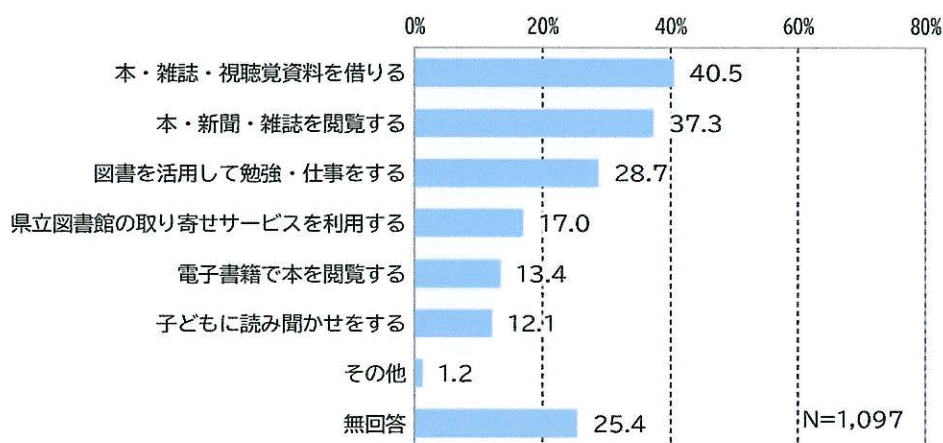
【図書館機能】

「本・雑誌・視聴覚資料を借りる」が40.5%で最も多い。次いで、「本・新聞・雑誌を閲覧する(37.3%)」「図書を活用して勉強・仕事をする(28.7%)」となっている。

居住地区別でみると、「豊栄地区」は、他の居住地区と比べると「本・雑誌・視聴覚資料を借りる」「本・新聞・雑誌を閲覧する」が高くなっている。

家族の構成別でみると、「2世代同居(親・子)」及び「3世代同居(親・子・孫)」は、他の家族の構成と比べると「図書を活用して勉強・仕事する」が高くなっている。

居住年数別でみると、「10年未満」は、全ての項目において他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見
子ども達、学生などが気軽に使えるように
机と椅子だけではなく、くつろぎながらその場で読書ができれば(子ども用のスペースもあればいいと思う)
インターネットパソコンを設備してほしい。図書館内でも1~2台でもあると助かります。町のホームページを見たりできる。肝付町は設置あり新聞は助かっています。
品揃えが悪い
カフェ等を併設して、リラックススペースとして利用できたらと思う。鹿児島市(センテラス)や都城市のような場所
郷土史等、歴史的な資料をみたい
週や月替りで個人運営のおすすめ図書コーナーの設置
子どもが読書や楽しみやすいスペースの確保
映画館等が日曜日限定でもいいので、上映してほしい。アニメや大人も楽しめる若者向け映画など。午前、午後で1本ずつなど。月に2回くらいでもそのような機会あればと思う
若い世代の人が気軽に使える場所
必要性は感じない
必要ない
要らない

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人		サ ン プ ル 数	本・雑誌・視 聴覚資料を借 りる	本・新聞・雑誌を 閲覧する	電 子 書 籍 で 本 を 閲 覧 す る	子 ど も に 読 み 聞 か せ を す る	県 立 図 書 館 の 取 り 寄 せ サ ー ビ ス を 利 用 す る	図 書 を 活 用 し て 勉 強 ・ 仕 事 を す る	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,097	40.5 444	37.3 409	13.4 147	12.1 133	17.0 186	28.7 315	1.2 13	25.4 279
居住地区別	岩弘地区	100.0 157	38.9 61	38.2 60	16.6 26	11.5 18	16.6 26	26.8 42	1.3 2	26.8 42
	豊栄地区	100.0 86	46.5 40	46.5 40	9.3 8	17.4 15	12.8 11	30.2 26	1.2 1	17.4 15
	池之原地区	100.0 279	40.9 114	41.2 115	13.6 38	14.3 40	18.6 52	30.1 84	1.4 4	21.9 61
	川西地区	100.0 111	43.2 48	32.4 36	12.6 14	14.4 16	21.6 24	27.9 31	0.9 1	25.2 28
	新川西地区	100.0 128	40.6 52	32.0 41	7.0 9	7.0 9	18.8 24	27.3 35	2.3 3	29.7 38
	川東地区（北部・南部）	100.0 213	37.1 79	37.1 79	16.9 36	12.7 27	17.4 37	31.0 66	0.5 1	24.4 52
	柏原地区	100.0 104	39.4 41	35.6 37	10.6 11	6.7 7	11.5 12	23.1 24	1.0 1	33.7 35
	その他	100.0 10	20.0 2	50.0 5	10.0 1	-	10.0 1	10.0 1	-	20.0 2
家族の構成別	単身	100.0 305	36.7 112	40.7 124	12.5 38	8.9 27	14.4 44	22.6 69	1.3 4	26.9 82
	夫婦のみ	100.0 331	38.7 128	35.0 116	10.0 33	9.1 30	18.1 60	23.0 76	1.2 4	27.2 90
	2世代同居（親・子）	100.0 370	44.9 166	37.3 138	16.2 60	18.6 69	17.8 66	36.8 136	1.1 4	23.5 87
	3世代同居（親・子・孫）	100.0 27	48.1 13	44.4 12	22.2 6	11.1 3	22.2 6	40.7 11	3.7 1	14.8 4
	その他	100.0 10	20.0 2	50.0 5	10.0 1	-	10.0 1	10.0 1	-	20.0 2
	その他	100.0 10	20.0 2	50.0 5	10.0 1	-	10.0 1	10.0 1	-	20.0 2
居住年数別	10年未満	100.0 188	50.5 95	51.6 97	23.4 44	27.1 51	25.5 48	40.4 76	2.1 4	11.2 21
	10年以上20年未満	100.0 158	41.8 66	42.4 67	19.0 30	12.7 20	17.7 28	37.3 59	1.3 2	17.7 28
	20年以上30年未満	100.0 135	44.4 60	41.5 56	9.6 13	11.9 16	16.3 22	28.9 39	0.7 1	20.7 28
	30年以上40年未満	100.0 167	40.1 67	37.1 62	12.0 20	7.2 12	19.8 33	26.3 44	1.8 3	24.0 40
	40年以上50年未満	100.0 143	37.1 53	30.1 43	6.3 9	5.6 8	13.3 19	24.5 35	0.7 1	37.8 54
	50年以上60年未満	100.0 105	34.3 36	23.8 25	9.5 10	8.6 9	14.3 15	20.0 21	-	37.1 39
	60年以上	100.0 174	32.8 57	31.6 55	8.6 15	8.6 15	10.9 19	17.2 30	1.1 2	34.5 60

※ ■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

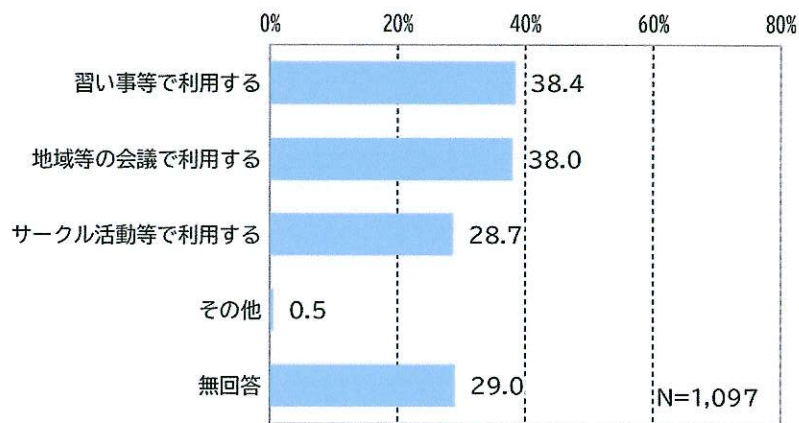
【会議室・和室機能】

「習い事等で利用する」が 38.4%で最も多い。次いで、「地域等の会議で利用する (38.0%)」「サークル活動等で利用する (28.7%)」となっている。

居住地区別でみると、「豊栄地区」は、他の居住地区と比べると「習い事等で利用する」「地域等の会議で利用する」が高くなっている。

家族の構成別でみると、「2 世代同居 (親・子)」及び「3 世代同居 (親・子・孫)」は、他の家族の構成と比べると「習い事等で利用する」が高くなっている。

居住年数別でみると、「10 年以上 20 年未満」は、他の居住年数と比べると「地域等の会議で利用する」が高くなっている。



その他の意見
子どもや高齢者の交流や同世代の交流
文化祭等で抹茶利用など楽しみである
習い事レベルではない講演会やセミナー受講
映画機能をつけてほしい
町以外の多くの方に利用してほしい

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人		サ ン プ ル 数	地 域 等 の 会 議 で 利 用 す る	サ ー ク ル 活 動 等 で 利 用 す る	習 い 事 等 で 利 用 す る	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,097	38.0 417	28.7 315	38.4 421	0.5 5	29.0 318
居住地区別	岩弘地区	100.0 157	39.5 62	28.0 44	40.8 64	0.6 1	29.3 46
	豊栄地区	100.0 86	47.7 41	23.3 20	54.7 47	1.2 1	19.8 17
	池之原地区	100.0 279	37.3 104	31.9 89	40.9 114	0.7 2	25.4 71
	川西地区	100.0 111	37.8 42	27.9 31	38.7 43	-	29.7 33
	新川西地区	100.0 128	39.8 51	25.8 33	35.2 45	-	29.7 38
	川東地区（北部・南部）	100.0 213	35.7 76	31.5 67	31.0 66	0.5 1	32.4 69
	柏原地区	100.0 104	37.5 39	26.9 28	33.7 35	-	35.6 37
	その他	100.0 10	30.0 3	30.0 3	30.0 3	-	30.0 3
家族の構成別	単身	100.0 305	30.8 94	26.6 81	32.5 99	0.7 2	33.8 103
	夫婦のみ	100.0 331	42.6 141	32.6 108	34.1 113	0.3 1	28.7 95
	2世代同居（親・子）	100.0 370	42.4 157	27.8 103	44.3 164	0.5 2	25.4 94
	3世代同居（親・子・孫）	100.0 27	29.6 8	33.3 9	59.3 16	-	25.9 7
	その他	100.0 10	30.0 3	30.0 3	30.0 3	-	30.0 3
居住年数別	10年未満	100.0 188	39.9 75	37.2 70	40.4 76	1.1 2	18.6 35
	10年以上20年未満	100.0 158	47.5 75	30.4 48	39.2 62	0.6 1	22.8 36
	20年以上30年未満	100.0 135	36.3 49	29.6 40	39.3 53	1.5 2	29.6 40
	30年以上40年未満	100.0 167	33.5 56	32.3 54	37.7 63	-	31.1 52
	40年以上50年未満	100.0 143	32.2 46	22.4 32	41.3 59	-	33.6 48
	50年以上60年未満	100.0 105	41.9 44	29.5 31	39.0 41	-	30.5 32
	60年以上	100.0 174	39.1 68	20.7 36	32.2 56	-	37.9 66

※■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

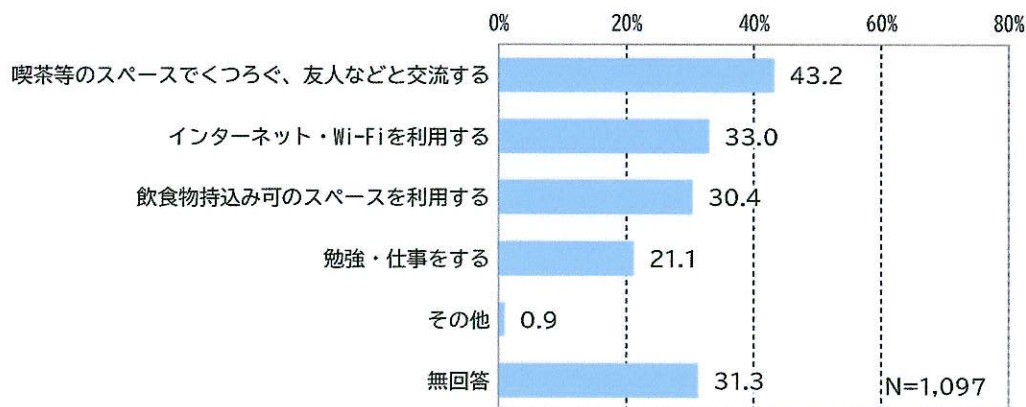
【その他】

「喫茶等のスペースでくつろぐ、友人などと交流する」が 43.2%で最も多い。次いで、「インターネット・Wi-Fi を利用する (33.0%)」「飲食物持込み可のスペースを利用する (30.4%)」となっている。

居住地区別でみると、「豊栄地区」は「勉強・仕事をする」が、「岩弘地区」は「飲食物持込み可のスペースを利用する」が、他の居住地区と比べると高くなっている。

家族の構成別でみると、「2 世代同居 (親・子)」は、他の家族の構成と比べると「インターネット・Wi-Fi を利用する」が高くなっている。

居住年数別でみると、「10 年未満」は、全ての項目において他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見
町民がその場所で利用できるPCがあれば、文章などつくりたい時、自宅にPC等ない人が利用できる
異年齢者と独居高齢者による食事会伝統食の講習会地域ブランド商品開発
子どもが遊べるキッズスペースや映画機能がほしい
体育館として利用できるといいと思う
少年団などが利用できるプールを設置してほしい
町民プールがないので、つくってほしい
したいと言う前に災害時に避難所として行くぐらいです
子どもの一時預かり。親子で遊べる遊具や設備があるといい。天気によって左右されないで子どもが思いきり遊べる施設がほしい
ショッピングモール
これからますます増える老人介護をできる場所。介護の負担を減らせる場所、サービス

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人		サ ン プ ル 数	F i ン タ ー ネ ッ ト ・ W i i	勉 強 ・ 仕 事 を す る	喫 煙 等 の ス ペ ー ス で く つ ろ ぐ 、 友 人 な ど と 交 流 す る	飲 食 物 持 込 み 可 の ス ペ ー ス を 利 用 す る	そ の 他	無 回 答
全体		100.0 1,097	33.0 362	21.1 232	43.2 474	30.4 333	0.9 10	31.3 343
居住地区別	岩弘地区	100.0 157	32.5 51	24.8 39	47.1 74	38.2 60	0.6 1	29.3 46
	豊栄地区	100.0 86	34.9 30	29.1 25	47.7 41	36.0 31	2.3 2	19.8 17
	池之原地区	100.0 279	36.9 103	23.3 65	42.3 118	26.9 75	1.1 3	30.5 85
	川西地区	100.0 111	33.3 37	19.8 22	40.5 45	31.5 35	0.9 1	33.3 37
	新川西地区	100.0 128	30.5 39	14.1 18	41.4 53	25.8 33	1.6 2	33.6 43
	川東地区（北部・南部）	100.0 213	31.0 66	18.8 40	42.7 91	28.6 61	0.5 1	31.9 68
	柏原地区	100.0 104	27.9 29	15.4 16	42.3 44	29.8 31	- -	37.5 39
	その他	100.0 10	30.0 3	- -	40.0 4	20.0 2	- -	40.0 4
家族の構成別	単身	100.0 305	27.5 84	14.4 44	39.0 119	26.2 80	0.3 1	37.7 115
	夫婦のみ	100.0 331	26.3 87	13.9 46	45.0 149	29.9 99	0.6 2	34.1 113
	2世代同居（親・子）	100.0 370	42.4 157	33.0 122	44.3 164	34.1 126	1.6 6	23.8 88
	3世代同居（親・子・孫）	100.0 27	33.3 9	25.9 7	51.9 14	40.7 11	- -	25.9 7
	その他	100.0 10	30.0 3	- -	40.0 4	20.0 2	- -	40.0 4
居住年数別	10年未満	100.0 188	53.2 100	34.0 64	56.4 106	40.4 76	1.1 2	16.5 31
	10年以上20年未満	100.0 158	44.9 71	32.9 52	48.1 76	36.1 57	0.6 1	23.4 37
	20年以上30年未満	100.0 135	39.3 53	17.8 24	40.0 54	29.6 40	1.5 2	28.1 38
	30年以上40年未満	100.0 167	27.5 46	18.0 30	40.7 68	26.9 45	1.8 3	35.3 59
	40年以上50年未満	100.0 143	17.5 25	14.0 20	44.1 63	24.5 35	0.7 1	32.2 46
	50年以上60年未満	100.0 105	21.0 22	14.3 15	28.6 30	29.5 31	- -	43.8 46
	60年以上	100.0 174	20.1 35	10.9 19	37.9 66	23.6 41	0.6 1	43.7 76

※■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

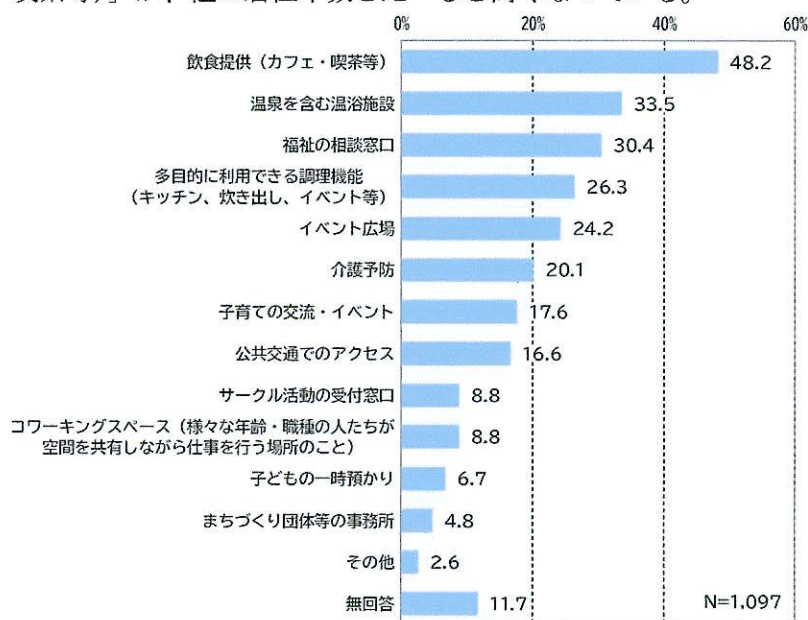
問 8 あなた（家族）は、新しい複合施設で整備してほしいと思う機能やサービス等がありますか。あてはまる番号を○で囲んでください。（複数回答）

「飲食提供（カフェ・喫茶等）」が48.2%で最も多い。次いで、「温泉を含む温浴施設（33.5%）」「福祉の相談窓口（30.4%）」となっている。

居住地区別でみると、「豊栄地区」は「子育ての交流・イベント」「コワーキングスペース」が、「新川西地区」は「公共交通でのアクセス」が、「柏原地区」は「温泉を含む温浴施設」が、他の居住地区と比べると高くなっている。

家族の構成別でみると、「2世代同居（親・子）」及び「3世代同居（親・子・孫）」は、他の家族の構成と比べると「子育ての交流・イベント」が高くなっている。

居住年数別でみると、「10年未満」は「子育ての交流・イベント」が、「20年未満」は「飲食提供（カフェ・喫茶等）」が、他の居住年数と比べると高くなっている。



その他の意見
充実した図書館（増冊等）
図書館の充実
食品、日用品の買い物ができる店が近くにあったら良いです
室内でのマルシェ、軽スポーツ
映画・ミニシアター
各地区と複合施設との巡回バスの運行
交通事故のない場所なのでウォーキング、簡易なトレーニング施設があれば良い。植樹で四季を感じられれば寄りたくなり時間をゆっくり過ごせる
1ヶ所にまとめる
雨の日でも子どもが遊べる室内公園的な設備（町内の子どもは無料サービス）
温泉プール
町民プール
温水プール
新しいものができれば今あるものはまた古くなる。どこに新しく建てようか？となった時のことを思うと、少しずつまとまって中心に集合する形になっていくよう便利な場所にできたらと思う。バラバラに建ってしまうと将来的にも（今も）不便なままだと思うから
子ども食堂
避難所になりうる機能
運転できない老人達が町のマイクロバスで送迎してもらえる
役場・中学校、木が少なくなり景観は悪いし、夏は日陰がほしい。ぜひ木を植えてください
Wi-Fi必須（無料）
映画鑑賞できる視聴覚室
屋外の遊び場
障害のある人をサポートしてもらえる人員配置
天気の良い日にも、子どもが遊べるようなスペース、遊具等
ボランティア活動の受付窓口。テナントのチャレンジスペース
演劇やコンサートが上映できるホール
民間との連携をも考慮した施設として整備する
大崎町の図書館はキッズスペースが広く充実してるので、図書館にキッズスペースもつくってほしい。
大崎町は小さい子が少しくらい騒いでもまわりの人に聞こえないようになっている
子ども達の遊び場
災害時の避難場所

■各属性のクロス集計結果

単位： 上段=% 下段=人	サンプル数	飲食提供 カフェ・喫茶 等	多目的に利用 できる調理機 能キッチン、 炊き出し イベント等	子育ての交流・イベント	介護予防	福祉の相談窓口	サークル活動の受付窓口	子どもの一時預かり	イベント広場	温泉を含む 温浴施設	まちづくり団体等の 事務所	コワーキングスペース 様々な年齢・職種の人が 共有しながら仕事 を行う場所のこと	公共交通でのアクセス	その他	無回答
全体	100.0 1,097	48.2 529	26.3 288	17.6 193	20.1 221	30.4 334	8.8 97	6.7 74	24.2 265	33.5 367	4.8 53	8.8 96	16.6 182	2.6 28	11.7 128
居住地区別															
岩弘地区	100.0 157	44.6 70	25.5 40	12.1 19	20.4 32	31.8 50	7.0 11	6.4 10	18.5 29	36.9 58	5.7 9	8.9 14	17.2 27	3.8 6	13.4 21
豊栄地区	100.0 86	52.3 45	31.4 27	27.9 24	20.9 18	33.7 29	9.3 8	7.0 6	29.1 25	31.4 27	8.1 9	16.3 14	19.8 17	7.0 6	4.7 4
池之原地区	100.0 279	50.2 140	25.1 70	22.2 62	16.1 45	26.9 75	9.3 26	9.7 27	25.4 71	33.3 93	3.2 9	9.7 27	12.5 35	2.2 6	10.0 28
川西地区	100.0 111	49.5 55	27.0 30	18.9 21	23.4 26	35.1 39	9.0 10	5.4 6	26.1 29	28.8 32	3.6 4	5.4 6	12.6 14	0.9 1	11.7 13
新川西地区	100.0 128	45.3 58	29.7 38	18.0 23	23.4 30	32.0 41	12.5 16	7.0 9	16.4 21	31.3 40	7.8 10	10.2 13	25.8 33	3.1 4	12.5 16
川東地区（北部・南部）	100.0 213	51.6 110	23.5 50	13.6 29	23.0 49	30.0 64	10.3 22	4.2 9	28.2 60	30.0 64	5.2 11	8.5 18	13.6 29	0.9 2	13.1 28
柏原地区	100.0 104	46.2 48	26.9 28	14.4 15	17.3 18	24.0 25	3.8 4	6.7 7	26.9 26	42.3 44	2.9 3	3.8 4	21.2 22	2.9 3	11.5 12
家族の構成別															
単身	100.0 305	49.2 150	22.3 68	7.2 22	21.3 65	32.5 99	7.9 24	5.2 16	14.1 43	36.7 112	3.6 11	10.2 31	18.7 57	2.0 6	13.8 42
夫婦のみ	100.0 331	44.4 147	33.5 111	15.4 51	24.2 80	34.4 114	11.5 38	5.1 17	26.9 89	36.6 121	6.3 21	5.7 19	19.0 63	0.6 2	12.1 40
2世代同居（親・子）	100.0 370	50.5 187	23.2 86	28.4 105	16.2 60	23.2 86	8.1 30	8.6 32	29.5 109	27.8 103	3.8 14	9.5 35	11.9 44	5.1 19	9.2 34
3世代同居（親・子・孫）	100.0 27	70.4 19	22.2 6	29.6 8	25.9 7	33.3 9	7.4 2	7.4 2	40.7 11	37.0 10	7.4 2	18.5 5	14.8 4	3.7 1	3.7 1
その他	100.0 10	50.0 5	40.0 4	-	20.0 2	40.0 4	-	10.0 1	30.0 3	30.0 3	10.0 1	-	20.0 2	-	10.0 1
居住年数別															
10年未満	100.0 188	58.0 109	23.4 44	28.2 53	14.9 28	20.7 39	11.2 21	11.7 22	29.3 55	28.2 53	3.2 6	14.9 28	11.2 21	4.3 8	4.8 9
10年以上20年未満	100.0 158	58.2 92	26.6 42	20.9 33	15.8 25	25.9 41	5.1 8	6.3 10	30.4 48	34.2 54	5.7 9	10.1 16	20.3 32	3.2 5	11.4 18
20年以上30年未満	100.0 135	46.7 63	22.2 30	23.0 31	19.3 26	38.5 52	13.3 18	5.2 7	25.9 35	39.3 53	4.4 6	14.8 20	16.3 22	0.7 1	11.1 15
30年以上40年未満	100.0 167	47.9 80	31.1 52	11.4 19	21.0 35	30.5 51	8.4 14	7.2 12	25.7 43	33.5 56	3.6 6	5.4 9	19.2 32	1.8 3	11.4 19
40年以上50年未満	100.0 143	49.0 70	23.1 33	16.1 23	25.9 37	30.1 43	9.8 14	6.3 9	23.8 34	32.9 47	7.0 10	3.5 5	18.9 27	2.1 3	13.3 19
50年以上60年未満	100.0 105	40.0 42	33.3 35	12.4 13	15.2 16	34.3 36	6.7 7	3.8 4	16.2 17	25.7 27	1.9 2	5.7 6	11.4 12	1.9 2	16.2 17
60年以上	100.0 174	35.6 62	25.9 45	10.3 18	28.7 50	33.9 59	6.9 12	4.6 8	17.2 30	38.5 67	6.9 12	5.2 9	16.7 29	2.9 5	14.4 25

※ ■は1番多い項目、■は2番目に多い項目、■は3番目に多い項目を示している。

新たな複合施設の建設に係る町民アンケートの自由意見(問10)の分類別まとめ

■複合施設全体への意見

【施設全体への意見】	
施設のコンセプト	
温かみのある空間をつくってください。	
賑やかな施設であってほしいと思います。	
活気のある施設にしてほしい（せっかく新設するのなら）。	
町民全体の人が使え場所。	
町民が利用したい施設にしてほしい。	
町民が利用したいと思えるものにしてほしい。	
町民が長く便利で利用できる施設を。	
町民の皆さんが利用できるような施設でないともったいない施設ではないでしょうか？	
町民に開かれた施設。	
町民が楽しく過ごせることを要望します。	
町民が気軽に、行ける場所。	
気軽に利用でき、くつろげる場所に。	
自由に行ける場所です。	
どの施設も町民が気軽に集い、活用できるようにしたい。	
町民だけでなく町外の方も立ち寄れたり、集客できるようになれば町も活性化できないでしょうか。	
シンプルな、町内外の人々が楽しく利用できる施設ができることを希望する。	
他県、市町村の複合施設を参考にして人が集まる場所にしてほしいです。	
見た目にインパクトある目指す場所、近隣からも集まってくる場所になってほしい。	
みんなが集い、イベント等を多くして、楽しくできる施設。	
人の流れ、賑わいができるような設計になるといいと思う。	
誰もが待ち合わせ場所として利用しやすい場所、対応が優しいこと。	
環境に優しい。	
環境に優しい建物にしてほしい。	
高齢者福祉センターではなく、福祉総合センターとして高齢者のみでなく、障がい者、子ども保育、地域のみんなが福祉に関心が持てるような施設を整備してもらいたい。	
身体面に不自由のある人が色々な人と交流を持てるところがほしい。	
若者・高齢者、全ての年齢層の人が、温泉に入り、食事をし、図書館で本を見たり読んだりと有意義に過ごせる、憩いの場所であってほしいと思う。	
駐車スペースもたくさんあり、みんなが来やすい、集まりやすい場所になったらいいと思います。	
若い人が利用しやすい空間・場所、子育て世代の方々がゆっくりくつろげる場所が少ないと思うので、そのような場所になることを期待したいです。	
様々な年齢層が、様々な目的で、または交流の場で気軽に利用できるといいです。集える場所が充実すると行きやすいです。	
世代間の共有。	
利用者が安心、楽しい、ワクワクできる施設になってほしい。他（既存）の複合施設を真似るのではなく、未来を見すえた施設をつくってほしい。	
新たな複合施設の整備は、多目的な機能を備えた、日本列島どこにもない魅力ある施設を。	
大隅半島でも自慢できる複合施設をお願いします。	
大隅半島で自慢できる施設をつくってほしい。	
鹿屋市内のリナシティ鹿屋に匹敵するぐらいの複合施設をぜひつくってほしい。	
都城市のふれぴかのような施設ができると嬉しいです。	

【施設全体への意見】	
一流の文化・芸術を呼べる生涯学習の拠点施設を（日本一の複合施設）。	
子育て、生涯学習、コンサート等ができるようにお願いします。	
生涯学習センター。	
娯楽性を楽しめる施設がほしい。	
地域還元性の高いものにしてください。	
体育館でも同じことがいえるが、公共の施設という場所のあり方や、公共の場だからこそ全ての施設をみんなが平等に利用できる場となることを望みます。	
車に乗れない人のことを前提に、働けない人もいることを前提に、色々な方々が行ってみたいと思える複合施設をつくってほしい。交流ができる場所＝キャッチボールができる場所は、東串良町の地域活性化に必ずつながっていくと思う。	
財政の課題もあると思いますが、税金を圧迫しない程度であり立派でなく、入りやすい、利用しやすい施設が良いのでは。人口はそう増えてはいかない（日本の人口）。今後、先を見すえて、老朽化はしていくので。	
町に活力を出すためには、人が増えることが大事です。具体的には①若い夫婦が生活しやすく、子どもが増えやすい。②老人が生活しやすく、病院等が近い。その他にもあるでしょうが。①は、団地等もあり、今後も増やせばいいと思います。②については、年々老人は増え、様々な問題が出るでしょう。新しい施設は、そのどちらにも対応しなければいけないでしょうが、特に②が今後の問題となると思います。老人向けの移動手段（病院、買い物）の取次、案内。不要品のバザー的な交流。人的交流（セミナー、料理教室、何らかの趣味の発表）。町外（外国人含む）の人との交流等ができて、人が流れる施設になってほしいです。	
「子どもに未来を、若者に夢を、中高年に活力を、年寄りに生きがい」の合言葉を全ての住民が実感、体験できるよう、町の賑わいをつくり出す拠点施設の整備を望みたい。周辺施設等の整備を含め、一体的な活用、つながりに配慮し、次世につなぐ安心安全な施設建設を目指してほしい。	
施設の立地場所	
総合センターは今のところいいのではないですか。	
池之原に住宅がたくさんできてきたので今の福祉センターを利用して新しくできたらいいなと思います。	
児童や生徒が利用しやすいようにするのであれば、やはり役場周辺が良いのでは。	
町の中心部（役場周辺）で各地区から集まりやすい場所。	
町の中心地区にあれば、各地区からの参加、時間も公平になるので、不満は出ないのではと思います。	
交通便利を考えた時、役場近くが良いと思います。というのは今は車を運転しますが、あと何年運転できるか？施設、役場とまとまっていたほうが便利だと思います。	
少子化や今後の長期を考慮し、本当に「何」が必要なのか、今まであったからつくるのではなくゼロベースで役場の周辺に整備してほしい。	
体育館周辺になると、屋外イベントと室内イベントが同時に開催された場合、混雑が予想されるのではと思い、役場・中学校周辺、または池之原地区が良いのではないのでしょうか。	
施設の場所をもっと町の中心（川東地区と池之原地区の間）にしてほしい。	
本町は計画的なまちづくりがなされていないので、中心的な場所がない。大きなスーパーは全て国道沿いにしかなく、高齢化する町民の買い物のことは考えていない。地理的に町の中心になるのは別府原のあたりだと思うので、複合施設に人が集まりやすくすることにより、スーパーや他の店が自然にできるような環境づくりをしてほしい。	
地域性を考えた場合には町の中心付近がいいのではと思う。	
アクセス。買い物も近く。	
設置場所は、基幹道路に隣接し、アクセスの良いところを選定してください。	

【施設全体への意見】	
	現在のルピノンの近く、同敷地内に集合すると、今のルピノンの発展と集合施設になると思う（人が集まると思う）。
	新しい複合施設の場所は町の物産館近くがいいと思う。
	体育館周辺にできると台風などの時、避難所も近い。
	総合体育館や町民運動場と隣接する場所につくれば複合施設でたくさんの方々が来られても体育館や町民運動場の駐車場も利用できるので複合施設の用地面積もそんなに広い土地を必要としないので用地購入費も少なくて良いので町予算の節減につながる。ぜひ総合体育館や町民運動場に隣接する場所につくってほしい。
	町体育館や、グラウンドに併設することでより多くの人が利用すると思われる。
	総合体育館の周辺に複合施設があることで、他町の利用もあり、集客等があるのでは。町内利用においても小さなお子様も利用可になるとと思われる。
	町民体育館周辺に集約できれば町の活性化につながると思います。近隣の市町村を見れば、スポーツ団体の合宿拠点になったりしているので、我が町もそのようなスポーツの盛んな町になると考えられます。
	総合体育館の周辺に集め、国道から大きな道路を通すべき。
	総合センター、高齢者福祉センターが総合体育館の周辺だったら災害時、駐車場を心配しなくていいと思います。給食センターからご飯を炊いたものを運ぶことができるのでは。
	交通に便利な国道より少し中に入ったところが良い。
	地盤沈下、水害を考えるとすれば国道 220 号線沿いの岩弘あたり（高台のほう）が良いかと思います。買い物もしやすく便利かと考えます。
	一極集中するより分散したほうが良いと思う。
	国道沿いなら他町からの来客も望めるので町の利益につながるのでは。
	交通の便、人の集まりやすさを考慮して場所は国道沿いにつくってほしいです。
	施設の集約という観点から国道沿いの店舗近くが利用者も便利だと思います。
	国道沿いに建設できれば。
	駐車場が広く取れるなら、220 号線沿いのルーピンの里と一緒にすると、相乗効果になると思います。
	国道 220 号線沿い（アクセスが良い）。
	私は南部ですので近くにつくってもらいたいですが、土地がなければ仕方ないです。
	国道沿いでなくても高台で子ども達が学校帰りに図書館を利用できたり遊び場もあればいいと思います。
	東串良町全体を一望できるような標高の高いスポットができれば良いと思います。
	文化活動と避難を考えた高台の複合施設を。
	複合施設は津波対策として高い場所が良い。
	自然災害などあっても安全が万全な場所（台風、津波）に立てていただきたい。
	場所に関しては、総合センターは標高が低く、東南海地震の津波の時、浸水する可能性が高い地域。農業地域につくるのはやめたほうがいいと思う。
	災害時の拠点・避難所にするためには海拔 10m 以下の土地はふさわしくないと考えます。
	災害時は高い所であれば良いが、今のところからなくなるのも。
コスト	
	高齢化も進み税収も減る中、全部ではなくてもこの費用を複合施設の収益から賄えるような仕組みをつくり、費用を負担する若い世代が納得するような中身にしてほしい。
	もし実施するならば、国・県等からの補助、町の予算内で施設の整備が行えるようにし、各世帯への個別負担が生じないように計画していただきたい。
	町の財政は大丈夫なのか？そこが心配。
	建設費や維持費に心配がある。

【施設全体への意見】	
整備にいくら（費用）がかかるのか？	
後の維持管理の費用が少ないようにしてほしい。	
費用が高くならないようにしてください。	
無駄遣いしないでほしい。	
太陽光発電を取り入れるなど維持コストに努める。	
ランニングコストのかからないエコな施設を望む（太陽光発電など）。	
「別の敷地への移転が必要」とのことですが、費用対効果が見えづらいです。利用者の状況、改築の費用、新築の費用などオープンに議論してください。	
管理費も十分に予算に計上願います。	
駐車場の設備も現在広く利用できていて、町の土地もあるようです。なるべくお金のかからない方法をしたら良いと思います（問9の「4 総合体育館の周辺」の場合です）。	
どんな対策を行っても人口減少、税収減は免れないと思うので、施設自体に費用はかけるべきでないと思う。必要なお金はかけるべきだが、無駄に華美にする必要はないと思う。	
複合施設を建てたら赤字です。町にそんなお金あるんですか。ランニングコスト計算しましたか。ふるさと納税をあてにしてもダメです。	
建設費はもちろんですが、ランニングコストも考慮した設計でお願いしたい。	
本庁から電力を分配するなど(基本契約電力料金)ランニングコストを低減するなど、また既設庁舎の利用率、設備のキャパなど見直し施設の共有化も実現してほしいと考えます。	
財政面から考えて、国県の補助はどの程度見込めるのか、過疎債を考えていればそれはすべて借金であること、町に余裕のある基金はどれほどあるのか、色々な要望を入れすぎると整備費が増加し、本当に町は大丈夫なのか。	
維持費に相当な経費が必要、それをどの程度見込んでいるのか。	
必要最小限度にとどめ、足りない部分は既存の施設を活用すべきである。	
施設の集約化	
施設の場所は1ヶ所にまとめたほうが良いと思います。	
同一の場所にしてほしいです。	
複合施設が一緒のところにあれば良いと思います。	
1ヶ所に集約でき高齢になっても利便性の良いところであってほしい。	
東串良の施設はバラバラで、場所が分かりにくい。	
総合センター・福祉センターと兼ね合わせた複合施設になるよう希望します。	
複合施設は中心に多目的広場があり、その周りを病院、体育館、総合センター、学校、役場、福祉センター等で囲み1ヶ所でなんでもできるような広域的な施設にする。	
役場、福祉センター、商工会、総合センター、体育館、すべてが1つにまとまった施設になると良いと思っています。1ヶ所ですべてのことができることによって、移動も楽である。憩いの場等もあると独居の方々も集まり、語り合えるとさらに良いと思っています。素晴らしい施設ができることを楽しみにしています。	
総合センター・高齢者福祉センターの機能を集約し、総合体育館の周辺に整備し、町民運動場、総合体育館、ゲートボール場と融合させ、「賑わい」を創出させる。整備後、総合センター・福祉センターは撤去する。	
総合センター・高齢者福祉センターだけではなく、総合体育館も合体させ、町内外から、合宿所として利用するのもいいかと思っています。	
できれば役場センター等をひっくるめたほうが良いと思う。	

【施設全体への意見】	
	総合センター、福祉センター2棟を建てずに、一緒にしてはどうかと思います。東串良町民も少なくなっている今、大きなものを建てず、人が集まりやすく、食事、風呂、悩み事も聞きなどできる施設づくりを考えてください。例えば、モーニングをする、子どもだけではなく老人にも読み聞かせなど。建物をつくるときには色々な人の話を聞き、一業者に任せず町々に聞くことを。町人として一言です。
	福祉センターの温浴設備等は利用者が多いのだろうか？宅配サービスの弁当等も給食センター（学校）でできないものだろうか？児童数も減少したと聞くが。新しくつくってもらうのもいいが、それこそ総合的な施設にしてほしいものだ。ムダのない方法で。新しい東串良町を期待します。
	本当に必要なものだけをつくってほしい。
施設の利用	
	奇抜な外観などは全く必要ありません。施設を利用する人々、そこで働く人達にとって使い勝手の良いつくり、機能を備えた施設であれば良いと思います。
	町民の意見を聞いていただき有難うございます。人口が減少していき、集落によって戸数に大きな差ができていますが、どこに住んでいる者にとっても利用しやすい施設ができるといいです。そして利用のルールがしっかり守られるよう、町民達（特に若い世代）に共通理解してもらえる場（機会？）も必要だと思います。
	子ども、年配者に利用していただく雰囲気・場所に気配りしてはどうか。30～50代は現役世代のため利用することが少ないのではないかと感じる。
	柏原校区の空洞化は心配ですが、利用がなければ赤字になるので何かつながってどちらにもいい影響があり、東串良全体が元気になるといいなと思います。
	高齢者が1人で生活していると社会交流もなく、色々利用することがあると思うが、社会と交流のある一部分の人しか利用方法を知らないと思う。もっと下のほうまで手を差し伸べて交流を。生きがいにつながるのではと思う。町の活性化につながると感じる。
	現在の施設がどれくらい利用・活用されているのかが分からない。大ホールが必要なのか疑問である。もし大ホールができたとして、それに合う企画力、実行力はあるのでしょうか？体育館を活用すればいいと思う。
	新たな複合施設の整備が、今後必要なのか疑問に感じるが、整備したとしても、将来どれだけの利用があるのか。また人口が減少していつている中で、人口が増える政策を考えたほうがいいのではないかと思います。
	建てて、新しくいいね、で終わるのはもったいない（そうならないようになってくれたらと思う）。行って利用して、いいなと思えるような場所と、建物も素敵なものになってほしいです。
	利用料金が安いこと。
	利用料金を明確にし例外を認めない（町内・町外の区別）。
施設整備への反対	
	高額な税金で本当に必要な施設なのか、現在の施設をリノベーションし活用する方法はないのか、検討してはと思う。
	新たな施設を整備するより、既存の施設を充実・改善するようにしてほしい。町の施設を維持管理するための費用がどれほどかかっているのだろうか。新しい施設をつくっても、その維持管理のことを考えると新しい施設は必要ないと思う。小・中学校の空き教室等の利用でもいいのでは。学校は地域の中心的存在でもあるはず。
	行政サービス＝公共施設に非ず。小さな負担で大きな価値のある町民の財産を有効活用でき、持続可能な施設として改修してくださることを要望します。
	本題の施設については、毎日多くの人利用しているのならば良いのですが、そうでないのならば建て替えではなく施設を廃止すべきです。
	資材高騰の今、新たな施設をつくるべきではない。今ある施設をもっと活用すべきである。業者のための行政であってはならない。施設建設は反対である。

【施設全体への意見】	
	建設に反対です。住民投票して決めてほしい。
	もう少し町民の声に耳を傾けられないのか？
	現在の施設を最高に利用して新たに施設をつくらない。
	複合施設の整備に反対です。
	建設に反対です。
	新たな複合施設はいらない。
	新たな複合施設は必要ないと思う。
	産業もなく人口減少する中、施設は必要ありません。
施設整備の推進	
	古くなった施設に投資をするメリットがない。2つの施設を1つにすることでスマートな施設をつくることのできるのではないかな。楽しみに待っている。
	東串良町に複合施設の新設は、とても楽しみです。
	新たな複合施設を楽しみにしています。
	素敵な複合施設新設を期待しています。定年後は、そこで働いてみたいです。
	複合施設の整備は大変なことだと思います。よろしくお願いします。
	複合施設が整備されたら嬉しいです。
	素晴らしい複合施設をつくってください。
	複合施設の計画がスムーズにいきますようお願いしております。皆で知恵を絞り、完成を待ちたいと思います。
	複合施設の整備は、とても楽しみです。町内の方はもちろん、他の市町村の方も気軽に利用できる施設がいいです。
	時代は目まぐるしく変化しています。未来を見すえた町民の幸福度が増すような施設整備を望みます。老朽化した施設を集約することは大事なことです。頑張ってください。
	「総合センター」の入口付近のタイルの盛り上がり（危険です）や、トイレの使いにくさ（和式でウォシュレットもついていません。履物の履き替えも大変です）、「高齢者福祉センター」の頻繁に放送される風呂の故障の放送（いつも利用されている方は、修理の間、風呂に入れていないんです、気の毒です）など、早急に新たな複合施設の整備をお願いしたいです。課題は様々あると思いますが、唯一？人口増加している東串良町の魅力の1つとして自慢できるような施設をぜひつくっていただけたら嬉しいです。
運営・維持管理	
	複合施設をきれいな状態のまま保てるように、管理会社を入れるなどして、お金がかかることは重々承知で屋根や壁などを定期的に塗り替えるなど徹底してほしい。
	稼働率の高い民間による運営。
	新しい施設ができることは嬉しいことだと思います。けれどつくった後の管理が心配です。以前あった町グラウンド横の公園が遊具の修理なく取り壊されたことが頭から離れません。町体育館、総合センターもきれいに使われているとは思えません。つくった以上は大切に。管理体制（掃除も含め）を整えてくださることを願います。総合センターは賛成です。年齢幅広く、交流できる場ができることは楽しみです。
	施設や場所は人が使用して集まってこそその意義があり、やがて本町の将来が展望できる（人が集まり習い事やサークル活動等、脳の活性化や健康増進につながれば）。
	つくるのはいいですが、体育館も総合センターも古い以前に、掃除が行き届いていないと思います。調理室はいりません。保健センターがあります。あまり無駄なものをつくるのは良くないと思います。ドームハウスを見て思いますが、東串良町はつくっておしまい。維持を考えてほしいです。温泉は高齢の方にはいいですが、電気代など考えてほしいです。

【施設全体への意見】	
	高齢者福祉センターの機能として必要条件は現在社会福祉協議会と包括支援センターが入っているの でこの2つの組織及び福祉課が的確に連携が取れるかどうかにかかっていると思う。まずはこのこと が第一になる。加えて複合施設として総合センターの機能を併せて持つことはどうなのか、今想像 できないが。ただ中途半端にならないようにしないとといけないと思う。町民はもとより専門家の意見 を幅広く取り入れて良い施設ができることを期待したい。
	先進地域の事情（良いところ・悪いところ）をよく研究し、長年使用できる施設をつくっていただき たい。
	将来的に長く維持管理ができるように考えて建設してほしい、場所も。
	築40年くらいで老朽化で建て替えとならないように、せめて100年くらいを視野につくってほしい。
施設の規模	
	人口に見合った（大きい施設でなく、機能性の高い）施設で良いと思う。
	複合施設の規模については、将来の東串良町の人口推移予測に適合したものでなくてはなりません。
	過疎化が進む中、コンパクトな小さな施設でいいのではないかな。
	必要ですか？今の段階でどのくらいの利用者がいますか？必要最低限でいいと思います。
	人口規模と財政力にあった施設規模にしてほしい。
	小さな町の身の丈に合った大きさの施設が良いと思う。これから先の維持・管理等の費用は、子や孫 も背負っていかなければならないので。
	年間の予算が住民に負担とならないよう小規模なもの、また現在ある建物で代用できるものは利用す る。ただの箱物とならないように、税金の無駄づかいとならないように。
既存施設の跡地活用	
	見直しの対象となった古い施設は、町の負担にならないように手放す方法を同時進行で検討してほし い。
	総合センター（現）の地盤の弱さを考慮した場合、複合施設と跡地利用を並行して具体化しておく必 要があります。

■複合施設の機能に対する意見

【施設の機能に対する意見】	
ホール	
	文化センターのような施設にしてほしい。
	文化センターのような施設。
	椅子式のホールがほしいです。
	椅子式のホールがあるのが良いと思います。
	椅子も設置されているいいホールがあったらいいのと思いました。
	音響設備、椅子付きでゆっくりくつろげる会場。他市町村よりも現代的会場。
	コンサート会場として使えるようにしてほしい。音響設備を良くしてほしい。
	「えーっ」というような方のコンサート等をするような設備にして。
	音楽イベント等ができるホールを整備してほしい。
	気楽に鑑賞できる客席、会場にシアター、音響設備。
	映画も上映できる娯楽施設、子どもシアター、芸術文化ホール。
	映画や舞台・ライブなど観られる施設。
	施設の中にシアターを取り入れてもらえたら嬉しく思います。
	ぜひ映画を観せてほしい（ジャンル問わず）。
	コンサート・イベント等のできる施設。
	大崎肝属町などにあるような文化センター等の施設があるといいと思います。色々な、吉本新喜劇や宝 塚等の開催ができるようなホール付きで、町の活性化を望みたいです。

【施設の機能に対する意見】	
	一流アーティストが呼べたり、様々な企画で県内中から集客できるための本格的なホールづくり。
	コンサートやイベントができれば最高です。
	また各種イベントのホールづくりや催しをつくるなど東串良にしかないいい場所を提供するよう努力すべきです。
	座席数は多くなくても良いので、ゆったりとした座席で音楽鑑賞できるようなホールがあればとても有難いです。東串良町に転入してきた家族みんなの望みです。
交通手段	
	買物で使うバスがほしいです。それも3日おきくらいに連れて行ってほしい（バス）。高齢者だと車がないのでお願いします。
	新しい素晴らしい複合施設をつくっても利用手段がないのでは利用できず、「宝の持ち腐れ」です。利便性も検討してください。
	新たな複合施設の整備に伴い、今まで開催されていたイベント・各種教室・町老連の教室などが更に充実してくると思います。ただ残念ながら色々なことに参加したいと思っている町民、特に移動手段のない高齢者は参加できない現実があります。そこでコロナ禍前に運行していた移動手段の復活を切に願います。参加の呼びかけをする割には肝心なところのフォローができていないと思いますので、ぜひ検討をお願い致します。
	施設まで行きやすくなる、特に車のない人や身体の不自由な人のための送迎システムが整うと利用する人が増えるのではないかな。
	定期的に送迎バスがまわる。
	多数の方々が利用できるような交通手段が絶対必要。それがない限り利用できる人が限られるように必ずなると思います。
	町内無料周遊バスの起・終点とし、ミニバス数台で1日数回運転する。
	複合施設ができたとき、町内の人が行けるように町内バスがあるといいと思います。それは高齢者が免許証を返納したとき足がないので、健康な老人（高齢者の方）が自由に利用できるのではないのでしょうか。
	運転をしてない人達のために巡回バスを走らせ、利便性の良い施設（場所）にしてもらいたいです。
	予算で無理かもしれないが小型の巡回車両の送迎(交通手段のない人、高齢者などの)。
	せっかく施設をつくり直されるのであれば利用者の交通手段等、手厚く実施していただかないと車のない高齢者の方々は今と同じで施設の利用はできないのでは。
	施設ができて車に乗れる時期を過ぎたらどこにも行けないと思います。タクシーも少ないし。まずは交通が第一です。頑張って施設の整備をしてください。
	素晴らしい施設ができて、そこまで行けない弱者がいることも考えてほしい。交通機関がほしいです。
	新しい複合施設ができて、そこに行くことのできない高齢者のために、巡回バスで利用できると良いです。
	無料で行けるコミュニティバスなど考えてみては。
	現在は、車で動ける状態ですが、近く免許の返納もあると考えています。将来、買物・風呂と不安になります。周囲の方々は、現在バス運行がないのでどこにも行けていないと話されます。ぜひバス（買物・他）の運行を希望します。気軽に足を運べる場所など（風呂も）。
	何をするにも車がない。そのための町内送迎バスがあるといいと思います。
	送迎サービス。
	徒歩の方、車の免許等ない方でも気軽に行ける形を考えてほしい。
	高齢者や子ども達も利用しやすいような施設づくりをお願いできれば有難い。また時間帯で送迎してもらえたら高齢者や子ども達も利用しやすいと思う。
図書館	

【施設の機能に対する意見】	
図書館は、都城市立図書館のような場所をつくって、町内外の人にもたくさん来てもらえるような場所にしてほしい。	
都城の図書館を見本にしてほしい。	
図書館も広く明るくゆっくり本を楽しめる場所にしてほしい。	
図書館は都城図書館をイメージしたらいいと思う。	
文化的な向上を考えると、図書館の充実は必須だと思います。	
静かな環境での図書。	
図書館は現在よりも明るく、空間を広くしてほしい。	
図書館をもっと充実させてほしい。絵本もほしい。	
ゆったりとお茶したり本を読めるスペース。	
図書館の充実（例：都城の図書館が理想です）。	
健康管理の図書施設。	
図書館。	
本の種類が少なくて鹿屋や大崎の図書館に行くことがあり、時間がかかるため、近くにあれば勉強する人や本を借りる人が利用しやすくなると思う。	
図書館が充実している。	
小中学生の学習スペースも希望します。	
学習スペース。	
スタバやドトールなど、コーヒー店と図書館を一緒にした施設もいいと思う。	
図書館と幼児が自由に遊べるスペースが併設されていたら利用が増えるのでは？	
複合施設を利用したくても図書館も利用できる時間など分かりません。新しくつくってくださるのなら、利用できる時間、利用料、駐車場の場所、イベントや行事の時の日時の連絡、広報での連絡、施設のポスター貼り、各家庭に知ってもらえるように連絡がほしいです。高齢者センターなどは元気な人は利用することが少ないです。その人達に利用してもらうには、イベント内容や日付など連絡で、町民皆にどこでどんなことをやっているのかを知らせてくれないと、新しくなっても利用者は少ないように思います。新しくなって使いやすくなるのはいいと思います。町民のためにもよろしくお願いします。	
防災機能	
災害が今後益々増えてきそうなので避難所としての機能の充実（トイレの数を増やすなど）。	
災害時の拠点・避難所となるよう高台で行きやすい施設になってほしい。	
防災拠点を兼ねる場所（支援物資のストックヤード）。	
防災公園（一時避難場所）。	
災害リスクを考慮した場所、もしくは施設にしてほしい。	
災害時の避難場所である。	
複合施設は必要なので災害避難所として機能充実も取り入れてはどうか。	
現在の総合センターは河川氾濫の危険性がある時に避難しにくい。高台で駐車場を広くとれる場所、いざという時の避難所として機能するようなつくりにしてほしい（自家発電や調理室、バリアフリートイレなど）。	
地震など災害に耐えることができる施設の整備。	
いつでも、電話でも、災害時の（地区の）避難場所、及び各個人で必要持参品等の聞ける場所、専門担当者の話を聞ける場所にしてほしいです。	
それより災害時に避難する場所をつくってほしい。津波が発生した場合、今のままでは避難場所までたどり着けない。避難場所は各エリアに複数必要であり、ハザードマップをつくった行政もそれは分かっているはず。南海トラフ地震が発生した場合、東串良は壊滅する。	
津波が心配。中途半端な創造はしないでほしい。	
場所的な問題も考えられるが、自然災害（地震・津波・台風等）多発しており、特に本町においては地震による津波対策は最も重要事項であり、それらに対応できるための施設整備を考えていただきたい。	

【施設の機能に対する意見】	
	避難所となる時は3階以上が必要だと思います。一部でも3階以上にしてください。
	台風等災害時に避難できる施設、プライバシーに対応した環境。
	南海トラフ地震による津波を考慮した上で複合施設を整備してほしいです。
	防災についての頑丈な建物というのが町には少ないので、それらを見すえた複合施設になればと思います。
	調理室の隣室にて、現在加工センター内にある大釜・圧力鍋・蒸し器などを設置してほしいです。この先、天災により非難した際の炊き出し等を行うことができるのではないかと思います。
子どものための施設	
	都城の"ふれびか"や霧島の"キッズパーク"のような子育て支援施設があると子育て世代の人は活用すると思う。町外の人も利用できるようにするととっても良い。利用料を500円以内なら取ってもいいと思う。
	東串良町は、幼児が遊べる施設がないので雨天時も子連れで遊べる施設があるといい。
	屋内子ども広場。
	池之原幼稚園も複合施設に組み入れてほしい。
	子ども達が雨でも遊べる室内遊園地をつくってほしい（小学生までの利用可能で）。
	雨の日などは子ども達を遊ばせる場所がないため、総合体育館周辺の近くに室内遊びの施設があると助かる。
	子ども達が勉強したり、集まれる場所。
	雨の日に子どもと遊べるスペースがあれば利用したい。
	子ども達が行きやすい場所になってくれたら嬉しい。
	キッズルーム。
	都城のふれびかのような子どもが無料で遊べる場所があったら嬉しいし、雨でも遊ばせられるといいと思います。
	子どもが集まるまちづくりをお願いします。
	子ども達にも夢のある施設。
	子ども達が1日中遊べる場所であつたらいいなと思う。駄菓子や軽食が小遣いで買えて、そこで本を読んだりwi-Fiがあれば動画を見たり、友達と過ごせる場所だといいです。
	イオンにあるような、保護者が付き添いのもと(必須)利用料の支払いで入場できる子どもの遊び場があれば嬉しいです。
駐車場	
	公共交通機関も便利に使えるレベルでないので、駐車場から施設への導線など、その辺りを考えて欲しい。
	駐車場スペースも考慮してください。
	駐車場と施設の入口との距離はできるだけ短くしてほしい。
	駐車場を広く、多めにしてもらえると助かります。
	1台の駐車スペースが広い。
	駐車場が多くある場所が良いのではと思う。
	駐車場も広く。
	駐車場が広くある場所が良い。
	駐車場広く。
	駐車場が安心して停められること。
	今の総合センターの駐車場が狭すぎて非常に危ないので広くしてほしい。
	駐車場を広くつくってほしい。
	駐車場が狭いのでつくってほしい。
	自転車やバイクなどを停めるところをつくってほしい。
公園・広場	

【施設の機能に対する意見】	
	子どもが安心して遊べる公園を隣りにつくる。
	周りが公園のようなところもあればいい。
	もっと広い敷地に建設してほしい（公園等も併設）。
	周辺に散歩コースや公園があると便利。
	隣りに子どもが遊べる公園があると嬉しいです。
	複合施設のそばに子ども達が遊べる公園がほしいです。
	イベント広場(屋根付き)がほしい。
	軒下等でマルシェができるようなスペースをつくってほしい。
	遊具をもう少し増やしてほしい。
	大崎町の大崎ふれあいの里公園のような施設が良いと思います。安心して利用できます。年齢、性別を問わず利用しやすい。芝生広場や遊具、適度のアップダウンで歩いたりジョギング、グランドゴルフ、イベントの開催などができる。1人で利用しても寂しくない。トイレがきれいで設置箇所が多い。平日、休日を問わず誰かが利用している。
	町内の祭り会場になるといいです。
	定期的に朝市、フリマ等行えるような広場があると嬉しい。
	飲食や物販等イベントができること。
店舗	
	スタバやタリーズなどの有名カフェを誘致すれば利用者が大幅に増えると思う。
	Café。
	東串良にはパン屋がないのでパン屋を入れてほしい。
	飲食提供（カフェ・喫茶）があれば特定の人だけの利用にはならないと思うので、できたら嬉しい。
	飲食施設。
	複合施設には飲食のできるレストランやカフェ。
	軽食、喫茶。
	コインランドリーやコンビニがあったら利便性があり町民が活用できるのではと思います。
	コンビニも併設。
	有料の飲食店や将棋部屋、麻雀等、娯楽施設を充実。
	ショッピングセンター。
	総合商業施設であると良い。
温浴施設	
	入浴施設。
	今の福祉センターの風呂のイメージは、5年後には全く想像できないような温泉にすればいいのではないのでしょうか。
	高山や串良には温泉（サウナ）があるが、東串良にはないので整備してほしい。
	温泉施設をつくってもらいたい。
	温泉施設との併設（家族湯、介護湯等含む）。
	温泉があったら幸いだと思います。
	温浴施設の充実。
	ぜひ温泉施設をつくってもらいたい。
	新しい風呂をつくってください。福祉バスに乗って利用したいと思います。
	温泉を含む温浴施設を今よりも充実したら良いと思います。
	入浴施設入りますか？
サービス	
	スマホやタブレットの使用指導をしてくれる職員の配置。
	町なんでも相談室（面談室あり）。
	健康、幸福相談室。

【施設の機能に対する意見】	
	趣味などが増えるようなイベントがほしい。音楽の演奏（管弦楽や和太鼓など）。習い事（気軽に参加できるもの）。講演会など。
	週末（休日）に使えるこども食堂がほしい。
	今からは高齢化が更に進むと思うので、どなたでも気軽に参加できる体操・ヨガなど取り入れてほしいと思います。
	シニア世代、老人世代向けのイベントを望む。意見がまとまりましたら早めにつくってください。
	週1～2回くらい移動販売をお願いします。
オープンスペース	
	町民交流スペース。
	たくさんの人が集まりやすい、カフェスペースがあるといいなと思いました。
	イスやテーブル・ソファがある開放的なエリア。
	高齢者と子ども達が交流できるようなオープンスペースがほしいです。
	町民が自由に使用できるスペース。飲食も可、何時間いても怒られない。
	気楽に食事をしたり、お茶を飲んだり、友達とお茶を飲んだり、「あーでもない、こーでもない」と笑いながら集える場所がほしい。
	誰でも自由に使える広いスペースがほしい。
高齢者のための施設	
	2020年人口6,237人、2050年4,430人、減少傾向で高齢化が進む中で、過疎化の中で、行政として若者の住む環境と、高齢者が健康づくりの施設の充実を図っていただきたい。
	老人も楽しめる場所。
	年配者でも気軽に利用できる施設にしていきたいです。
	老人に優しいまちづくりをお願いします。
	高齢者が多いので利用者の利便性を十分に考慮してほしい。
	子どもだけ高齢者がゆっくりくつろげるセンターをつくってほしい。
	老人が1人で行って楽しめる場所がほしい。
スポーツ機能	
	町内のプールが今は利用されていないので、屋内プールを複合施設につくって、町内外の人がたくさん利用できる施設をつくってほしい。
	屋内プールも併設して複合施設をつくってもらいたい。
	柏原にある町営プールが汚く、利用者が少ないので、新たな複合施設として屋根付き、もしくは室内プールに整備すれば、キャンプ場や海岸に来た人達が利用でき、観光名所として賑わっていくのではないのでしょうか？
	バスケットゴールやスケート場、温水プールがあるといい。
	室内外にアスレチック施設（子どもには感性豊かな子どもに、大人・高齢者には脳活性と体力づくりに）。
	串良や大隈アリーナにあるようなドーム型のトレーニング施設、フットサル、テニスなどができる施設がほしい。フットサルができる施設がない。
バリアフリー	
	バリアフリー。
	バリアフリーで。
	身体的問題がある人のためのエレベーターがあると良い。
	エレベーターなどの設置（2階以上なら）は、便利な位置に。今の役場のように片寄った隅にあるのではなく、利用者にとって「ココ！」という場所にしてもらいたい。
	色々な人（障がい、子ども、老人）が無理なく利用できる手段を整備すること。
会議室	
	複合施設に入れたいもの、階段式の大会議室が1つ、小会議室が2つ、中会議室が1つ。

【施設の機能に対する意見】	
	コワーキングスペース。 コワーキングスペースは人の流れをつくる要素もあり、また企業あるいは事務所設置に利用しやすいと思われる。 打ち合わせ・会議等、個人（名）でも利用可能にしてほしい。 地域の公民館は振興会では維持管理が難しい点も出てきているので振興会の会議など無料で利用できるような施設にしてほしい。
物販機能	
	ルピノンの里のような物産館も一緒にした施設もいいと思う。 地元農産物コーナー。 近隣自治体のように町内外の皆様が利用できルピノンの里のような販売所もあると一石二鳥。 食材の揃った売店等を他市町村の人々も利用できるよう、道の駅のような施設づくりをされると利益も生まれ、町民にも喜ばれる場所にすればいいと思います。
トイレ	
	便器など、日進月歩で新商品ができていますので、外観よりも充実してください。建てた後の管理をしっかりして、いつ行ってもきれいな、きれいなトイレ等にしてください。 トイレが広く、シャワートイレ。 本町に既存の施設におけるトイレの便器については高齢者が大便等使用しやすいシャワーのついた便器に改良してほしい。高齢者は肝心なところに手が届かず衛生面からもぜひ改善してほしい。今後新設される施設については、全てシャワー付き便器を設置されることを望みます。近隣の他町においてもシャワー付き便器に取り替えが進められているようです。
その他の設備・空間	
	ネット環境の整った場所にしてほしい。 誰でも出入りしやすい、明るいエントランスにしてほしいです。 エントランス。 建物の中の設備を、この小さな東串良には「ぜいたく」と思われるくらいの最新のものを備えつけてください。 ボタン1つで利用できる人々の施設。 電気等つけてほしい。 楽器演奏やカラオケが楽しめるような防音室も整備してほしい。 施設的には明るい大きな窓を取り入れて明るい施設であってほしいです。 最近では光熱費も高く、いつでも冷暖房完備の部屋を町民の方、またはそれ以外の方でも利用できる場所をつくってほしいと思います。 高齢化社会なので平屋が良いのではないかと思います。

■その他の意見

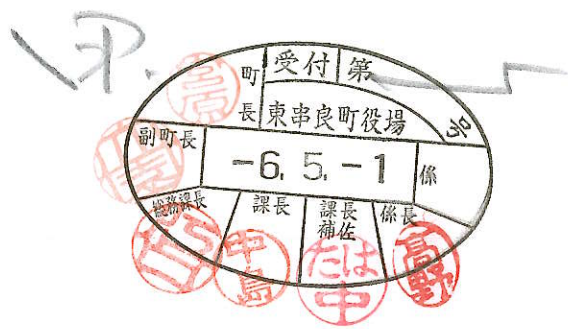
【その他の意見】	
アンケートへの指摘	
	このアンケート自体、複合施設という曖昧な施設を建てるのが決まってしまう点が残念です。もう少し町民の意見を聞いてください。アンケートの意見も含めた設計（どんなものを建てるか）と建設費と維持補修費（どれだけのお金がかかるか）を示してもらってから「建てるか否か」を問うべきだと思います。 現在、計画されている複合施設の検討について、建てる前提でのアンケートであることがどうかと思う。必要性を説明した上での建設への賛成、反対の調査が必要である。後に残された若者に多く負担がかかるのではないのでしょうか。建設費、維持管理費の試算はしたのか。ふるさと納税をあてにしても今後継続して寄付があるかは分かりません。それも踏まえて、まず住民に説明し、建設の検討をされるべきだと思います。税金を使うことから住民の意見を大きく反映させるべきだと思います。

【その他の意見】	
	アンケート以前の案件として、複合施設建設の基本構想として町職員・町会議員の他自治体の施設を視察・参考とされている事実があるのに、その参考とされた物件の規模・予算・立地（敷地）等基本条件を提示（参考として）するべきであったと思います。複合施設建設の委員も決定されたと思いますが、基本構想のゾーニング等も発表するべきです。既成事実をつくるため（町民に聞いた）のアンケートは町民のためになりません。情報をもっと公開すべきです。
	最初から複合施設ありきのアンケートはおかしくないですか？利用したこともないのに答えられませんか、今後人口減少の中で30億くらいの金額をかけてつくるのには大反対です。現在ある箱物に最低限必要なものをつくるべきで、これから子ども達に借金を背負わせるのはいかなものでしょう。
	役場で建設前提になっているのはおかしいのではないかと。東串良町の役場行政はおかしくないですか。町民が納めた税金で建設、維持管理をしていくと思うのですが。
	新しくつくる予定でアンケートは無意味だと思った。
	このアンケートに基づいてしっかり町民の声を受けとめてほしい。
	老朽化による設備は理解できるが、議会で質問が出ていた町民が知らない間に物事が進むのはいかなものか？このアンケートも議会対策のためではありませんか？順番が異なると思います。町政の動きがよく見えません。開かれた町政をお願いします。また企画課は、まちづくりを行うところではないでしょうか。垣根を超えた課の連携を図り、住民のために汗を流してください。これをきっかけに住民と対話を行い、官民一体でまちづくりを推進することを切に願います。
	まず今回のデータ消去の件について、個人情報扱う役場で、あってはならないことです。このことの重みをしっかりと認識して今後このようなことが二度と起こらないようにしてください。
	アンケートを取るのが遅いと思う。
	いきなり建設が前提のアンケートを回答させるのはどうかと思う。町にそんなお金あるんですか。住民にしっかり説明した上で建設するかどうかをまずは検討するべきなのは。
建設プロセスへの意見	
	審議の経過を透明化し、町民に数字も含めて伝えること。
	これまでも住民への情報提供が不足してるなと思いますので、このアンケートの集計結果もちゃんと公開してください。
	これからの人口減少を考えると難しいことではありますが、現在の施設の老朽化を考えると早めの決断がいいと思います。
	ただ建物をつくるだけでなく、東串良の広大な景観も意識しながら、他にない子ども達の未来や高齢者にも使用しやすい夢のある総合施設をつくってもらいたい。そのためには、色々な角度から住民や専門家の知識、アドバイスをもらいながら、入念な取り組みが必要だと思います。町全体でこのようなアンケートをもとに複合施設ができあがるのを期待し、楽しみにしています。
	大きなお金が動き何かをする時、町民に意見を聞き、検討・実施していただきたいです。
	福祉センターと総合センターを複合させるだけなら、今まで同様ほとんど利用する機会はないと思います。ゼロベースでコンセプトをつくりあげながら、町民が納得するような空間にしてほしい。ただ、町民だけが利用する施設だと逆に使いにくいとも感じます。
	他の市町村では箱物だけで終わりだが、充実した活動内容を考え実施していただくためには高齢の男性だけでなく若者（中・高生を含む）や女性、母親等の意見を取り入れてください。建設にあたり他町村の業者にさせないで地元の業者にJVで依頼してください。急いで箱物だけつくってもダメ。町民が使用しやすいアイデア・活用方針が先です。先を見てじっくり検討よろしくお願いします。
	子ども達が東串良町に住んで良かったと言える施設である。そのためには子どもからのアンケートも必要ではないでしょうか。町民が、特に高齢者の方々が東串良町に住んで良かった、住みやすい東串良町だと誇れる施設であってほしい。
複合施設に関すること以外の意見	
	役場にフリーWi-Fiの整備。
	総合病院がほしい。

【その他の意見】	
	新たな複合施設の整備の前に、グラウンドのナイター設備の修理、町営プールの改修を検討してほしい。
	総合体育館内の第一体育室は利用したことがない。剣道の道具等、置きっ放しで利用するにしても利用しにくい。第一体育室は毎日、剣道部が利用しているのですか、何名ぐらい利用しているのですか（剣道以外の人）。社会教育課には町民が公平公正に利用できるように対策してもらいたい。
	グラウンドゴルフの使用者、回数が多く、他町より良い施設を。
	噴水のところに色々な魚を入れてほしい。
	高齢者福祉センターの外に公共の温泉をつくってほしい。それ以外のことに町の予算を使わないでほしい。
	複合施設とは関係はないのですが、最近ドームハウスやキャンプ場の整備が行われているので、町営プールなどの整備も行ってもらえればと思っています。
	アウトドアに特化したまちづくりを望みます。
	噴水の公園は意味がない。何の生き物もないからコイなどの生き物を入れてほしい。
	現在車の運転ができ、買物には不便はないのですが、高齢になり運転免許返納した場合、近くに店がないので買い物に行けない状態になると思います。買い物難民支援の取り組みをお願いしたいです。
	足がないので歩いて 2km 内、10 ヶ所必要（無理）。
	夏休みに気軽に行けるプールを、柏原地区ではなく、池之原地区につくってほしい。
	物産館を柏原地区につくってください。
	若い人が定着できる企業誘致。
	このアンケートは総合センター・福祉センターに限定されていますが、申し訳ない思いかもしれませんが、私個人の主観かもしれませんが、今この時代、この時の本町に果たしてこの施設を改善改築することで活性化できるとは考えにくいことだと考えます。私が以前から考えていますことは、もし可能であるならば旧雪山の池を利用して老人から幼児まで 1 日を楽しく過ごせる場所として視点を向けて見られることが最適と考えます。このことにつきましては簡単に書面で説明が難しいですが、できることなら直接（なぜ今雪山の池か）をお話できる機会があれば幸いです。
	文化施設と体育施設は別に建設する。
	第一に、当初広域農道決定路線の完成を実現させます。部落民として、交通緩和、地域交流、東串良町の発展の第一歩と考量。部落民の性格等は、永年心理的気苦労をしています立場の私には、雪山集落が社会的に孤立に至ることのないように行政に陳情することとします。雪山周辺は豊かな資源がいっぱいです。改革することの価値のある地点です。
	東串良町の未来を考えながら、観光（古墳が多くあるのに観光資源としてもっと整備、PR 活動ができないのか）、産業（畜産・農業→畜産に関しては住宅周辺での飼育はどうかと思う。ハエ、においの害がひどすぎる）に力を入れる。人口減少は何が原因なのかもっと考え（町に進歩がない、発展がない）、税金を有効に使ってほしいと思う。
	総合センター、福祉センターを個人で利用したことがないため、現在どのようになっているのか（設備があるのか）分かりません。どんな利用ができるのかも知りません。新たな複合施設が必要なのかも分かりません。

参考⑤

東 議 発 第 6 3 号
令和 6 年 5 月 1 日



東串良町長 宮 原 順 殿

東 串 良 町 議 会
議長 田 之 畑 稔



複合施設の基本構想・基本計画に係る提言書の提出について

複合施設に係る調査特別委員会委員長から、これまで当委員会が行った調査を基に、複合施設の基本構想・基本計画に議会の提案を反映させるための提言書を町当局に対して提出することを決定したので、町当局へ提出してほしい旨依頼がありました。

つきましては、別紙のとおり提言書を提出しますので、当議会の提案の趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

複合施設の基本構想・基本計画に係る提言書

複合施設に係る調査特別委員会は、新たな複合施設の基本構想・基本計画の策定に関し、次の事項を町当局へ提言します。

(1)住民意向の把握について

住民説明会等で複合施設の役割や必要性及び検討委員会での決定事項等を丁寧に説明してほしい。また、アンケートで寄せられた住民の意向を生かして複合施設建設を進めてほしい。

(2)職員アンケートについて

職員の回答内容に同調する部分が多々あったので、職員の意見も参考にしてほしい。

(3)既存の施設について

雨漏り、クラック等の修繕費も増加し、ボイラー等の修繕が多く維持費が高い。さらに、施設の老朽化、立地場所、陥没状況等から見ると、住民の避難所として向いていないので早期対応策を求める。

(4)新たな複合施設の役割について

住民の自由な意見交換ができ、子どもから高齢者まで利用しやすく、住民の交流の拠点となる施設を求める。また、高地に設置し、避難所としての利用や災害時の役割を担う施設を求める。

(5)複合施設の機能等について

①ホール

- ・100～200席の規模を求める。
- ・広さや椅子の形状は利用目的を考慮して検討してほしい。
- ・座席は可動式（人力による収納性）がよい。
- ・小中学生の発表会や様々なイベント（音楽、演劇等）で利用できるものがよい。

②会議室

- ・小規模でよい。振興会やサークル等で利用できる程度のものがよい。

③和室

- ・小規模でよい。茶道や手芸等で利用できるとよい。

④図書室

- ・図書機能の充実を図り、子どもたちが勉強できる場所を求める。
- ・学生が利用しやすい環境整備が必要である。
- ・Wi-Fi やデスクスペースがあるとよい。

⑤事務室

- ・総合案内を含む施設を統一する事務室があるとよい。
- ・各種団体の事務所を設けると建物自体の規模が大きくなるので協議調整してほしい。

⑥調理室

- ・利用する関係者の意見を聴いてほしい。
- ・生活改善グループやイベント等で利用し、災害時の炊き出しができるとよい。

⑦温浴施設

高齢者向けの住民サービスの向上として捉えるか、維持管理費等の経営面をどう捉えるか、費用対効果については議会でも意見が分かれている。現在の高齢者福祉センターの施設を維持し活用できないか、太陽光熱の活用はできないか、コンパクトな温浴施設が整備できないか、温泉保養券を配布し近隣施設へバスによる送迎ができないかなど、住民の意向を調査しながら検討してほしい。

⑧その他

- ・子育て支援と高齢者とのふれあいができる機能を有する部屋を求める。
- ・乳幼児健診や母子保健事業ができる部屋があるとよい。
- ・飲食や喫茶スペースがあると人が集まりやすい。
- ・飲食提供機能は求めない。

(6)複合施設の規模等について

鉄筋コンクリート造の1階建てもしくは2階建てで、ゆるいスロープやエレベーターの設置を求めるが、最小の規模で最大の効果を上げることが大事である。

(7)複合施設の建設費、維持管理費、メンテナンスについて

本町の人口推移を考えるとコンパクトで維持管理費があまりかからない施設を求める。また、ホール等の設備は、維持費やメンテナンスの掛からない、無駄のない設備にしてほしい。なるべく、建設費が安い施設がよい。

(8)複合施設の立地場所について

議会においても、給食センター建設予定地周辺、町体育館周辺、国道220号周辺と意見が分かれている。複合施設の設置目的と住民意向とをすり合わせ合理的な場所を選定してほしい。

■東串良町複合施設建設基本構想・基本計画の策定スケジュール(当初)

			令和5年度						令和6年度																			
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
業務ステップ			【基本構想段階】立地場所確定／施設の役割検討						【基本計画段階】住民意向の把握／施設計画の検討						とりまとめ／次年度準備													
基本構想・基本計画の策定	共通	・各種条件の整理	町の動向、先進地事例の調査等																									
		・既存施設の現状の把握	劣化状況・利用状況整理、施設管理者ヒアリング																									
		・設計施設の立地場所の検討	抽出・比較検討・評価・関係者調整		立地場所の最終調整・確定				手続き等整理																			
	基本構想の策定	・新たな複合施設の役割の検討	町内・周辺の施設情報の整理		役割の検討																							
		・基本的な方向性の検討	複合化の範囲の再整理		機能分担の検討		複合施設建設及び既存施設の利活用の方向性の検討																					
		・必要とされる機能の検討			現機能の評価		必要機能の整理				必要機能の調整																	
		・財源、事業手法、事業スケジュールの検討					財源、事業手法・スケジュールの検討						事業スケジュール等の調整															
	基本計画の策定	・施設規模、階数、構造の検討	類似事例の調査		規模スタディ						規模・階数・構造等の検討		確定・調整															
		・配置計画、建築計画の検討	敷地現況整理		配置スタディ						配置計画・建築計画の検討		確定・調整															
		・概算工事費の算出	類似事例等による参考事業費の検討								コストスタディ		単価等の整理		概算事業費の算出		調整・確定											
住民意向の把握	・住民アンケートの実施	調査票・発送準備等		発送・回答		集計・分析																						
	・住民ワークショップの実施							企画		参加者募集・準備等		1	結果整理	2	結果整理													
	・住民説明会の実施							資料準備		説明会①		意見対応				資料準備		説明会②		意見対応								
	・パブリックコメントの実施															資料準備		パプコメ期間		意見対応								
庁内の合意形成	・職員アンケート及び庁内関係課WGの実施	調査票準備		アンケート回答		集計・分析						準備		1	準備	2	準備	3										
	・東串良町複合施設建設庁内検討委員会の開催	1	準備	2	準備		3	準備		4	準備		5	準備		6	準備		7									
	・議会説明							資料等の準備		議会説明											資料等の準備		議会報告					
東串良町複合施設建設検討委員会	・検討委員会の開催（※第1回は実施済）	準備	2	準備		3	準備		4	準備		5	準備		6	準備		7	準備		8							
	・議事録の作成及び意見の整理	整理・共有				整理・共有				整理・共有				整理・共有				整理・共有				整理・共有						
印刷・製本	・基本構想・基本計画のとりまとめ														基本構想・基本計画素案の作成						計画書・概要版とりまとめ		印刷製本					

業務完了（令和6年12月27日）

業務完了(令和6年12月27日)

■東串良町複合施設建設基本構想・基本計画の策定スケジュール(変更案)

			令和5年度						令和6年度																							
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
業務ステップ			【基本構想段階】立地場所確定／施設の役割検討										【基本計画段階】住民意向の把握／施設計画の検討					とりまとめ／次年度準備														
基本構想・基本計画の策定	共通	・各種条件の整理	町の動向、先進地事例の調査等																													
		・既存施設の現状の把握	劣化状況・利用状況整理、施設管理者ヒアリング																													
		・設計施設の立地場所の検討	抽出・比較検討・評価・関係者調整						立地場所の最終調整・確定			手続き等整理																				
	基本構想の策定	・新たな複合施設の役割の検討	町内・周辺の施設情報の整理		役割の検討																											
		・基本的な方向性の検討	複合化の範囲の再整理		機能分担の検討		複合施設建設及び既存施設の利活用の方向性の検討																									
		・必要とされる機能の検討	現機能の評価		必要機能の整理(基本構想における頭出し)						必要機能の調整(空間、設備、サービス等)		協議、調整		最終調整																	
		・財源、事業手法、事業スケジュールの検討					財源、事業手法・スケジュールの検討				事業スケジュール等の調整			最終調整																		
	基本計画の策定	・施設規模、階数、構造の検討	類似事例の調査		規模スタディ					規模・階数・構造等の検討				協議、調整		最終調整																
		・配置計画、建築計画の検討	敷地現況整理		配置スタディ					配置計画・建築計画の検討				協議、調整		最終調整																
		・概算工事費の算出	類似事例等による参考事業費の検討		コストスタディ					単価検討、概算事業費の算出				協議、調整		最終調整																
住民意向の把握	・住民アンケートの実施	調査票・発送準備等		発送・回答		集計・分析																										
	・住民ワークショップの実施							企画		参加者募集・準備、鹿児島大学学生事前合宿		1	結果整理		2	結果整理																
	・住民説明会の実施							資料準備		説明会①		意見対応									資料準備		説明会②	意見対応								
	・パブリックコメントの実施																			資料準備		パブコメ期間		意見対応								
庁内の合意形成	・職員アンケートの実施等	調査票準備		アンケート回答		集計・分析																										
	・東串良町複合施設建設庁内検討委員会の開催	1	準備		2	準備			3	準備		4	準備		5	6	準備	7	準備	8	準備	9	準備			10	準備		11			
	・議会説明							資料等の準備		議会説明																						
東串良町複合施設建設検討委員会	・検討委員会の開催(※第1回は実施済)	準備	2	★視察研修		準備	3	準備			4	準備		5	準備	6	準備	7	準備			8	準備		9	準備			10	準備		11
	・議事録の作成及び意見の整理	整理・共有						整理・共有						整理・共有		整理・共有		整理・共有		整理・共有						整理・共有		整理・共有		整理・共有		
印刷・製本	・基本構想・基本計画のとりまとめ											基本構想素案の作成					基本計画素案の作成					計画書・概要版とりまとめ			印刷製本							